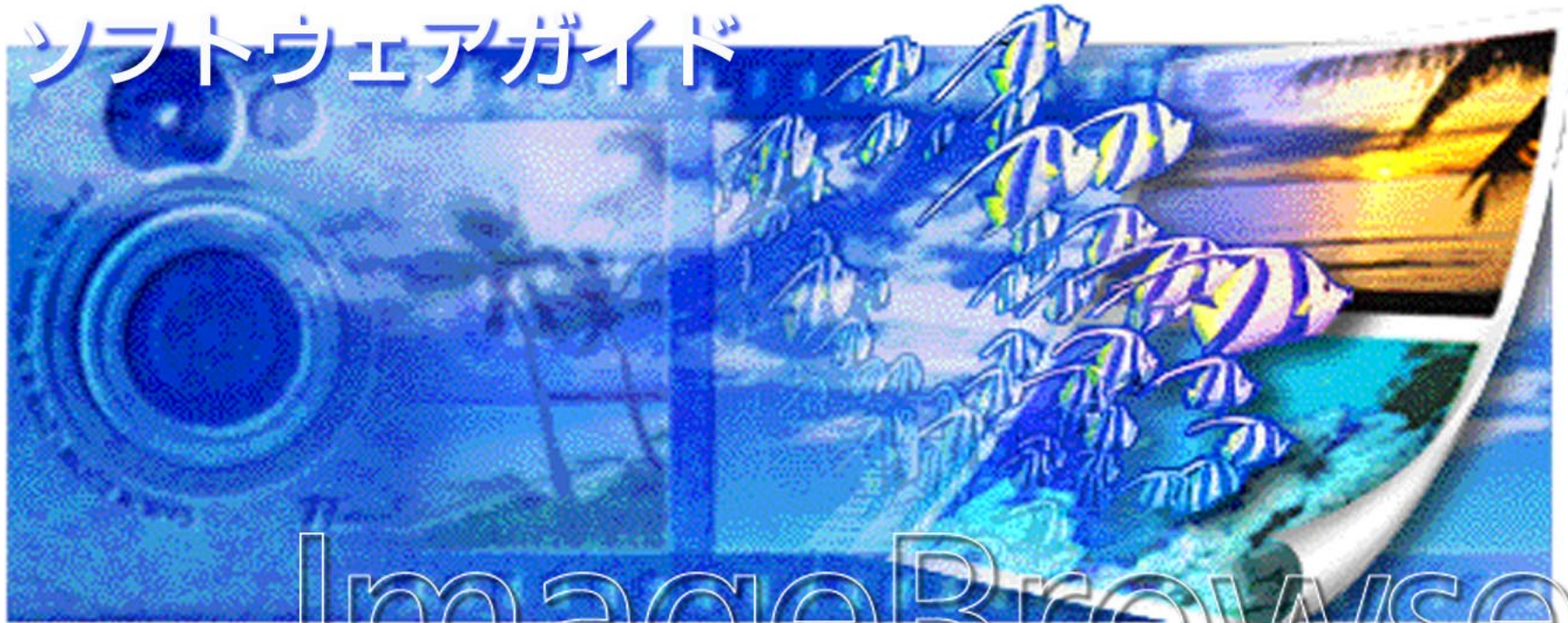


Canon Utilities ImageBrowser

Canon

ソフトウェアガイド



ImageBrowser

「目次」を見たいときは、このボタンをクリックします。

「索引」を見たいときは、このボタンをクリックします。

「次のページ」に進むときは、このボタンをクリックします。

「前のページ」に戻るときは、このボタンをクリックします。（このページは先頭ページですので、[戻る] ボタンは使えません）

目次 (1 / 2)

第1章 体験！ ImageBrowser

ImageBrowser を起動する	4
画像をパソコンに取り込む	8
画像をプリントする	11
少しだけ補足	13

第2章 ImageBrowserって？

ImageBrowser でできること	14
画像の保存場所	16
ブラウザウィンドウについて	17
ブラウザウィンドウの表示方法の変更	18
コンテキストメニューを使った操作について	20

第3章 画像を管理する

画像を移動、コピーする	21
画像をゴミ箱に入れる	24
画像を回転する	25
画像を複製する	26
画像の名前を変える	27
画像の情報を見る	28

フォルダを作る	29
フォルダの名前を変える	30
フォルダをゴミ箱に入れる	31

第4章 画像を見る

フォルダを選ぶ	32
画像を開く	33
表示倍率を変える	34
画像を編集する	35
他のソフトウェアで画像を編集する	39

第5章 カメラウィンドウを使う

カメラウィンドウを開く	40
画像を取り込む	41
画像を削除する	43
画像を回転する	44
画像を追加する	45
カメラの設定を確認、変更する	47
カメラウィンドウのその他の機能	48

目次 (2 / 2)

第6章 いろいろな機能を活用する

電子メール用の画像を作成する	49
スライドショーで再生する	51
画像にサウンドを付ける	54
カメラにマイカメラコンテンツを登録する	56
画像をプリントする	66
画像を分割してプリントする	74
画像を日時順に表示する - TimeTunnel	75
パノラマ画像を合成する - PhotoStitch	77
パソコンからシャッターを操作する - RemoteCapture	78
RAW 画像を現像する - File Viewer Utility	80

第7章 インターネットを活用する

Canon Image Gatewayって?	82
会員登録をする	84
画像をアップロードする	86
アルバムを活用する	90
画像や音声ファイルをダウンロードする	92

付録

対応しているファイル形式	94
ImageBrowser の自動起動を解除する	95
ImageBrowser 起動時の自動実行機能	96
プレファレンスの設定	100
動画の再生	103
カメラ上でのスライドショーの設定	104
プリント指定	105
困ったときには	107

索引

索引	108
----	-----

ご注意

- ・本書では、Mac OS 9.2 の画面と操作手順を使って説明を進めています。お使いの Mac OS のバージョンによっては、実際の画面や操作手順が多少異なる場合があります。
- ・本書では CF カード、PC カード、SD メモリーカード、マルチメディアカードのことを総称して、メモリーカードと表記します。

この章では、「ImageBrowserの起動」「カメラの画像の取り込み」「画像のプリント」という、ImageBrowserの一連の基本操作を順を追って説明していきます。

ここでは、ImageBrowserを起動する方法について説明します。

重要

- ・このソフトウェアガイドは、すでに各ソフトウェアやドライバが正しくインストールされていることを前提に説明を進めていきます。まだソフトウェアのインストールがお済みでない場合には、製品に同梱されている説明書をご覧ください、ソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2 の場合の起動方法

Mac OS 8.6 ~ 9.2 をお使いの場合のImageBrowserの起動方法です。

■ カメラを接続することで起動する方法

パソコンにカメラを接続し、通信可能な状態にすることで、ImageBrowserを起動する方法です。

重要

- ・この方法は、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する場合にのみ使用可能です。(お使いのカメラの機種によっては自動起動しない場合もあります)
- ・メモリーカードリーダーをお使いの場合には、「ImageBrowserを起動する (3 / 4)」の「アイコンから起動する方法」をご覧ください。

参考

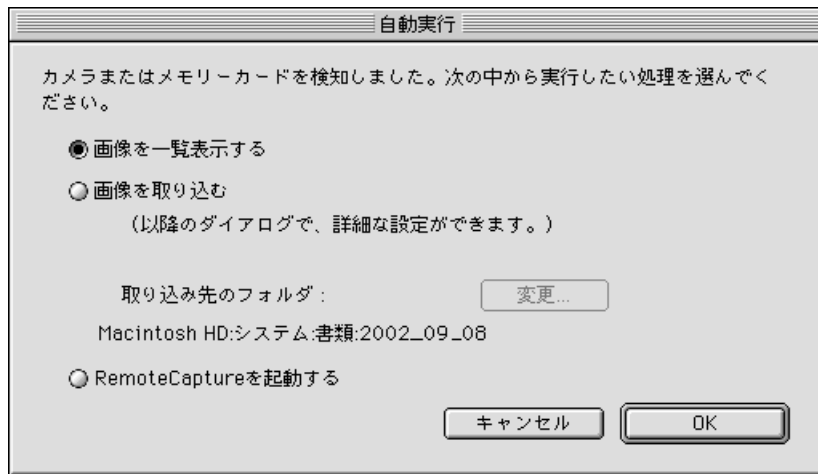
- ・ImageBrowserの自動起動を解除することもできます。付録の「ImageBrowserの自動起動を解除する」をご覧ください。

ImageBrowser を起動する (2 / 4)

1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。
カメラとパソコンの接続方法については、製品に同梱されている説明書をご覧ください。

カメラの機種によっては、再生モードなどにしないとパソコンと通信できない場合があります。このような機種の場合は、製品に同梱されている説明書をご覧の上、通信できる状態にします。

はじめて ImageBrowser を起動すると、次のような [自動実行] ウィンドウが表示されます。



このウィンドウでは、ImageBrowser が起動したときに、続けて行いたい自動処理を選択することができます。

もし、上のような [自動実行] ウィンドウが表示されないときは、付録の「困ったときには」をご覧ください。

2 ここでは、[画像を一覧表示する] を選択したまま、[OK] をクリックします。

参考

- ・「画像を取り込む」や「RemoteCapture を起動する」については、付録の「ImageBrowser 起動時の自動実行機能」をご覧ください。

次のようなウィンドウが表示されます。(このウィンドウは、最初の 1 回目だけに表示されます)

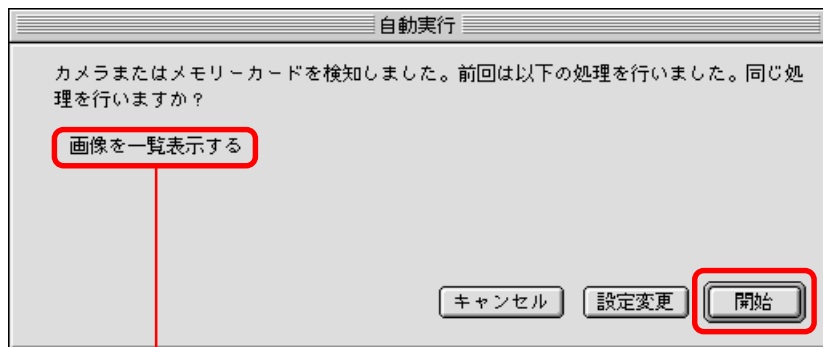


ここにはお使いのカメラの機種名が表示されます

3 [設定] をクリックします。
カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像が表示されます。

参 考

- ・ 2 回目以降に ImageBrowser を起動したときは、次回 ImageBrowser を起動したときは、前回選択した自動処理の設定が表示されます。そのままの設定を実行するときは [開始] を、何も実行しないときは [キャンセル] を、設定を変更するときは [設定変更] をクリックします。



前回の設定が表示されます

- ・ 設定の変更については、付録の「ImageBrowser 起動時の自動実行機能」をご覧ください。

重 要

- ・ [自動実行] ウィンドウは、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続して ImageBrowser を起動した場合にのみ表示されません。次ページで説明するアイコンから ImageBrowser を起動した場合には、表示されません。

■ アイコンから起動する方法

メモリーカードリーダーをお使いの場合には、この方法で ImageBrowser を起動します。
また、カメラを接続しないまま ImageBrowser を使いたい場合や、ImageBrowser を一旦終了した後、もう一度起動する場合なども、この方法で ImageBrowser を起動します。

1 デスクトップの「Canon ImageBrowser」アイコンをダブルクリックします。

これで、ImageBrowser が起動します。



参 考

- ・ インストール時の選択によっては、デスクトップに「Canon ImageBrowser」アイコンが表示されないこともあります。この場合には、次の順番でディスク、フォルダを開き、ImageBrowser を起動してください。

インストール先のディスクをダブルクリック→
[Canon Utilities] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] アイコンをダブルクリック

Mac OS X の場合の起動方法

Mac OS X をお使いの場合の ImageBrowser の起動方法です。

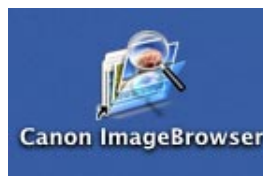
重要

- ・ Mac OS X でメモリーカードリーダーをお使いの場合も、この方法で ImageBrowser を起動します。

1 カメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。
カメラとパソコンの接続方法については、製品に同梱されている説明書をご覧ください。

カメラの機種によっては、再生モードなどにしないとパソコンと通信できない場合があります。このような機種の場合は、製品に同梱されている説明書をご覧の上、通信できる状態にします。

2 デスクトップの「Canon ImageBrowser」アイコンをダブルクリックします。



これで、ImageBrowser が起動します。

参考

- ・ インストール時の選択によっては、デスクトップに「Canon ImageBrowser」アイコンが表示されないこともあります。この場合には、次の順番でディスク、フォルダを開き、ImageBrowser を起動してください。

インストール先のディスクをダブルクリック→
[Canon Utilities] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] アイコンをダブルクリック

カメラの画像を、パソコンに取り込む方法を説明します。

カメラウィンドウ

パソコンにカメラを接続して ImageBrowser を起動し、[自動実行] ウィンドウで [画像を一覧表示する] または [画像を取り込む] を選択した場合は、次のような「カメラウィンドウ」が表示されます。

この部分にはお使いのカメラの
画像と機種名が表示されます

カメラ内の画像が順番
に表示されます



参考

- アイコンから ImageBrowser を起動した場合、カメラウィンドウは表示されませんが、カメラを接続し、通信可能な状態にすると、カメラウィンドウが表示されます。

Mac OS X をお使いの場合や、通信可能な状態にしてもカメラウィンドウが表示されない場合には、ブラウザエリア左下にある [キヤノンカメラ] をクリックし、ポートとカメラの機種を選択します。



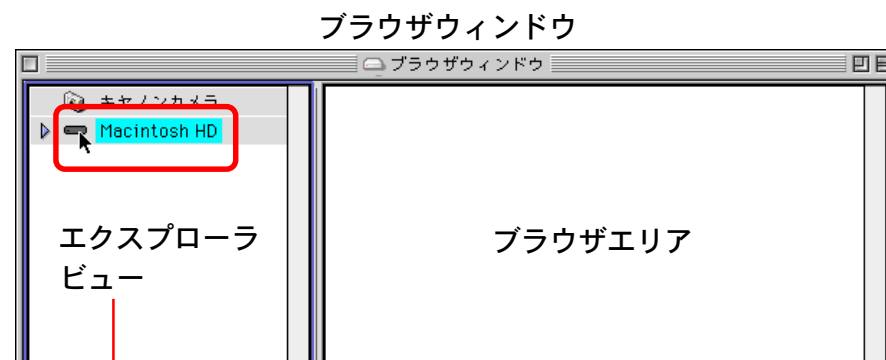
キヤノンカメラ

メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックします。

取り込み先となるフォルダを作成する

カメラの画像の取り込み先として利用するフォルダを、新しく作成しましょう。

- 1 「ブラウザウィンドウ」と表示されているウィンドウをクリックし、前面に出します。
- 2 下図の「エクスプローラビュー」の部分で、新しいフォルダを作成するディスクをクリックします。
ここで選択したディスクの中に、新しいフォルダを作成します。

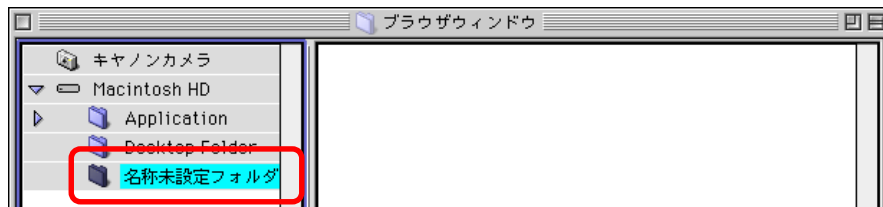


エクスプローラビューには、あなたのパソコンで使用可能なディスクが表示されます

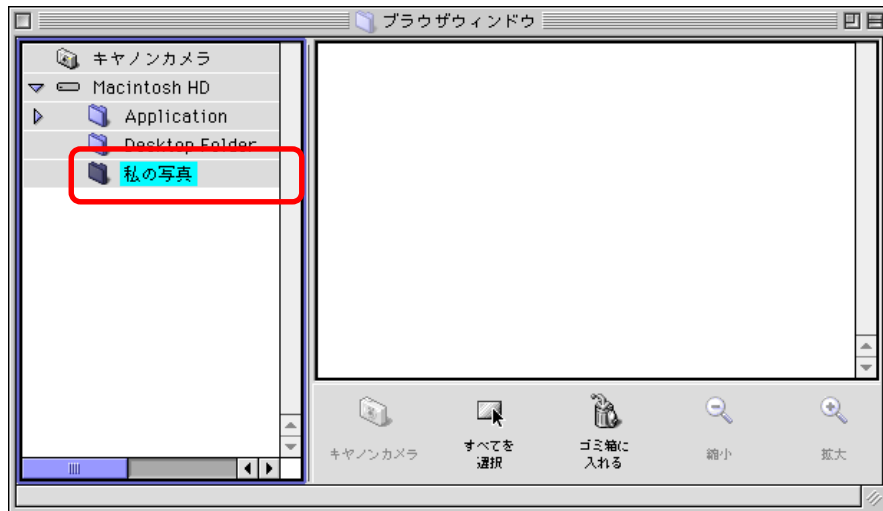
参 考

- ・ Mac OS X の場合には、一般に起動ディスクの「Users」 - 「自分の名前」のフォルダの中に新しいフォルダを作ると良いでしょう。

- 3** [ファイル]メニューから[新規フォルダ]を選択します。
新しいフォルダが作成されます。



- 4** 新しいフォルダ名を入力し [return] キーを押します。
新しいフォルダの名前が入力されました。



カメラの画像を取り込む

新しく作成したフォルダに画像を取り込みます。

- 1** カメラウィンドウをクリックし、前面に出します。
- 2** 取り込みたい画像をクリックします。
選択した画像が青い枠で表示されます。

参 考

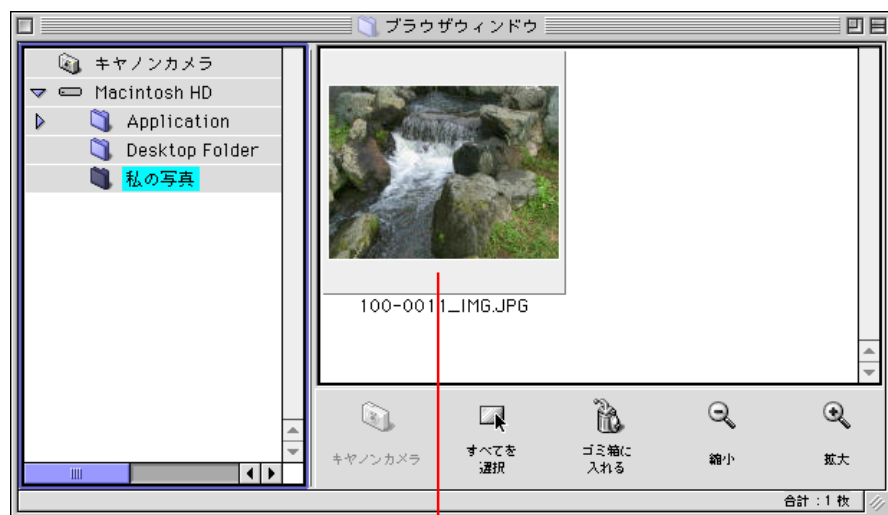
- ・ [shift] キーを押しながら画像をクリックすることで、複数の画像を選択することができます。また、[option] キーと [shift] キーを同時に押しながら画像をクリックすることで、連続して並んでいる画像をまとめて選択することができます。

- 3** [取り込み] をクリックします。



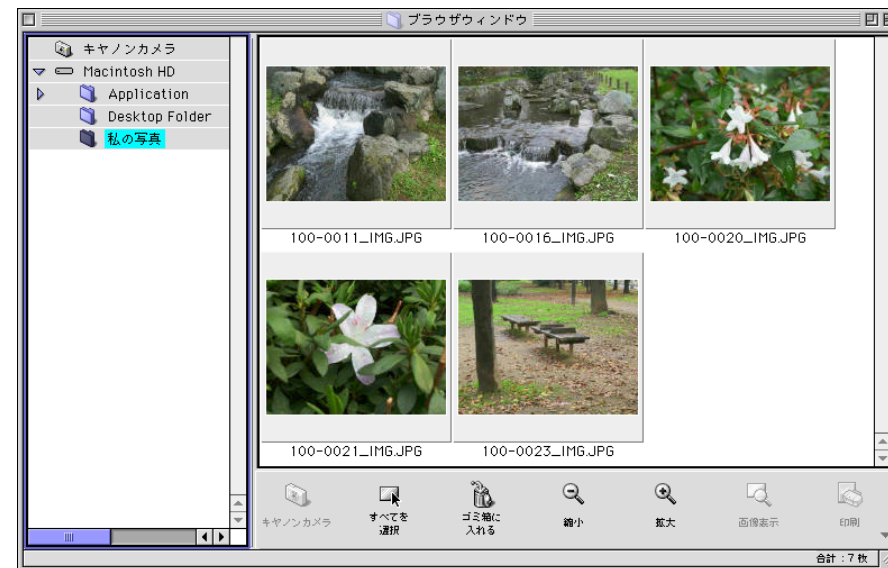
画像をパソコンに取り込む (3 / 3)

これで、選択した画像が、先ほど作成したフォルダの中にコピーされ、その縮小画像がブラウザウィンドウのブラウザエリアに表示されます。



カメラから取り込まれた画像

適当にいくつかの画像を取り込んでみましょう。



次はプリントの操作に進みましょう。

参 考

- ・カメラウィンドウの使い方については、第5章で詳しく説明しています。

画像をプリントする (1 / 2)

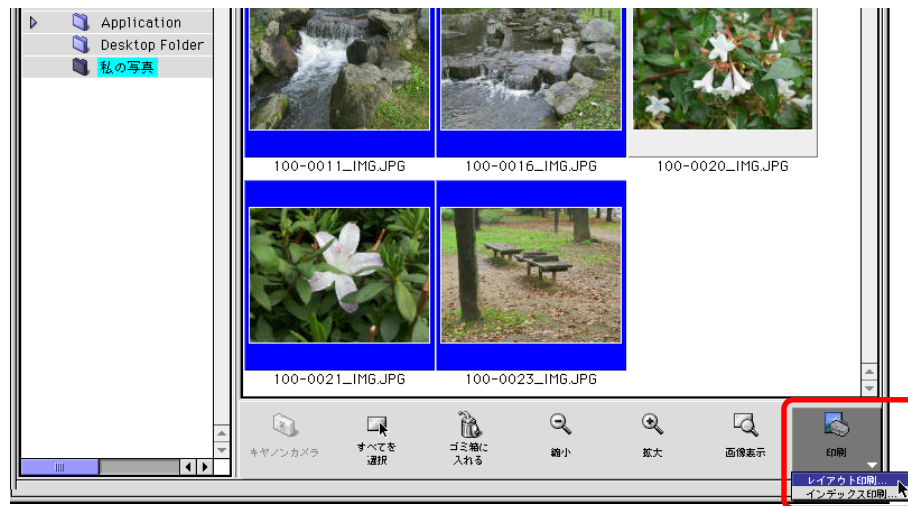
フォルダの中に取り込んだ画像を、プリンターでプリントする操作を説明します。

1 プリントしたい画像をクリックします。
選択した画像が青い枠で表示されます。

参考

- ・ [shift] キーを押しながら画像をクリックすることで、複数の画像を選択することができます。また、[option] キーと [shift] キーを同時に押しながら画像をクリックすることで、連続して並んでいる画像をまとめて選択することができます。

2 [印刷] をクリックし、表示されたメニューから [レイアウト印刷] を選択します。



レイアウト選択ウィンドウと印刷ウィンドウが開きます。

印刷ウィンドウでは、選択した画像が、自動的に並べられて表示されます。

レイアウト選択ウィンドウでは、レイアウトを選択することができます。ここでは、このままプリントします。

3 レイアウト選択ウィンドウで、「自由に並べて印刷」を選択したまま、[次へ] をクリックします。

レイアウト選択ウィンドウ



- 4 用紙設定のウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックします。
レイアウト選択ウィンドウが閉じられます。

- 5 印刷ウィンドウで、[印刷] をクリックします。



これで、印刷（またはプリント）の設定を行うダイアログが表示されます。プリントの各種設定を行い、プリントを実行します。

参 考

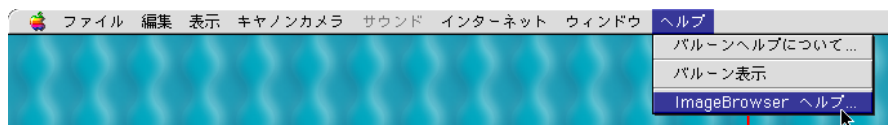
- ・レイアウト選択ウィンドウが表示されている間は、印刷ウィンドウの [印刷] をクリックすることはできません。
- ・プリントの操作の詳細については、第6章の「画像をプリントする」で説明しています。

ここでは、はじめにぜひ覚えておいて欲しいことを説明します。

困ったときは

ImageBrowserには、便利な「ヘルプ機能」が用意されています。操作方法がわからなくなってしまった場合や、どんな機能があるか知りたい場合などにご活用ください。

ヘルプを見たいときは、[ヘルプ]メニューから[ImageBrowserヘルプ]を選択します。



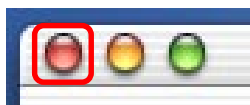
ヘルプを表示します

ImageBrowserの終わり方

Mac OS 8.6～9.2の場合は、[ファイル]メニューから[終了]を選択するか、ブラウザウィンドウの[クローズボックス]をクリックします。

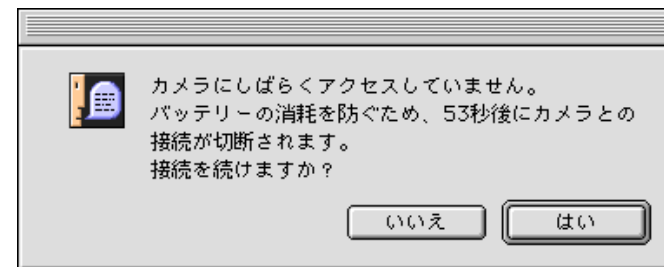


Mac OS Xの場合は、[ImageBrowser]メニューから[ImageBrowserを終了]を選択するか、ブラウザウィンドウの赤いボタンをクリックします。



接続の確認画面が表示されたときは

カメラの「節電設定」を「入」に設定している場合、カメラとパソコンを接続したまま、何も操作しないで一定時間（通常約5分間）経過すると、接続を続けるかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。



これは、カメラのバッテリーを無駄にしないようにするための機能です。接続を続ける場合には[はい]を、切断する場合には[いいえ]をクリックしてください。また、このメッセージが表示されたまま、約1分間経過すると、自動的に接続が切断されます。

切断後、再び接続を行うときは、次の操作を行います。

再生モードなどにして、カメラを通信可能な状態にします。これで、カメラウィンドウが表示されます。表示されない場合には、ブラウザウィンドウの[キヤノンカメラ]をクリックしてください。また、すでにカメラウィンドウが表示されている場合には、カメラウィンドウの[再接続]をクリックしてください。

この章では、ImageBrowserを使いこなすために必要な、さまざまな基礎知識を説明していきます。

ここでは、ImageBrowserの主な機能を、簡単に紹介しておきましょう。

カメラとパソコンを接続すると

- ・カメラ内の画像を一覧で見ることができます。
- ・カメラ内の画像をパソコンに取り込むことができます。
- ・カメラ内の画像の情報（撮影日時や撮影時の各種設定など）を見ることができます。
- ・カメラでのスライドショーやDPOF（プリント指定）を、パソコン側で設定することができます。（一部の機種を除きます）
- ・パソコンの画像をカメラに保存することができます。

ファイル管理の機能を利用して

- ・パソコン上の画像を、さまざまに分類、仕分けし、簡単な操作で画像管理を行うことができます。
- ・画像の移動やコピーができます。
- ・画像の切り抜きや色の調整など、簡単な編集ができます。
- ・画像を、画面いっぱいに順番に表示する「スライドショー」機能が使えます。
- ・撮影日時順に、画像をトンネルのように表示する「タイムトンネル」機能が使えます。

マイカメラコンテンツの管理機能を利用して

- ・マイカメラコンテンツをカメラに登録することができます。また、カメラに登録されているマイカメラコンテンツを、パソコンのディスクに保存することもできます。（マイカメラ機能に対応した機種のみ）
- ・新しく作成した画像や音声ファイルを、マイカメラコンテンツとして管理することができます。
- ・インターネット上のオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」からダウンロードしたマイカメラコンテンツのファイルを管理することができます。

参 考

- ・カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音などのファイルをマイカメラコンテンツと呼んでいます。
- ・製品に同梱されているキャノン製CD-ROMには、あらかじめいくつかのマイカメラコンテンツ用ファイルが用意されています（マイカメラ機能に対応した機種のみ）。これらのファイルは、ImageBrowserのインストール時に自動的にパソコンに保存されます。

他のソフトウェアを利用して

ImageBrowserは、他のソフトウェアと連携することで、さらに高度な活用ができるようになっています。(各ソフトウェアはImageBrowserから起動できます)

■ PhotoStitch

- ・カメラのスティッチアシストモードなどを使って複数に分割して撮影した画像を合成し、1枚の大きなパノラマ写真を作ることができます。
- ・合成は横方向、縦方向ともに可能です。
- ・周囲360度の撮影をしておけば、360度の円筒状の合成ができます。この画像をQuickTime VR形式で保存すれば、あたかもそこに立って、回りを見回すかのような表示が可能です。

■ RemoteCapture

- ・USBケーブルで接続されたカメラのシャッターを、パソコン側で操作して撮影ができます。
- ・撮影間隔と撮影枚数を指定し、インターバルタイマー撮影ができます。

■ File Viewer Utility

- ・RAW形式の画像を現像します。(RAW形式で撮影できない機種もあります)
- ・現像時には、画質や色味の微調整を行うことができます。

重要

- ・File Viewer Utilityは、Mac OS 8.6～9.2のみに対応しています。(Mac OS XのClassic環境でお使いいただけます)

Canon Image Gatewayに接続すると

- ・画像をオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」にアップロードして、保管することができます。保管した画像を使って「アルバム」(ホームページ上の写真集のようなもの)を作成し、知人(お友達やご家族)に見せたり、オンラインプリントサービスに注文することができます。
- ・画像に付けたコメントや音も「Canon Image Gateway」にアップロードできます。
- ・「Canon Image Gateway」に用意されているカメラ用の起動画面やシャッター音などのマイカメラコンテンツを、ダウンロードできます。ダウンロードしたコンテンツは、カメラに登録することができます。(マイカメラ機能に対応した機種のみ)

参考

- ・「Canon Image Gateway」は、本製品を購入された方に提供するオンラインサービスです。
- ・はじめてサービスを利用するときには、会員登録が必要です。(製品に同梱されているキヤノン製CD-ROMのインストーラーパネル、または、ImageBrowserのメニューから会員登録が行えます)

ImageBrowserでカメラから画像を取り込んだり、移動やコピーを行ったとき、実際の画像ファイルは、どのように処理されるのでしょうか。

画像はどこに保存されている？

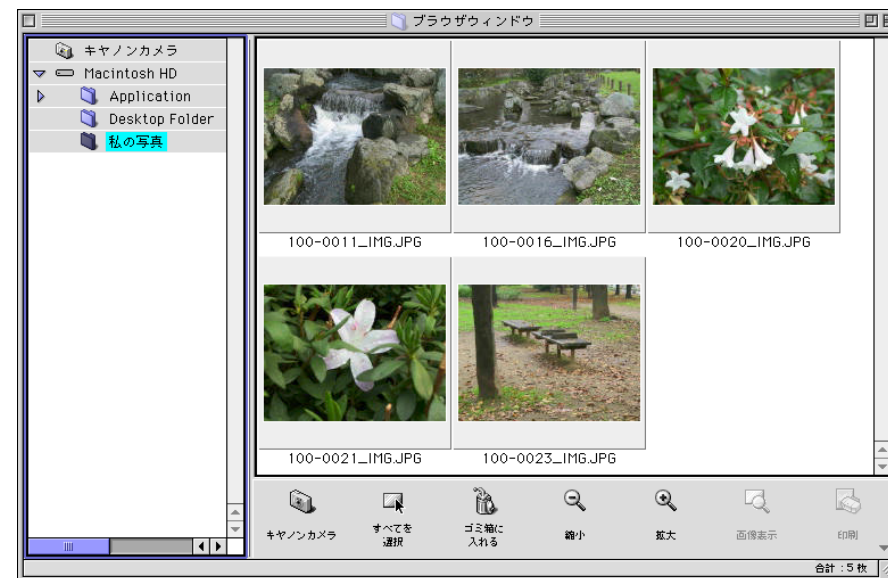
次の操作を試してみてください。

- 1 ファインダ上で、先ほどフォルダを作成したディスクをダブルクリックします。
- 2 続いて、先ほど作成したフォルダをダブルクリックして開きます。

次のように画像ファイルが入っていることがわかります。



一方、ImageBrowserのブラウザウィンドウで、「私の写真」を選択すると、次のように画像が表示されます。



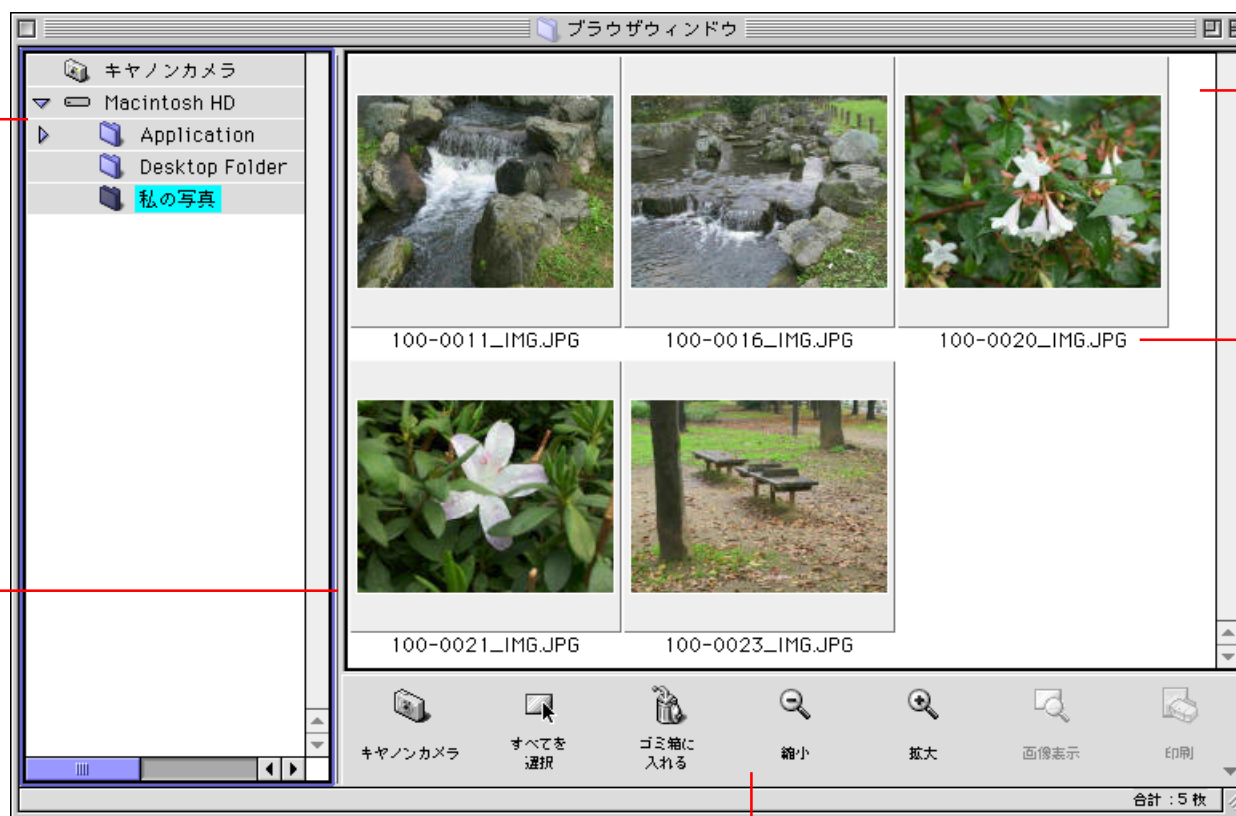
完全に、画像ファイル名が一致していますね。

このように、ImageBrowserのブラウザエリアに表示される画像は、実際に選択したフォルダに入っている画像ファイルです。ImageBrowser上で画像を移動したり、コピーしたりすると、パソコンのファインダ上でも、まったく同じように画像ファイルの移動やコピーが行われます。

ここでは、ブラウザウィンドウの画面について、まとめておきます。

【エクスプローラビュー】
お使いのパソコンで使用可能なディスクやフォルダが表示されます
左端の三角マークをクリックすると、下位のフォルダの表示／非表示を変更することができます

この部分をドラッグすることで、エクスプローラビューと、ブラウザエリアの境界の位置を変えることができます



【ブラウザエリア】
選択したフォルダに入っている縮小画像（サムネイル）が表示される部分

【画像ファイル名】
各画像のファイル名が表示されます

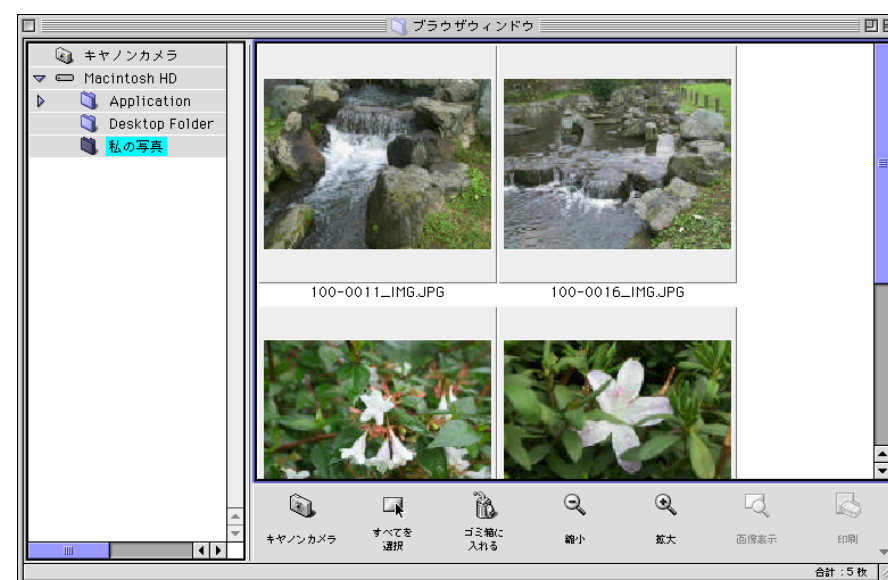
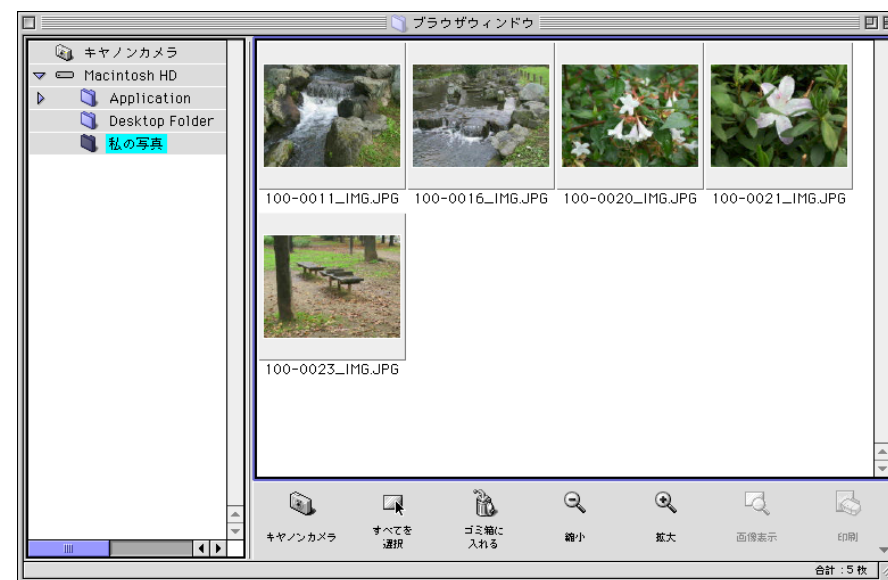
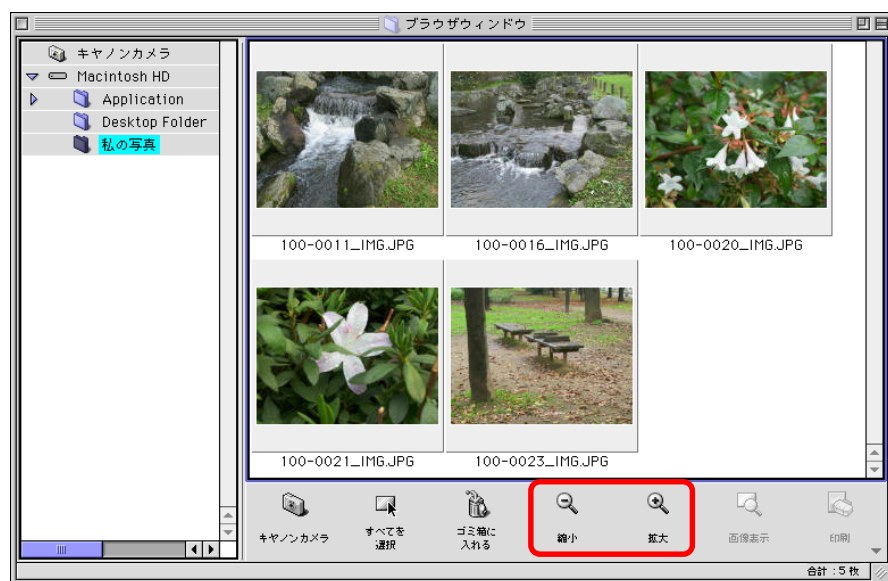
この部分をドラッグすることでブラウザウィンドウの大きさを変えることができます

【コントロールパネル】
さまざまな機能を実行するためのボタンが表示される部分

ブラウザウィンドウは、使いやすいように表示方法を変更することができます。ここではその方法を説明します。

サムネイルの大きさを変更する

🔍🔍 をクリックすることで、ブラウザエリアに表示される縮小画像（サムネイル）の大きさを変更することができます。



メニューで変更する

[表示] メニューで、ブラウザウィンドウの表示方法をさらに細かく設定することもできます。

縮小画像の大きさの選択

縮小画像の大きさを拡大／縮小

縮小画像の下に表示する情報を指定

【コントロールパネル】
ブラウザエリアの下部のコントロールパネルの表示／非表示の切り替え

【サウンドパネル】
音声メモの録音、再生を行うパネルの表示／非表示の切り替え

また、[表示] メニューの [表示モード] サブメニューから [プレビュー] を選択すると、縮小画像の上部にプレビュー画像が表示されます。プレビュー画像を非表示にするときは、[表示モード] サブメニューから [一覧] を選択します。

例えば、次のようなブラウザウィンドウにすることができます。

プレビューの表示

サウンドパネル

コントロールパネル

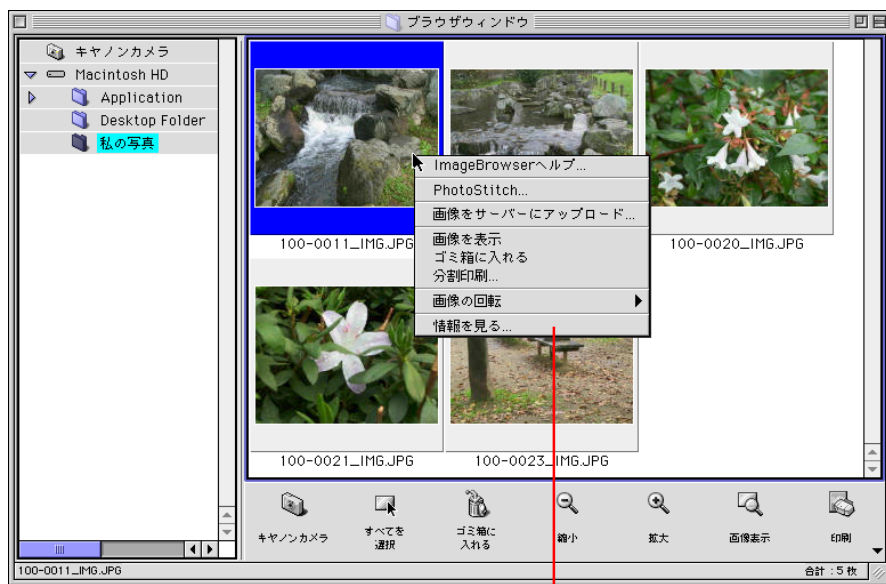
「ファイル名」に加えて「撮影日」も表示

コンテキストメニューを使った操作について

[control] キーを押しながら、マウスのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。このメニューのことを「コンテキストメニュー」と呼びます。

ImageBrowserは、いろいろな場面でコンテキストメニューを使うことができます。

例えば、画像にポインタを合わせ、[control] キーを押しながら、マウスのボタンをクリックすると、次のようなコンテキストメニューが表示されます。



画像の上で [control] キーを押しながら、マウスのボタンをクリックすると、表示されるコンテキストメニュー

このコンテキストメニューに表示される項目は、ブラウザウィンドウのボタンやメニューに用意されている機能の中から、現在利用可能な機能や、便利な機能を集めたものです。

コンテキストメニューを活用することで、ImageBrowserをより効率的に使いこなすことができるようになります。

ImageBrowserの操作に慣れてきたら、いろいろな場面でコンテキストメニューを試して、機能や便利さを体感してみてください。

なお、この説明書では、原則としてコンテキストメニューを使った操作は説明しません。（これは、表示されるメニューのバリエーションを追っていきただけで大変なページ数になってしまうためです）

コンテキストメニューを使った操作について説明が必要な場合は、該当ページできちんと説明します。

画像を移動、コピーする (1 / 3)

ここでは、フォルダ間で画像を移動したり、コピーしたりする操作を説明します。

参考

- ・ ImageBrowser で画像の移動やコピーを行うと、実際の画像ファイルの保存場所も変更されます。
- ・ ImageBrowser を起動した状態で、ファインダを使ってファイルやフォルダの操作を行った場合、その変更が ImageBrowser の画面に反映されないことがあります。このような場合には、[表示]メニューから[最新の情報に更新]を選択してください。

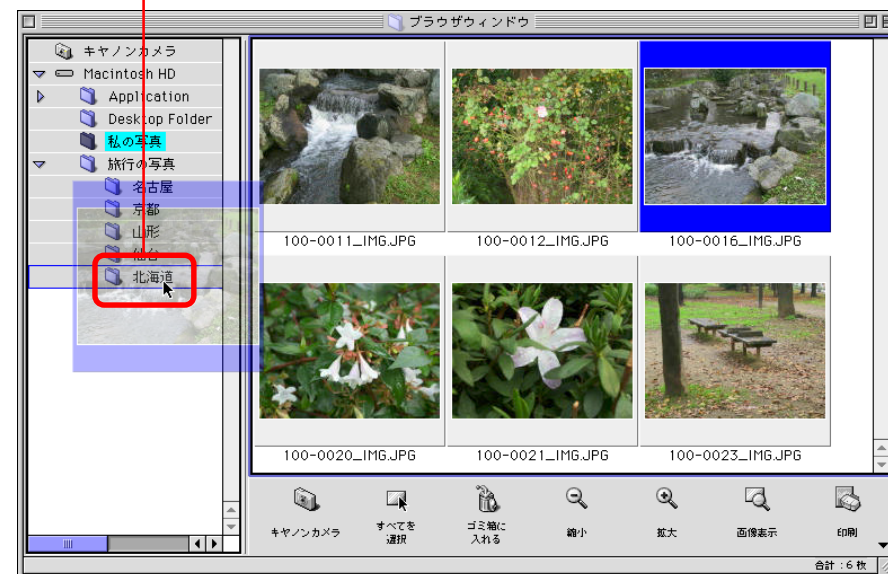
エクスプローラビューを使って移動、コピーする

画像を移動するときは、移動元の画像をブラウザエリアに表示させ、その画像をエクスプローラビューの移動先フォルダにドラッグアンドドロップします。

画像をコピーするときは、ドロップする前に [option] キーを押し、キーを押したまま、マウスのボタンを離します。



移動したい画像をドラッグして、
移動先のフォルダの上でドロップ



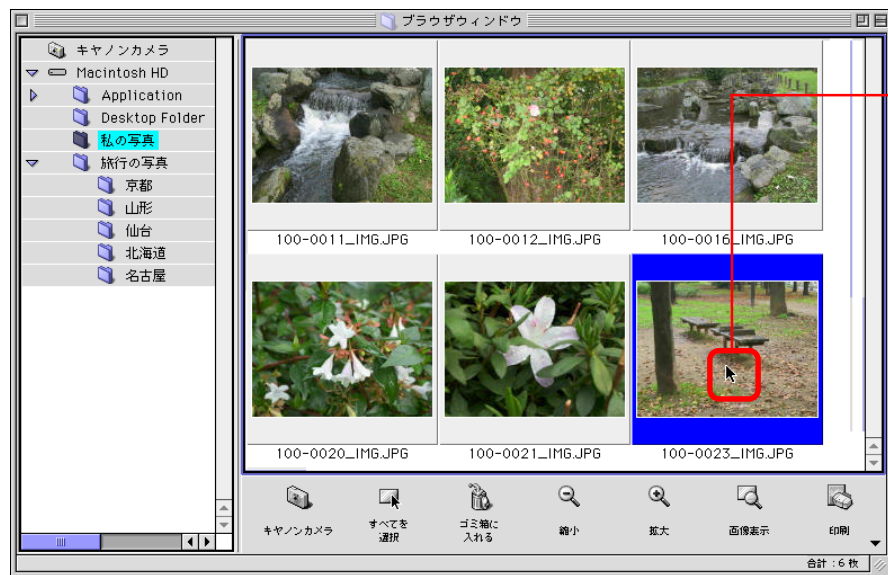
2つのブラウザウィンドウを使って移動、コピーする

[表示]メニューから、[新規ブラウザウィンドウ]を選択すると、新しいブラウザウィンドウが表示されます。

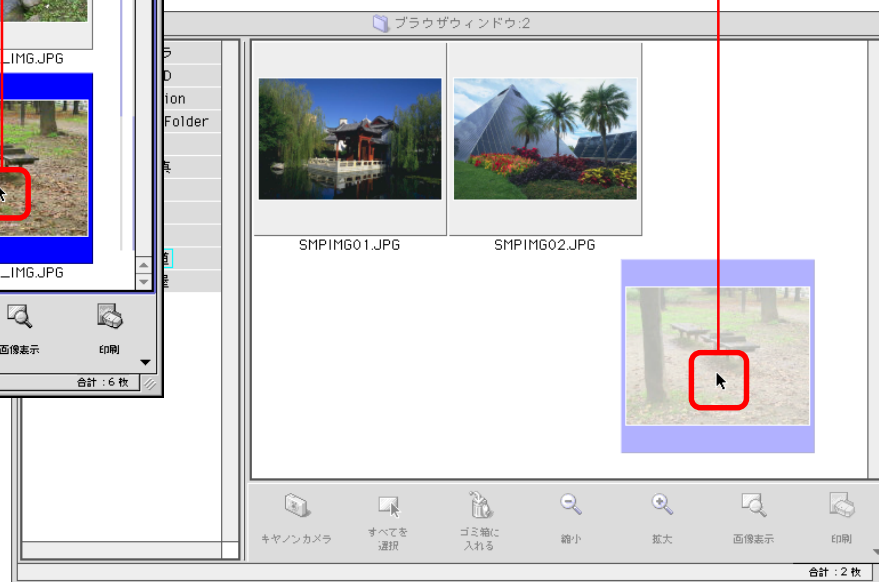
それぞれのブラウザウィンドウに異なるフォルダを表示させておき、片方のブラウザウィンドウから、もう片方のブラウザウィンドウにドラッグアンドドロップすることで、フォルダ間の移動、コピーが行えます。

参考

- ・ 前述の操作と同様、画像をコピーするときは、ドロップする前に [option] キーを押し、キーを押したまま、マウスのボタンを離します。
- ・ ブラウザウィンドウは、同時に2つまで開くことができます。



1つ目のブラウザウィンドウ



2つ目のブラウザウィンドウ

移動したい画像をドラッグして、
移動先でドロップ

その他の方法

■ 複数の画像を移動、コピーする

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、ドラッグアンドドロップを行えば、複数の画像を一度に移動、コピーすることができます。


■ フォルダごと移動、コピーする

エクスプローラビューでフォルダをドラッグし、他のフォルダにドロップすれば、フォルダごと移動、コピーすることができます。

■ カメラにコピーする


カメラウィンドウを開き、ブラウザエリアの画像をカメラウィンドウにドラッグアンドドロップすると、カメラに画像を追加することができます。この機能については第5章の「画像を追加する」で説明します。

参 考

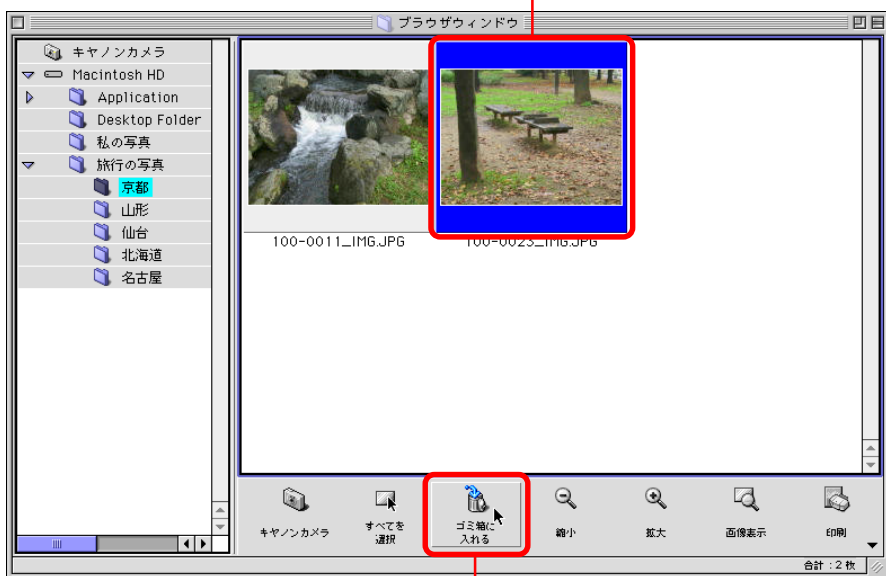
- ・ブラウザエリアの下部にある  (すべてを選択) をクリックすると、現在ブラウザエリアに表示されている全画像を一度に選択することができます。
- ・[編集]メニューから [すべての選択を解除] を選択すると、ブラウザエリアでの画像の選択がすべて解除されます。

不要な画像をゴミ箱に入れる（削除する）操作を説明します。

画像をゴミ箱に入れる

不要な画像を選択した後、（ゴミ箱に入れる）をクリックします。

削除したい画像を選択して




これをクリック

参考

- ・間違っても必要な画像をゴミ箱に入れてしまった場合には、ゴミ箱をダブルクリックしてウィンドウを開き、ゴミ箱に入っている画像ファイルを、元のフォルダ（エクスプローラビューのフォルダではなく、デスクトップ上のフォルダ）にドラッグアンドドロップしてください。

その他の方法

■ 複数の画像をゴミ箱に入れる

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、（ゴミ箱に入れる）をクリックすれば、複数の画像を一度にゴミ箱に入れることができます。

■ メニューを使ってゴミ箱に入れる

画像を選択して、[ファイル] メニューから [ゴミ箱に入れる] を選択することでも、画像をゴミ箱に入れることができます。

参考

- ・これらの操作の後、ファインダの [特別] メニューから [ゴミ箱を空にする]（Mac OS Xの場合は [Finder] メニューの [ゴミ箱を空にする]）を実行すると、フォルダが完全に削除されます。

ここでは、カメラを縦位置にかまえて撮った画像を、正しい向きに回転する操作を説明します。

画像を回転する

回転する画像を選択した後、[編集]メニューの[画像の回転]にマウスポインタに合わせ、目的の回転方法をクリックします。

重要

- ・ 画像を回転すると、回転した新しい画像がブラウザウィンドウに表示されます。この画像ファイルは、ディスク上にも新しく作成されます。

回転したい画像を選択して



回転方向を選択 ▶

オリジナルの画像は残ります

参考

- ・ [右に90度]は時計回り、[左に90度]は反時計回りとなります。
- ・ 画像の回転には2種類の方法があります。初期状態では、左で説明したように、オリジナルの画像をそのまま残し、コピーした画像だけを回転します。このとき、コピーした画像のファイル名には「_2」、「_3」… が付け加えられます。
- ・ [編集]メニューの[プレファレンス] (Mac OS Xの場合は[ImageBrowser]メニューの[環境設定])の[ブラウザウィンドウ]の画面で、「JPEG画像の回転時にオリジナルを残しておく」のチェックマークを外した場合には、オリジナル画像は残らず、回転後の画像ファイルだけが表示されます。
- ・ JPEG形式以外の画像を回転した場合は、回転後の画像だけが表示されます。オリジナル画像は残りません。

その他の方法

■ 複数の画像を回転する

[shift]キーまたは[option] + [shift]キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に回転することができます。

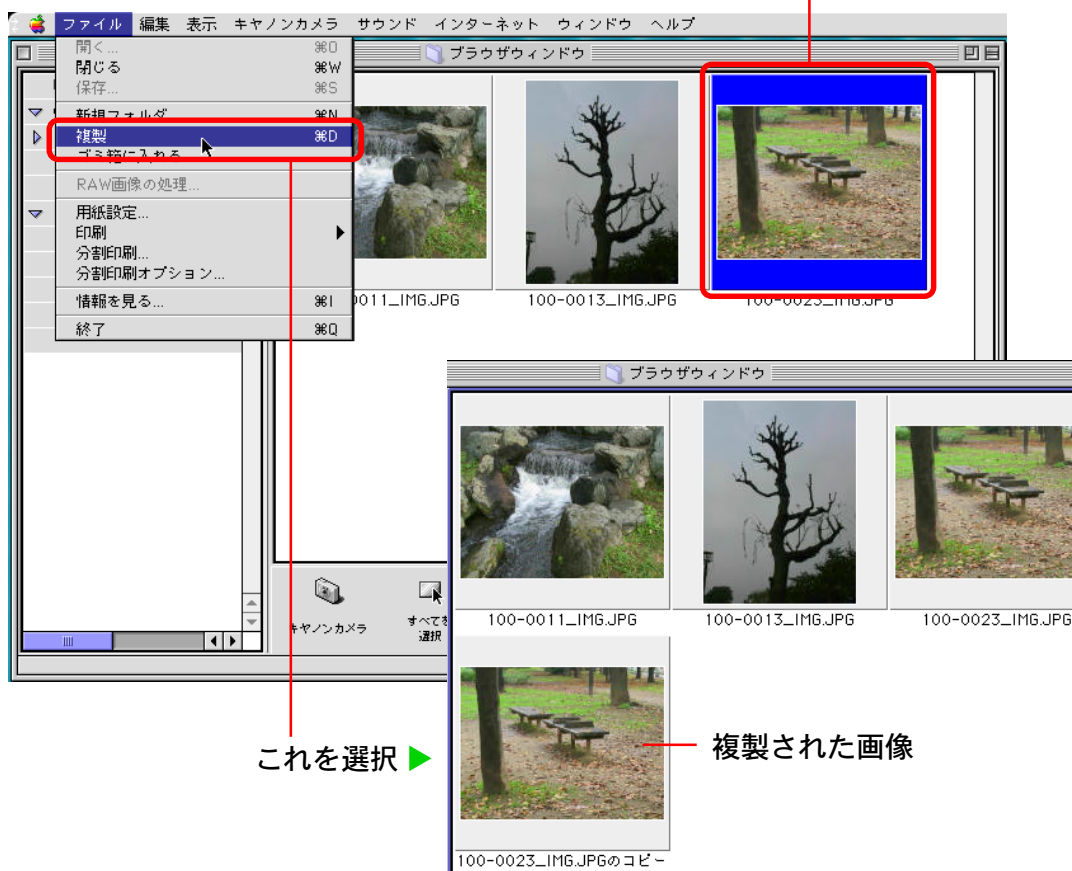
回転した画像が新しく作成されます

画像を複製する(まったく同じ画像ファイルを作成する)操作を説明します。

画像を複製する

複製する画像を選択した後、[ファイル]メニューから[複製]を選択します。

複製したい画像を選択して



その他の方法

■ 複数の画像を複製する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に複製することができます。

■ フォルダごと複製する

エクスプローラビューでフォルダを選択し(ブラウザエリアで画像が選択されていない状態で)、[ファイル]メニューから[複製]を選択すると、フォルダごと複製されます。

ここでは、画像の名前（画像ファイル名）を変更する操作を説明します。

画像ファイル名を変更する

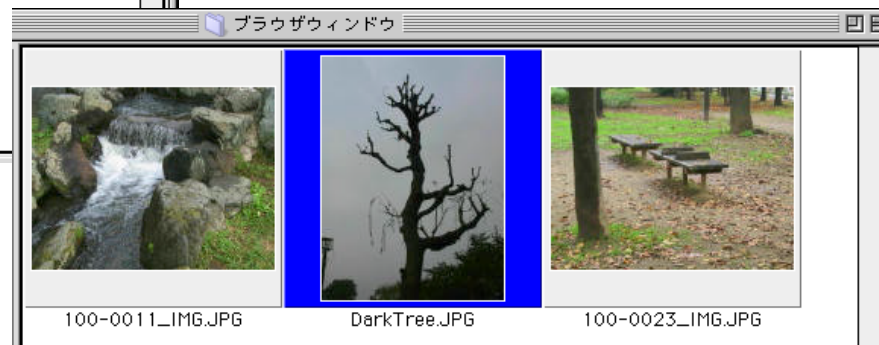
名前を変更したい画像の「ファイル名の部分」をクリックし、少し待つと、文字入力のできる状態になります。新しいファイル名を入力し [return] キーを押します。

重要

- ・ファイルの種類を示す「拡張子」は変更しないでください。変更すると、ブラウザウィンドウに表示されなくなる場合があります。（拡張子とは、ファイル名の最後にある、例えば「.JPG」の部分です）



この部分をクリックして、少し待ち、新しい名前を入力して [return] キーを押します ▶

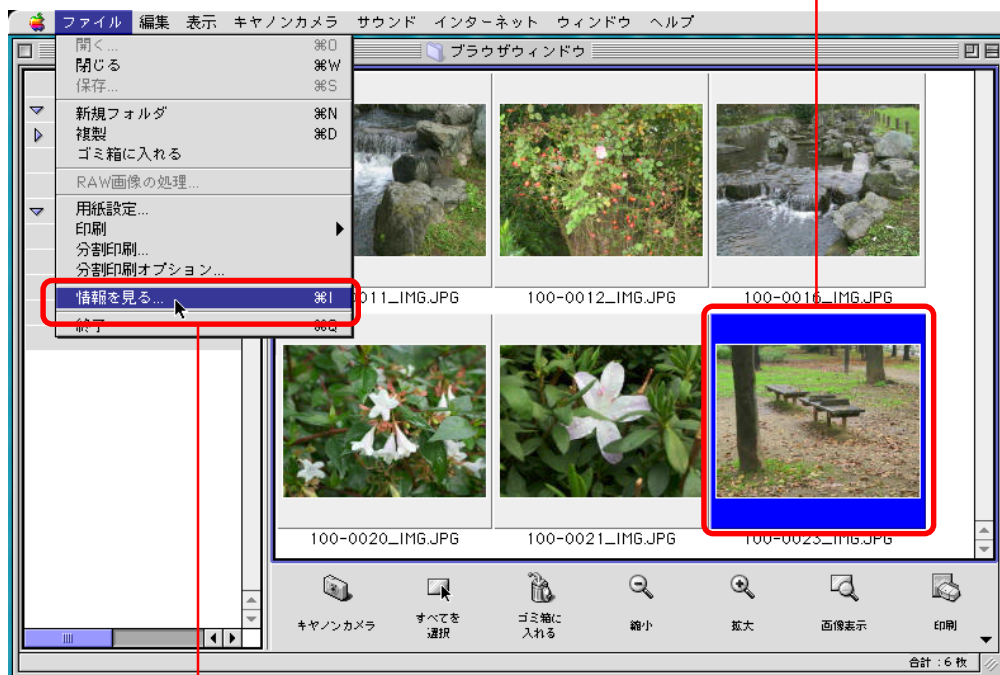


選択した画像の撮影情報を見る操作です。

情報を見る

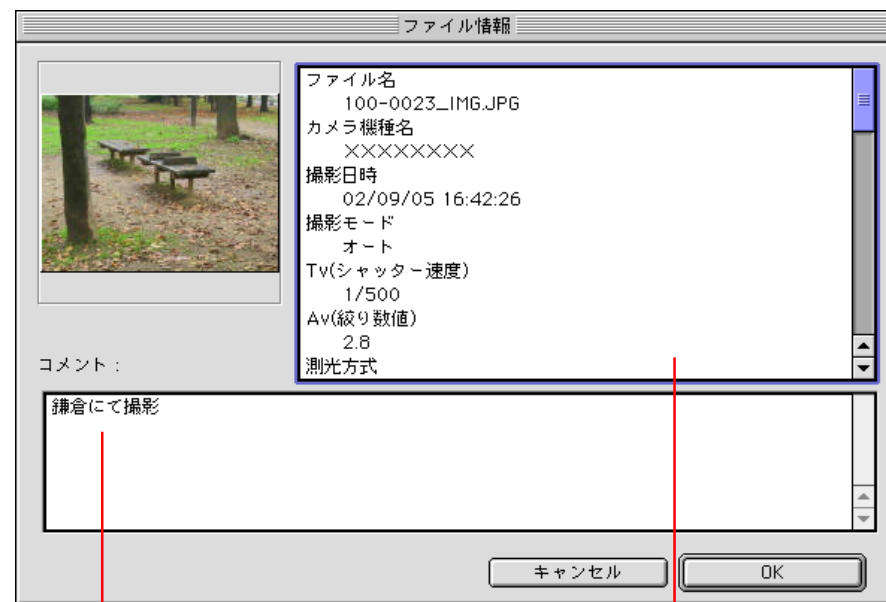
ブラウザエリアで画像を選択した後、[ファイル]メニューから[情報を見る]を選択すると、ファイル情報のウィンドウが表示されます。

情報を見たい画像を選択して



これを選択

ファイル情報ウィンドウでは、カメラ名や撮影日時、撮影時のカメラの設定など、さまざまな情報を見ることができます。ファイル情報のウィンドウを閉じるときは、[OK]をクリックします。



ここにはコメントを入力することができます

ここに表示される情報は、お使いのカメラによって異なります

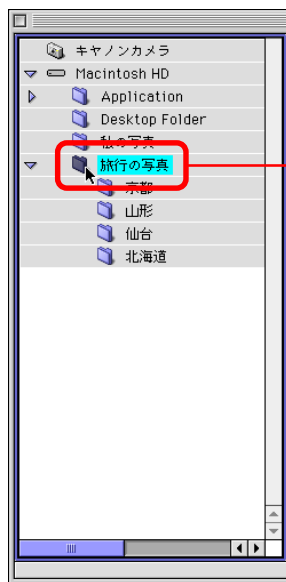
参考

- ・カメラで撮影した画像を、他の画像編集ソフトウェアで加工して保存した場合には、撮影に関する情報やコメントが失われる場合があります。

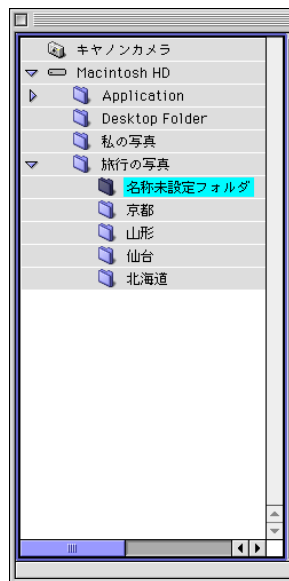
ディスクやフォルダの中に、新しいフォルダを作る方法を説明します。

フォルダを作成する

エクスプローラビューで、フォルダを作成するディスクまたはフォルダを選択した後、[ファイル]メニューから、[新規フォルダ]を選択します。これで「名称未設定フォルダ」という名前のフォルダが作成されます。



新しいフォルダを作成するフォルダを選択して、[ファイル]メニューから、[新規フォルダ]を選択



参考

- ・フォルダの名前を変更する操作については、次ページをご覧ください。
- ・ImageBrowserでフォルダを作成すると、ファイнда上でも、同じ名前のフォルダが作成されます。



新しく作成したフォルダ

フォルダの名前を変える

ここでは、フォルダの名前を変更する操作を説明します。

フォルダ名を変更する

エクスプローラビューで、名前を変更するフォルダの文字の部分をクリックし、少し待つと、文字入力のできる状態になります。新しいフォルダ名を入力し [return] キーを押します。

参 考

- ・ ImageBrowser上で、フォルダの名前を変更すると、ディスク上のフォルダ名も変更されます。



不要なフォルダをゴミ箱に入れる(削除する)操作を説明します。

フォルダをゴミ箱に入れる

不要なフォルダを選択した後、 (ゴミ箱に入れる) をクリックします。

削除したいフォルダを選択して



これをクリック

その他の方法

■ メニューを使ってゴミ箱に入れる

フォルダを選択して、[ファイル] メニューから [ゴミ箱に入れる] を選択することでも、フォルダをゴミ箱に入れることができます。

参 考

- ・これらの操作の後、ファインダの [特別] メニューから [ゴミ箱を空にする] (Mac OS Xの場合は [Finder] メニューの [ゴミ箱を空にする]) を実行すると、フォルダが完全に削除されます。

この章では、ImageBrowserに入っている画像を見たり、編集したりする方法を説明していきます。

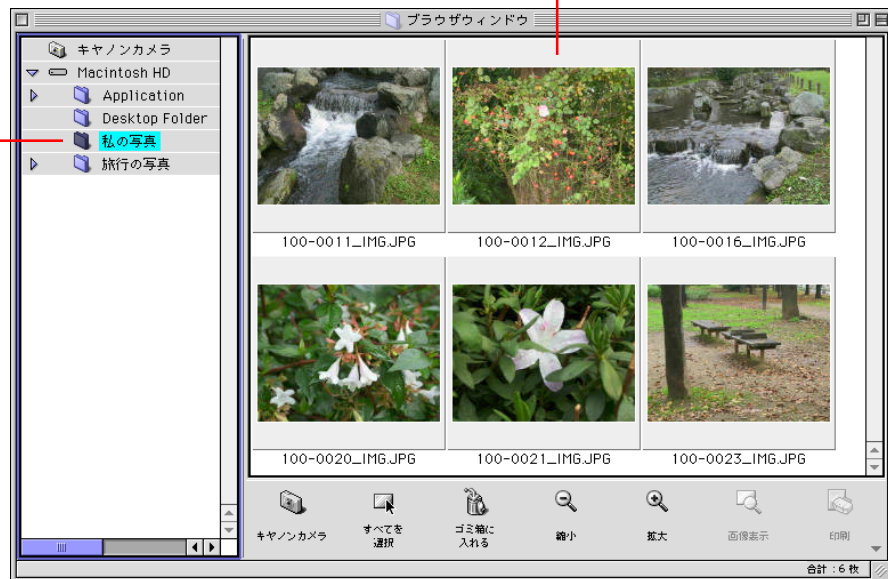
ここでは、エクスプローラビューを使って、見たい画像の入っているフォルダを選択する方法を説明します。

フォルダを選択する

エクスプローラビューで、開きたいフォルダをクリックします。すると、ブラウザエリアにそのフォルダに入っている画像一覧が表示されます。

選択したフォルダ

選択したフォルダに入っている画像が表示されます

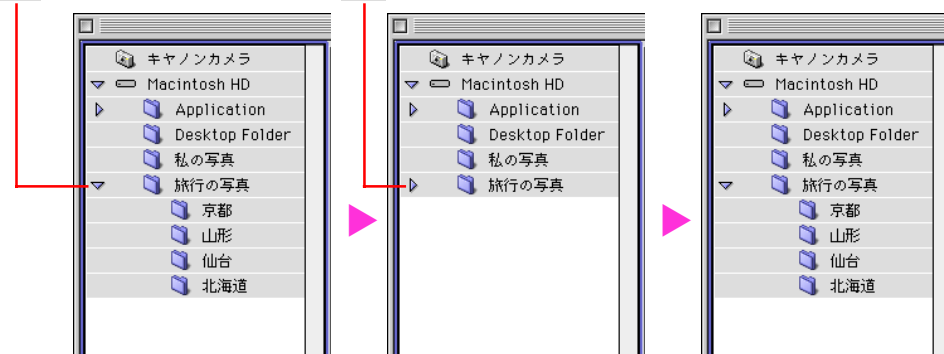


フォルダを開閉する

▼ ▲ のボタンを使って、ディスクやフォルダの内容の表示を閉じたり、開いたりすることができます。

フォルダを閉じる場合は ▼ をクリック

フォルダを開く場合は ▲ をクリック



参 考

- ・エクスプローラビューの [キヤノンカメラ] をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます (カメラが接続され、通信できる状態になっているときに限ります)。メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックするとカメラウィンドウが表示されます。

ブラウザエリアに表示された画像を開く操作です。


1つの画像を開く

ブラウザエリアの開きたい画像をダブルクリックします。新しいウィンドウが開き、画像が表示されます。




画像のサイズ（縦横の画素数）が表示されます

参考



- ・開きたい画像を選択した後、（画像表示）をクリックすることでも画像を開くことができます。
- ・画像を選択した後、[表示]メニューから[画像を表示]を選択することでも画像を開くことができます。

複数の画像を開く

複数の画像を一度に開くときは、次の操作を行います。

- ・ブラウザエリアで [shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくと、複数の画像を選択することができます。そして （画像表示）をクリックします。

画像を閉じる

開いた画像のウィンドウを閉じるときは、（クローズボックス：Mac OS 8.6～9.2の場合）、または （Mac OS Xの場合）をクリックします。

また、[ファイル]メニューから[閉じる]を選択することでも、画像を閉じることができます。

ここをクリックすることで、ボタンの部分の表示/非表示を選択することができます

開いた画像の表示倍率を変える操作です。

ボタンで表示倍率を変更する

🔍 🔍 をクリックすることで、画像の表示倍率を変更することができます。

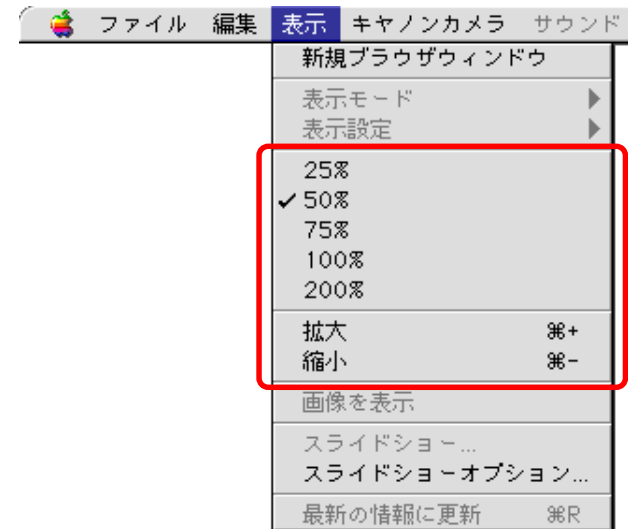


縮小 拡大

現在の表示倍率

メニューで表示倍率を変更する

[表示] メニューから、[25%] ~ [200%] や、[拡大] [縮小] を選択することでも画像の表示倍率を変更することができます。



参 考

・表示可能な倍率は、25% ~ 200% です。

開いた画像を編集する機能について説明します。

編集機能

ImageBrowserでは、次のような編集作業を行うことができます。



■ クロップ

画像の一部を切り出します。周囲の不要な部分をカットするときに使います。

■ 色の調整

色相（色調）、彩度（鮮やかさ）、明度（明るさ）を調整することで、画像のイメージを大きく変化させることができます。

■ 保存


編集した画像を保存するときに使います。

次のページからこれらの操作を詳しく説明していきます。

参 考

- ・ クロップや色の調整を行った後、「あ、失敗した!」と思ったら、[編集]メニューから[元に戻す]を選択してください。直前に行った編集操作を取り消し、操作の前の状態に戻ります。さらに[元に戻す]を選択すると、そのたびに1つずつ前の状態に戻ります。
[元に戻す]で前の状態に戻した後、「やっぱり今のでいいや!」と思ったら、[編集]メニューから[やり直す]を選択してください。編集後の状態に戻ります。

クロップ

周囲の不要な部分を削除し、必要な部分だけを切り出します。画像内にマウスポインタを置き、ドラッグすると、四角い枠で切り出す範囲が表示されます。続いて、 (クロップ) をクリックすると、指定した範囲が切り出されます。



ドラッグで範囲を指定して

このボタンをクリック ▶

参考

- ・ 範囲を指定するとき、ウィンドウ下端に次のような情報が表示されます。




選択した範囲の大きさ
(横と縦の画素数)

現在のポインタの位置

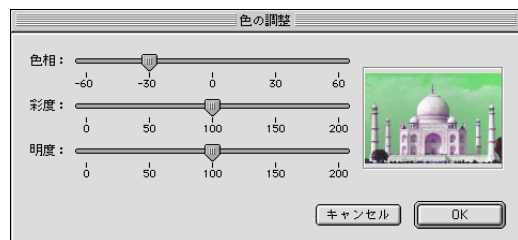


色の調整

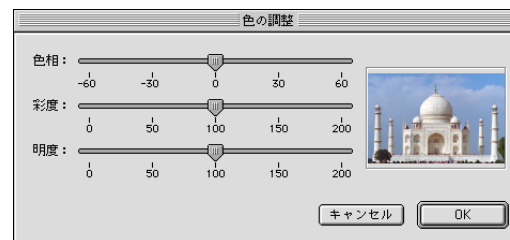
 (色の調整) をクリックすると、「色の調整」のウィンドウが表示されます。「色の調整」ウィンドウで色相、彩度、明度を調整した後、[OK] をクリックします。



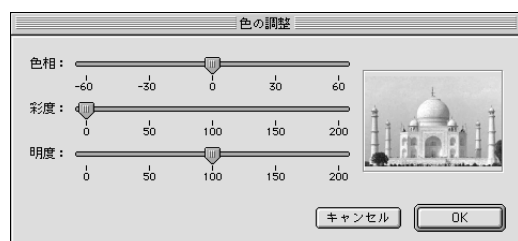
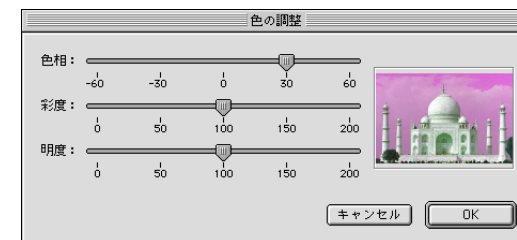
これをクリック



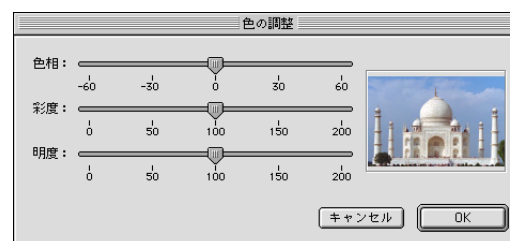
色相を
下げる



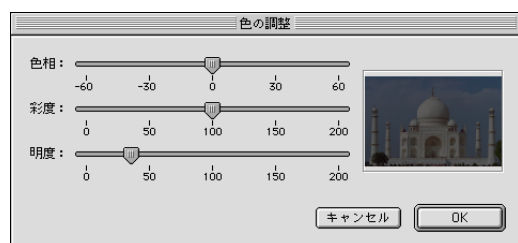
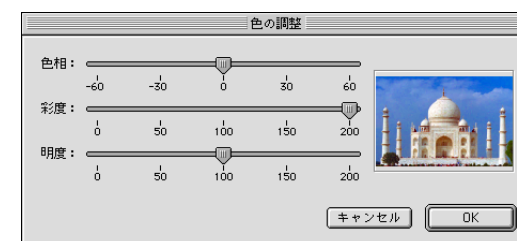
色相を
上げる



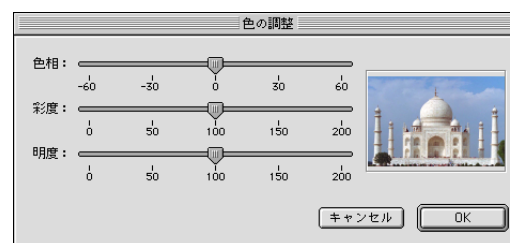
彩度を
下げる



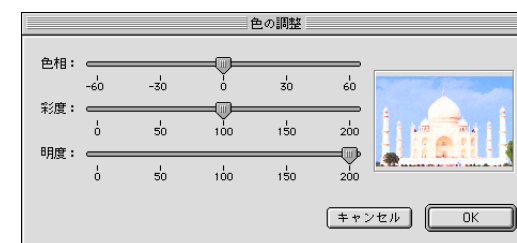
彩度を
上げる



明度を
下げる




明度を
上げる



保存

編集した画像を別の名前で保存します。

画像の編集を終えた後、 (保存) をクリックすると、保存のダイアログが表示されます。ファイル名やファイルの種類を指定して、[保存] をクリックしてください。

編集を終えた画像を、オリジナルの画像に上書きする形で保存したい場合は、「保存」の操作で表示される保存ダイアログで、オリジナル画像と同じファイル名を指定して保存します。

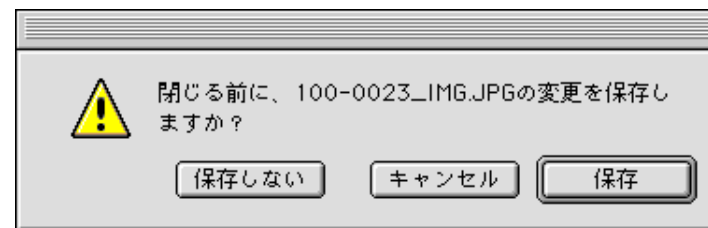


このボタンをクリック



参考

- ・編集作業を終えた後、「保存」の作業をすることなく、画像のウィンドウを閉じようとするとき、編集した画像を保存するかを尋ねるメッセージが表示されます。



保存する場合は [保存] をクリックし、保存のダイアログでファイル名やファイルの種類を指定して、[保存] をクリックしてください。

保存しない場合は [保存しない] をクリックしてください。

- ・「Exif JPEG 形式」は、JPEG 形式の画像ファイルに、撮影データなどの情報を付加したファイル形式です。一般に JPEG 形式の画像ファイルと同様に扱うことができます。

他のソフトウェアで画像を編集する

ImageBrowserで選択した画像を、あらかじめ登録してある別の画像編集ソフトウェアを使って編集する操作を説明します。

参 考

- ・製品に同梱されている画像編集ソフトウェアがインストールされていない場合には、この機能は選択できません。同梱されている画像編集ソフトウェアをインストールしてください。
また、他の画像編集ソフトウェアを使いたい場合には、[編集]メニューの[プレファレンス] (Mac OS Xの場合は [Image Browser] メニューの [環境設定]) を選択し、[ブラウザウィンドウ]の[アプリケーションの登録]で、使用するソフトウェアを登録してください。
- ・お使いのカメラによって、同梱されている画像編集ソフトウェアは異なります。また、機種によっては、画像編集ソフトウェアが同梱されていない場合もあります。

他のソフトウェアで画像を編集する

画像を選択した後、[編集]メニューの[登録したアプリケーションを起動]のサブメニューから、使用するソフトウェアを選択します。



これで、画像編集ソフトウェアが起動し、選択した画像が開かれます。

カメラウィンドウを開く

この章では、ImageBrowserのカメラウィンドウの使い方を説明していきます。

ここでは、カメラウィンドウの3種類の開き方を説明します。

自動的に開く

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続し、カメラを通信可能な状態にすると、自動的にImageBrowserが起動し、ブラウザウィンドウとともに[自動実行]ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、[画像を一覧表示する]または[画像を取り込む]を選択すると、カメラウィンドウが表示されます。

すでにImageBrowserが起動している状態でも、同じ操作でカメラウィンドウを開くことができます。

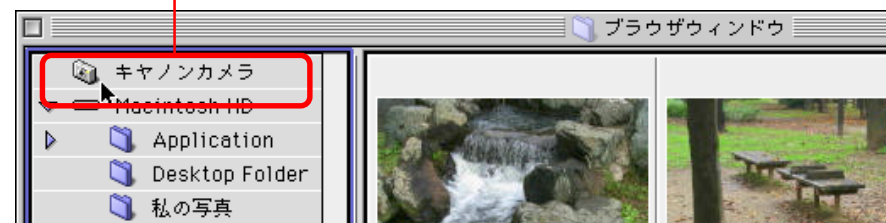
参考

- ・ Mac OS 8.6～9.2の [Canon ImageBrowser Auto Launch] コントロールパネルで、[カメラ接続時に以下のアプリケーションを起動する]のチェックマークが外されている場合や、Mac OS Xをお使いの場合、自動起動は行われません。
また、メモリーカードリーダーをお使いの場合も、自動起動は行われません。


エクスプローラビューの [キヤノンカメラ] を使う

エクスプローラビューにある[キヤノンカメラ]をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます。

これをクリック



[キヤノンカメラ] ボタンを使う

 (キヤノンカメラ) をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます。



これをクリック

メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックするとカメラウィンドウが表示されます。


参考

- ・ 「カメラが検出されません」などのメッセージが表示された場合は、付録の「困ったときには」をご覧ください。

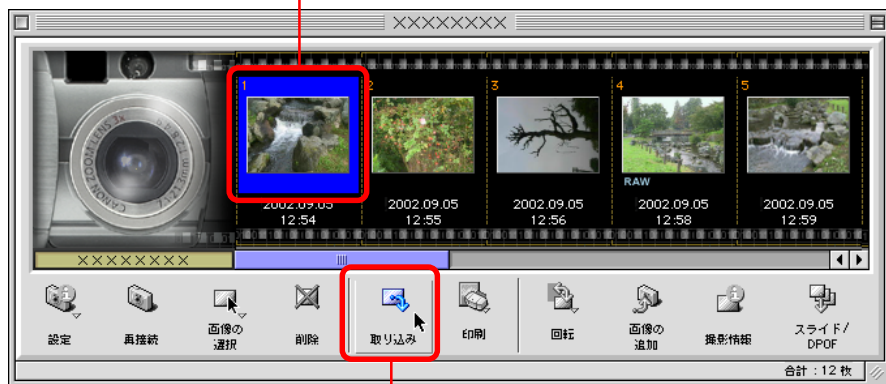
画像を取り込む (1 / 2)

ここでは、カメラ（メモリーカード）に保存されている画像を、パソコンのディスクに取り込む操作を説明します。

画像を取り込む

取り込みたい画像をクリックで選択し、（取り込み）をクリックします。

画像を選択して



これをクリック

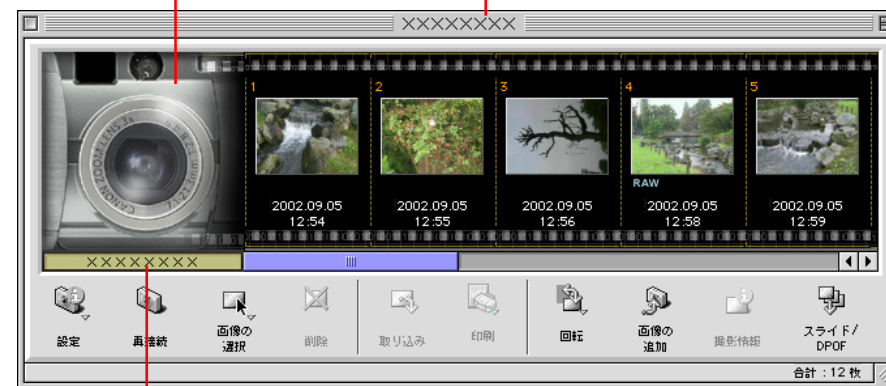


参考

- ・ 画像は、ブラウザウィンドウで選択されているフォルダに取り込まれます。
- ・ カメラウィンドウには、お使いのカメラの機種名やイメージ画像が表示されます。このため、このガイドの画面と、お使いのパソコンの画面とが多少違う場合がありますが、ご心配の必要はありません。

カメラのイメージ画像

カメラ名



カメラ名

その他の方法

■ ダブルクリックで取り込む

カメラウィンドウの画像をダブルクリックすることで、画像を取り込むことができます。

画像を取り込む (2 / 2)


■ ドラッグアンドドロップで取り込む

カメラウィンドウの画像をドラッグし、ブラウザウィンドウのブラウザエリアにドロップすることで、画像を取り込むことができます。また、カメラウィンドウの画像をドラッグし、ブラウザウィンドウのエクスプローラビューのフォルダにドロップすることで、任意のフォルダに直接画像を取り込むこともできます。

■ 複数の画像を取り込む

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、取り込みの操作を行えば、複数の画像を一度に取り込むことができます。

■ 全画像を取り込む

 (画像の選択) をクリックするとメニューが表示されます。このメニューで [すべて選択] を選択した後、取り込みの操作を行えば、全画像を一度に取り込むことができます。

参 考

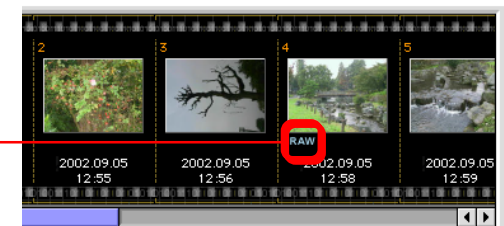
- ・スティッチアシストモード(カメラによって搭載していない機種もあります)で撮影した画像は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

スティッチアシストモードで撮影した画像を示すマーク(波線をクリックすることで、PhotoStitchを起動することができます)



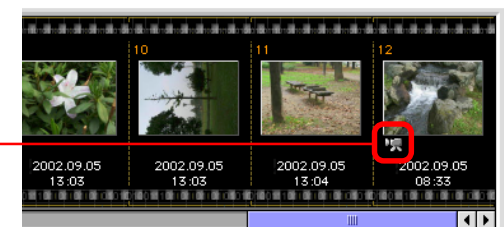
- ・RAWモード(カメラによって搭載していない機種もあります)で撮影した画像は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

RAWモードで撮影した画像を示すマーク



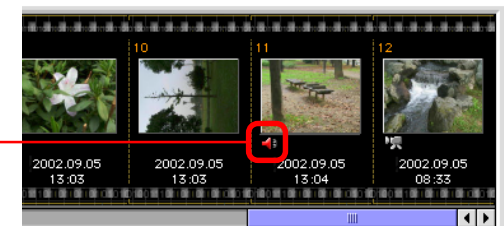
- ・動画モード(カメラによって搭載していない機種もあります)で撮影したメモリーカードに記録されている動画は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

動画を示すマーク



- ・音声メモ(カメラによって搭載していない機種もあります)が付いている画像は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

音声メモを示すマーク




画像を削除する

ここでは、カメラ（メモリーカード）に保存されている画像を削除する方法を説明します。

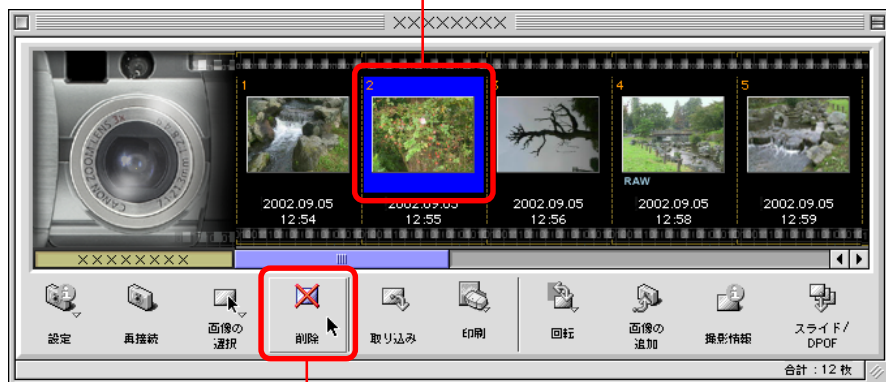
重要

- ・カメラウィンドウで画像を削除すると、メモリーカードに入っている実際の画像が削除されてしまいます。削除すると元に戻すことはできませんので、注意して操作してください。

カメラの画像を削除する

削除したい画像をクリックで選択し、（削除）をクリックします。

画像を選択して



これをクリック


確認のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。これで削除が実行されます。

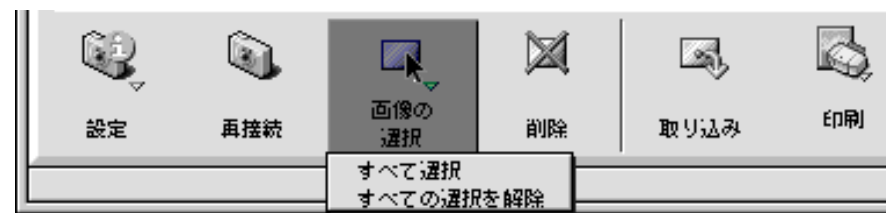
その他の方法

■ 複数の画像を削除する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、削除の操作を行えば、複数の画像を一度に削除することができます。


■ 全画像を削除する

（画像の選択）をクリックするとメニューが表示されます。このメニューで [すべて選択] を選択した後、削除の操作を行えば、全画像を一度に削除することができます。



カメラを縦位置にかまえて撮影した画像を、正しい向きの表示に直す操作を説明します。

カメラの画像を回転する

回転したい画像をクリックで選択し、 (回転) をクリックします。表示されたメニューで、目的の回転方向をクリックします。



参考

- ・ [右に90度] は時計回り、[左に90度] は反時計回りです。
- ・ 「回転」は、カメラウィンドウに表示されている画像が回転するだけで、カメラ内に保存されている画像ファイルそのものは何も変更されません。ただし、その画像を取り込む操作を行うと、実際に画像が回転され、正しい向きの画像ファイルとオリジナルの画像がパソコンに取り込まれます。
- ・ [編集] メニューの [プレファレンス] (Mac OS Xの場合は [ImageBrowser] メニューの [環境設定]) の [ブラウザウィンドウ] で、「JPEG画像の回転時にオリジナルを残しておく」のチェックマークを外した場合には、オリジナル画像は取り込まれず、回転後の画像ファイルだけが取り込まれます。

その他の方法

複数の画像を回転する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に回転することができます。

画像を追加する (1 / 2)

パソコンのディスクに保存されている画像を、カメラ(メモリーカード)に追加する操作を説明します。

重要

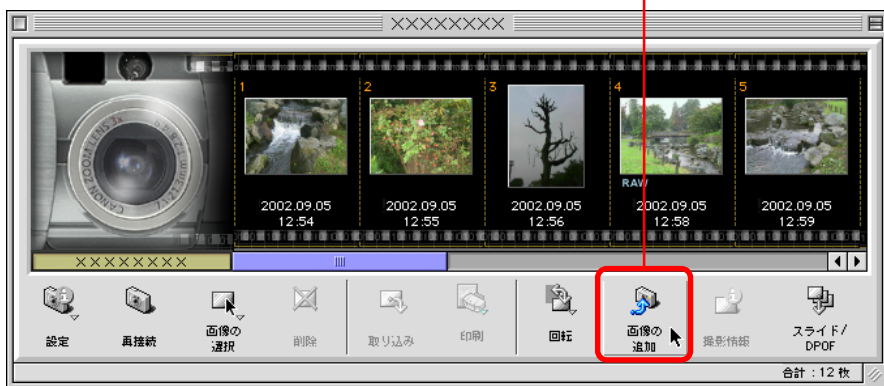
- ・この作業は、カメラがUSBケーブルで接続されていて、通信可能な状態になっているのを確認してから行ってください。
- ・メモリーカードの場合は、メモリーカードリーダーにメモリーカードがセットされているのを確認してから行ってください。

カメラに画像を追加する



(画像の追加) をクリックします。

これをクリック



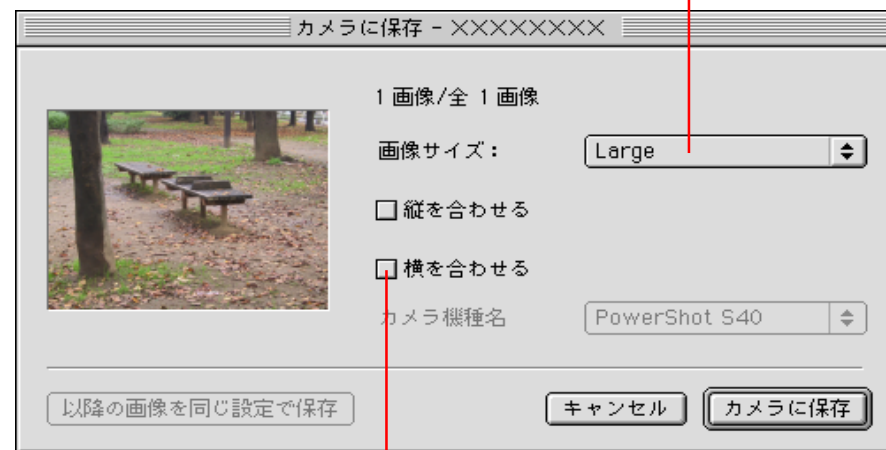
追加する画像ファイルを選択するダイアログが表示されます。追加したい画像ファイルを選択して [開く] をクリックします。

参考

- ・複数の画像を一度に追加することもできます。

下のようなウィンドウが表示されたら、必要に応じて各項目を設定し、[カメラに保存] をクリックします。これで画像が追加されます。

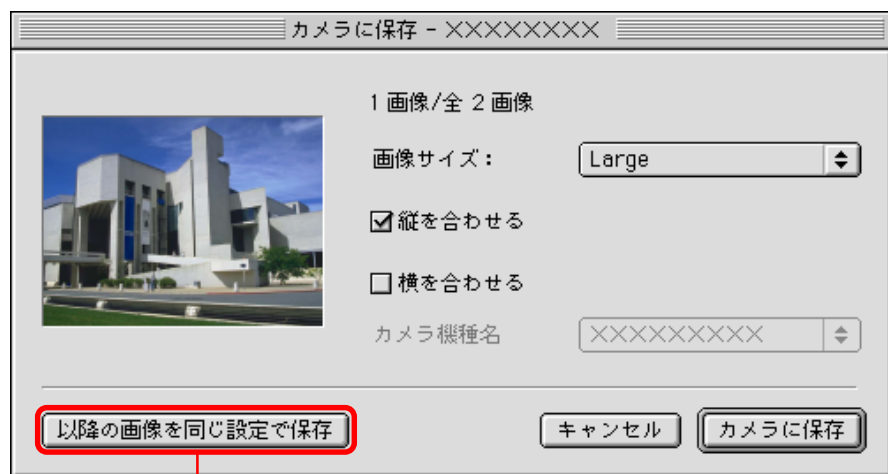
どのサイズの画像として追加するかを選択します



画像の拡大/縮小の基準を指定します



複数の画像を一度に追加するときには、[カメラに保存] のウィンドウの [以降の画像を同じ設定で追加] ボタンが使えるようになります。このボタンを使えば、1 画像ずつ設定をくり返す手間が省けます。



これをクリックすると、現在の設定が、以降の画像すべてに適用されます

参 考

- ・ [縦を合わせる]、[横を合わせる] のチェックを両方とも外した場合、画像の拡大／縮小は行われません。
- ・ [縦を合わせる]、[横を合わせる] のチェックを両方とも付けた場合、画像の縦横比が変わることがあります。
- ・ カメラには、JPEG 形式、PICT 形式、TIFF 形式、Windows ビットマップ形式のファイルを追加することができます。(ただし、カメラに保存されるファイル形式は JPEG 形式になります) ファイル形式については、付録の「対応しているファイル形式」で詳しく説明しています。
- ・ RAW 形式、動画ファイル (AVI 形式) は、追加できません。

その他の方法

■ メニューを使う

[キヤノンカメラ] メニューから [画像の追加] を選択することでも、画像を追加することができます。


■ ドラッグアンドドロップで追加する

ブラウザエリアの画像をドラッグして、カメラウィンドウにドロップすることでも、画像を追加することができます。

カメラの設定を確認、変更する

カメラの設定をパソコン上で確認することができます。

カメラの設定を確認、変更する

 (設定) をクリックし、表示されたメニューで [カメラ設定] をクリックします。

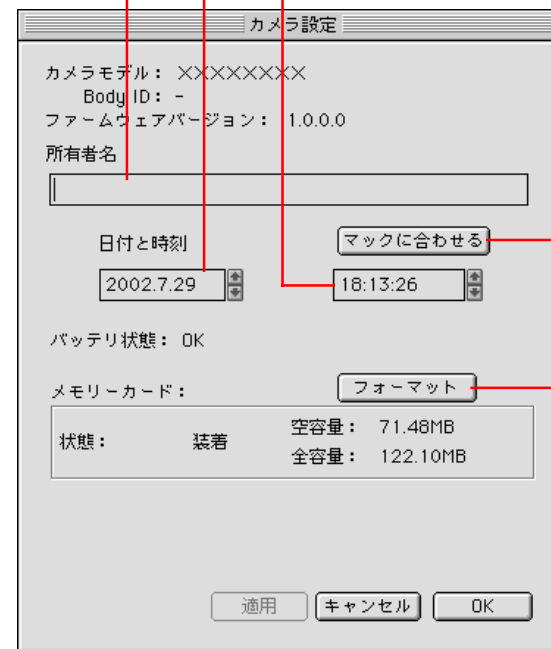


[設定] のメニューから [カメラ設定] を選択

これで [カメラ設定] ウィンドウが表示されます。[カメラ設定] ウィンドウでは、右のような設定ができます。

カメラの所有者名を入力することができます

カメラの時計を設定することができます



このボタンをクリックすると、カメラの日付と時刻が、パソコンの日付と時刻と同じ設定になります

このボタンをクリックすると、カメラのメモリーカードを初期化することができます(機種によっては初期化できない場合もあります)

確認、変更が終わったら、[OK] をクリックします。

これまで説明しなかったカメラウィンドウの機能をまとめて説明します。

[設定] メニューから [通信設定] を選択すると、カメラと通信するポートの設定などを行うことができます *

[設定] メニューから [マイカメラ (デジタルカメラ用)] を選択すると、カメラの起動画面やシャッター音などをカメラに登録するためのウィンドウが表示されます (この操作については第6章の「カメラにマイカメラコンテンツを登録する」で説明します) *



カメラとパソコンの接続が途絶えた後、再び接続したいときにクリックします *

選択された画像をプリントするときにクリックします (この操作については第6章の「画像をプリントする」で説明します)

撮影時の情報を確認したいときにクリックします

カメラを使ったスライドショーや、DPOF (プリント指定) を行うときにクリックします (この操作については付録の「カメラ上でのスライドショーの設定」、「プリント指定」で説明します) *

「*」の付いたボタンは機種によってはお使いになれません

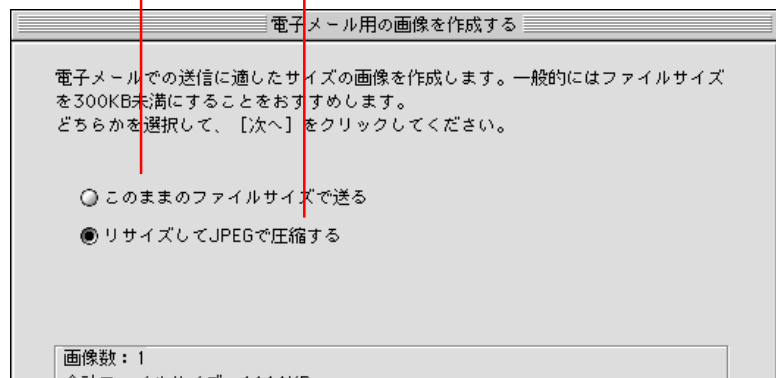
この章では、ImageBrowserで保管している画像を、さまざまな場面で活用する方法を説明していきます。

ここでは、電子メールに添付するために、画像のファイルサイズを小さくする方法を説明します。

画像を電子メールで送信する

- 1 ブラウザエリアで送信したい画像を選択します。
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを使って複数の画像を選択することもできます。
- 2 [インターネット] メニューから [電子メール用の画像を作成する] を選択します。
- 3 送信の方法を選びます。

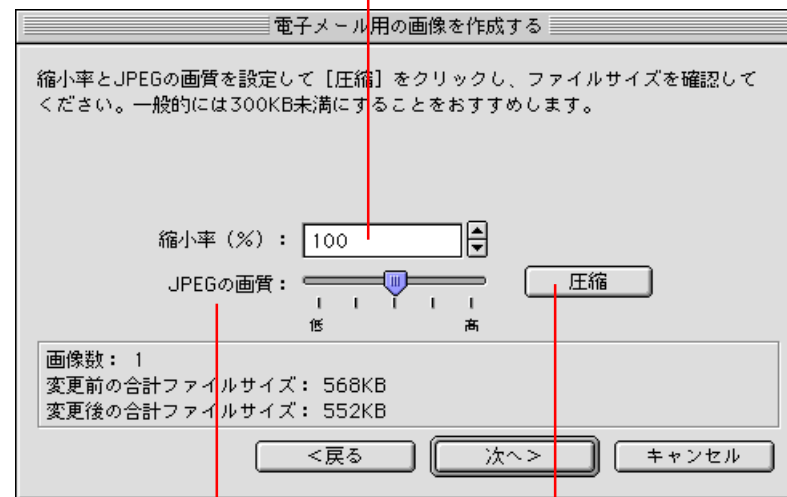
画像を縮小したくない場合を選びます
通常は、こちらを選びます



- 4 [次へ] をクリックします。
画質を設定するウィンドウが表示されます。ただし、[このままのファイルサイズで送る] を選択した場合は、画質設定のウィンドウは表示されませんので、手順7に進んでください。

- 5 縮小率と画質を設定します。

元の画像に対する縮小率を設定します
(50%で縦横とも半分の大きさとなります)



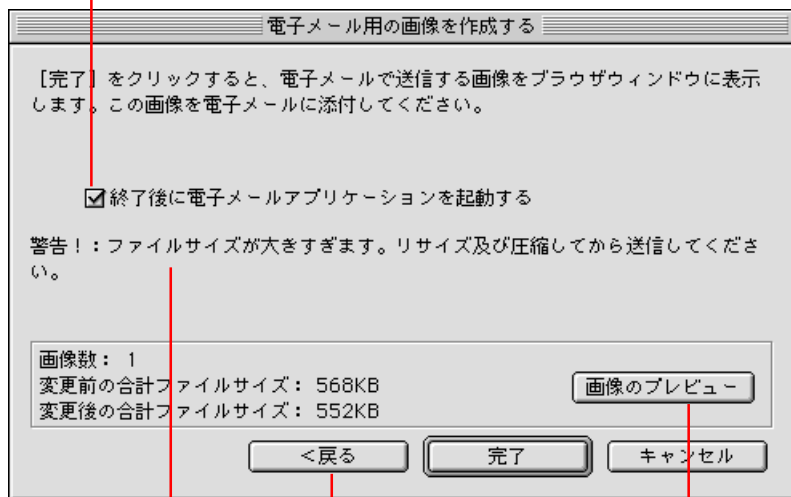
画質を設定します
(低くするほど画像は荒れますが、ファイルサイズは小さくなります)

実際に圧縮したときのファイルサイズを確認するときに使います
(ファイルサイズは「変更後の合計ファイルサイズ」に表示されます)

- 6 [次へ] をクリックします。
最後のウィンドウが表示されます。

7 画像の保存後に、電子メールのソフトウェアを起動するかどうかを選択します。

画像保存後に、電子メールのソフトウェアを起動させたいときは、ここにチェックマークを付けます



ファイルサイズが大きいときは、警告メッセージが表示されます

ファイルサイズを変更したいときは、[戻る]をクリック

変更後の画像の状態を確認したいときにクリック

8 [完了] をクリックします。

・ はじめて電子メール用の画像を作成した場合には、エクスプローラビューに「電子メール用画像」というフォルダが作成され、その中に画像が保存されます。すでに「電子メール用画像」フォルダが作成されている場合には、その中に画像が保存されます。

- ・ 手順7で [終了後に電子メールアプリケーションを起動する] を選択した場合には、この後、自動的に電子メールソフトウェアが起動します。
新しいメールの画面を開き、保存したばかりの画像を添付ファイルとして指定すれば、画像付きのメールが送れます。
- ・ Outlook Expressなどの電子メールソフトウェアの場合、ブラウザエリアの画像を新規メールのウィンドウ内に、ドラッグアンドドロップするだけで添付することができます。

参 考

- ・ Mac OS 8.6～9.2の場合、この操作で起動する電子メールソフトウェアは、コントロールパネルの[インターネット]の[電子メール] タブの画面で変更できます。Mac OS Xの場合は、システム環境設定の[インターネット]の[メール] タブの画面で変更できます。ただし、お使いの電子メールソフトウェアによっては、自動起動できない場合もあります。
- ・ Mac OS 8.6～9.2の場合、「電子メール用画像」フォルダの画像は、ImageBrowserをインストールしたフォルダ、または「書類」フォルダの「ImageBrowserUserData」→「Mail」というフォルダに入っています。Mac OS Xの場合は、起動ディスクの「Users」→「ユーザーのログイン名」→「Library」→「Preferences」→「ImageBrowserUserData」→「Mail」というフォルダに入っています。

選択した複数の画像を、画面いっぱいに連続して表示する「スライドショー」の使い方を説明します。

スライドショーを設定する

はじめに、どういった方法でスライドショーを進めていくかを設定します。

[表示]メニューから[スライドショーオプション]を選択し、表示方法を設定します。

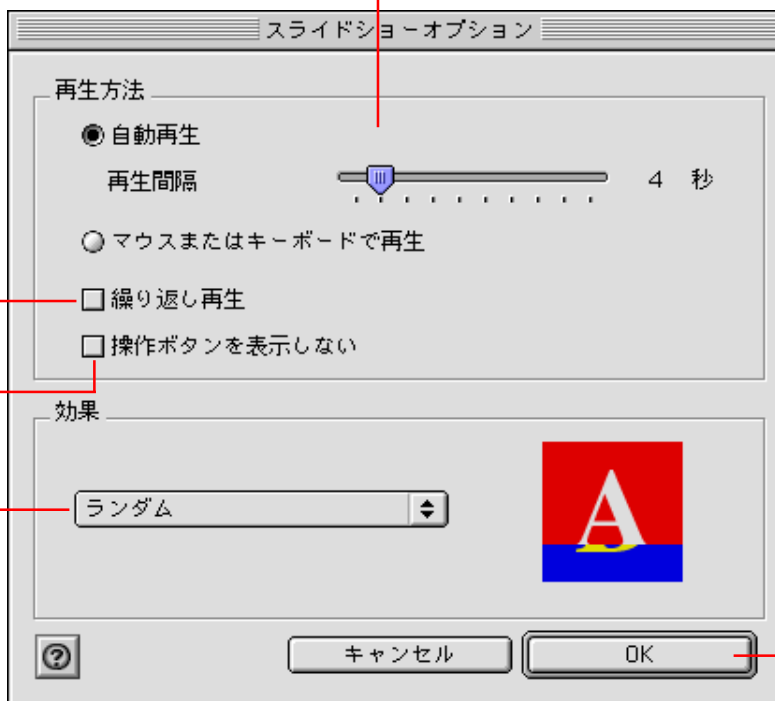
画像が表示された後、自動的に次の画像が表示されるようにする場合は[自動再生]を選択し、再生間隔の秒数を指定します
自動で進行しないようにする場合は[マウスまたはキーボードで再生]を選択します

一通りのスライドショーが終了した後、再びはじめから開始するようにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます

スライドショーを実行している間、操作ボタンを表示しないようにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます

画像の切り替え時に使用する効果を選択します(効果を選択すると、その効果が右のエリアで確認できます)

なお、「ランダム」は「ランダムにいろいろな効果を利用する」という意味です



設定が完了したら [OK] をクリックします


スライドショーを実行する

まず、スライドショーで表示したい画像を、ブラウザエリアで選択します。

続いて [表示] メニューから [スライドショー] を選択すると、スライドショーがはじまります。



参 考

- ・フォルダの全画像をスライドショーで見る場合には、 (すべてを選択) ボタンを使うと便利です。

スライドショーの実行中には、画面下のボタンを使って次のような操作をすることができます。

ひとつ前の画像に戻る
ときにクリックします

次の画像に進むときに
クリックします

最初の画像に戻るとき
にクリックします

最後の画像に進むとき
にクリックします

一時停止するときをクリックします
(もう一度クリックすると再開します)

【プリント指定ボタン】
スライドショーの実行中、気に入った画像があったらこのボタンをクリックします(ボタンにチェックマークが表示されます) スライドショーを終了すると、チェックを付けた画像をプリントする画面が、自動的に表示されます

スライドショーを終了する
ときにクリックします

【画像選択ボタン】

スライドショーの実行中、画像の選択/選択解除を行うときにこのボタンをクリックします(選択されている画像には、ボタンにチェックマークが表示されます) スライドショーを終了すると、選択解除した画像は、ブラウザウィンドウ上でも選択が解除されています スライドショーで画像を拡大表示して必要な画像だけにチェックを付け、スライドショーが終わったら、選択されている画像だけを別のフォルダに入れるというような使い方ができます

[スライドショーオプション] のウィンドウで、[マウスまたはキーボードで再生] を選択した場合には、次の操作でスライドショーを進行させます。

■ 次の画像に進むとき

[return] キー、[→] キーを押す。
マウスをクリックする。*

■ 前の画像に戻るとき

[←] キーを押す。
[shift] キーを押しながら、マウスをクリックする。*

■ スライドショーを終了するとき

[esc] キーを押す。

[スライドショーオプション] のウィンドウで、[操作ボタンを表示しない] を選択した場合には、[control] キーを押しながらマウスをクリックしてメニューを表示し、スライドショーを進行させます。([自動再生] を選択した場合でも、この操作は可能です)

次へ進む 前へ戻る
最後へ進む 最初へ戻る
一時停止
終了

参 考

- ・ [スライドショーオプション] のウィンドウで、[操作ボタンを表示しない] を選択した場合のみ、*印のマウス操作ができます。(操作ボタンが表示されているときは、マウス操作ができません)

画像にサウンドを付ける (1 / 2)

画像にサウンドを録音しておき、必要に応じてそのサウンドを再生することができます。

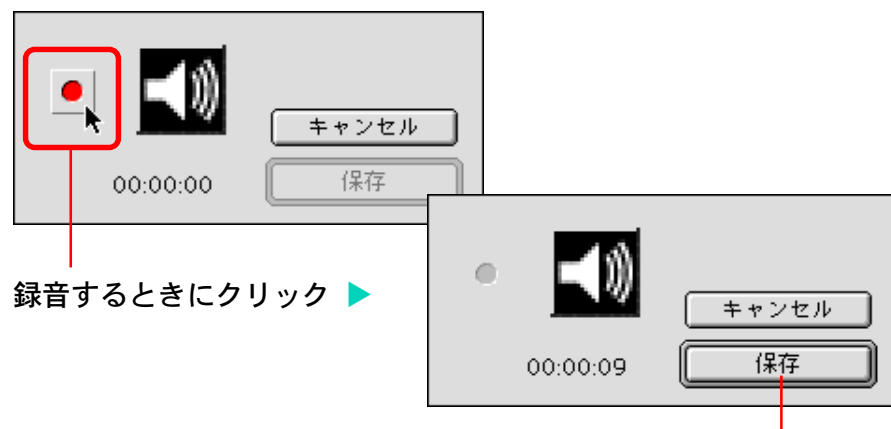
参 考

- ・ ImageBrowserのサウンドの録音は、Mac OSの録音機能を使います。機種によってはマイクなどの機材を用意し、[サウンド]コントロールパネルなどを使って、実際に録音ができる設定になっていることを確認しておいてください。

画像にサウンドを録音する

ブラウザエリアで画像を選択した後、[サウンド]メニューから[録音]を選択します。

次のようなウィンドウが表示されます。



[保存]が選択できる状態になったら録音を開始し、終了するときには[保存]をクリック

● をクリックし、[保存]が表示されたら録音を開始します。
[保存]をクリックすると、録音が終了し、サウンドが保存されます。

これで画像にサウンドが付けられます。

サウンドの付いた画像には、次のようなマークが表示されます。



サウンドが付いていることを示すマーク

画像のサウンドを再生する

■ メニューを使って再生する

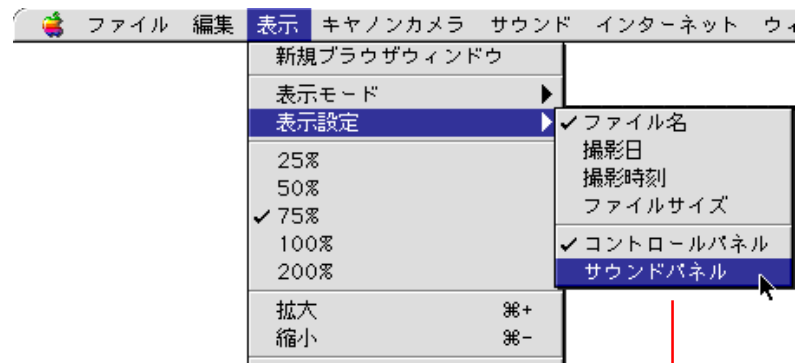
サウンドの付いた画像を選択した後、[サウンド]メニューから[再生]を選択すると、サウンドが再生されます。

また、再生中には[サウンド]メニューの[一時停止]や[停止]を使って、再生をコントロールすることができます。

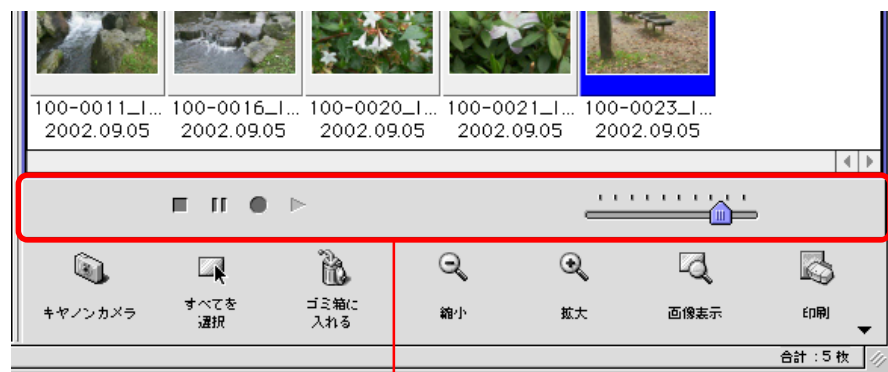
画像にサウンドを付ける (2 / 2)

■ サウンドパネルを使って再生する

[表示]メニューから[表示設定]を選択し、表示されたメニューから「サウンドパネル」を選択します。



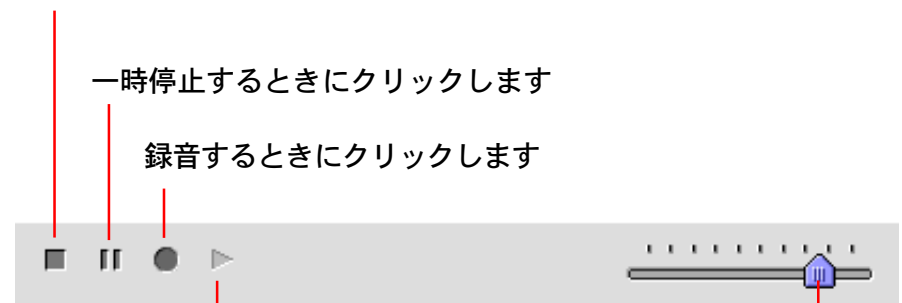
「サウンドパネル」を選択



サウンドパネルが表示されます

サウンドの付いた画像を選択した後、サウンドパネルを使って、次のような操作をすることができます。

停止するときにクリックします



再生するときに
クリックします

音量を調整するときに
左右に動かします

参 考

- ・ 録音したサウンドを消去したい場合は、その画像を選択した後、[サウンド]メニューから[録音]を選択します。確認のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。録音のウィンドウで [キャンセル] をクリックします。これでサウンドが消去されます。
- ・ サウンドを録音すると、その画像ファイルと同じフォルダにサウンドファイル (ファイル名の末尾に「.AIF」という文字が付いた AIFF 形式のサウンドファイル) が作成されます。

パソコンの中に保存されている「マイカメラコンテンツ」をカメラに登録したり、カメラに登録されている「マイカメラコンテンツ」をパソコンに保存する方法を説明します。(マイカメラ機能に対応した機種のみ)

マイカメラコンテンツって？

カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音のことを「マイカメラコンテンツ」と呼びます。カメラ側のマイカメラコンテンツには、好きな画像や音をパソコン側から登録することができます。

マイカメラコンテンツを表示する

ImageBrowserには、あらかじめいくつかのマイカメラコンテンツが用意されています。まずはじめに、このマイカメラコンテンツを表示してみましょう。

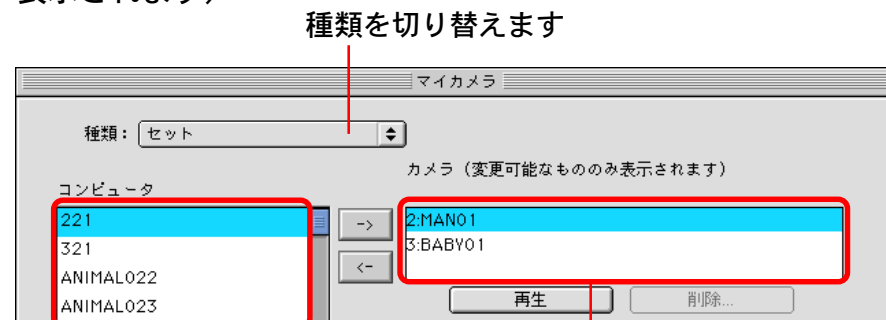
- 1 カメラとパソコンを接続し、通信可能な状態にして、カメラウィンドウを表示します。
- 2 [設定] をクリックし、表示されたメニューで [マイカメラ (デジタルカメラ用)] を選択します。



マイカメラウィンドウが表示されます。

このウィンドウの「種類」を切り替えてみてください。「コンピュータ」の一覧に、用意されているマイカメラコンテンツ (画像や音声ファイル) が表示されます。

また、[カメラ内を見る] をクリックすると、カメラ内のマイカメラコンテンツが表示されます。(変更できるコンテンツだけが表示されます)



パソコン内にあらかじめ用意されているマイカメラコンテンツが表示されます

カメラ内に入っているマイカメラコンテンツが表示されます

参考

- ・種類の「セット」は、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が、あるテーマにそってまとめられたものです。セットを変更することで、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を一括して変更することができます。

マイカメラウィンドウの「コンピュータ」の一覧に表示されているコンテンツをカメラに登録することができます。

参 考

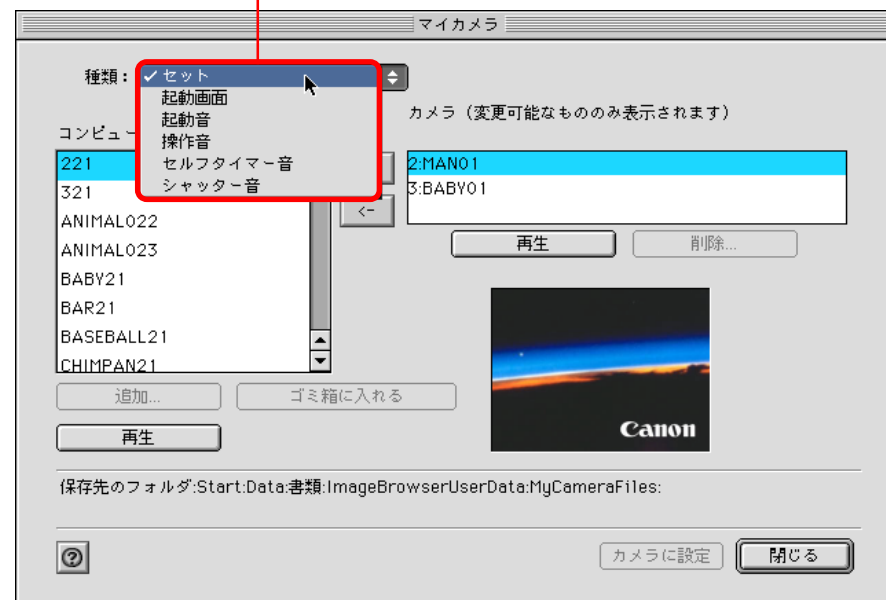
- ・ [編集] メニューの [マイカメラ (デジタルカメラ用)] を選択することでも、マイカメラウィンドウを表示することができます。
- ・ 種類で「セット」を選び、任意のセットをカメラに登録すると、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を一括して変更することができます。
- ・ 「コンピュータ」の一覧に、新しいファイルをコンテンツとして追加することもできます。コンテンツを追加する方法については後述します。
- ・ あらかじめ用意されているマイカメラコンテンツは、Mac OS 8.6～9.2の場合、インストールしたドライブの「Canon Utilites」→「ImageBrowser」→「ImageBrowser.Info」→「MyCameraFiles」の中に入っています。ただし、システムが入っているディスクに「書類」フォルダがある場合は、「書類」→「ImageBrowser UserData」→「MyCameraFiles」の中に入っています。Mac OS Xの場合は、起動ディスクの「Users」→「ユーザーのログイン名」→「Library」→「Preferences」→「ImageBrowserUserData」→「MyCameraFiles」というフォルダに入っています。

コンテンツをカメラに登録する

ここでは、あらかじめ用意されているマイカメラコンテンツを、カメラに登録します。

1 マイカメラコンテンツの「種類」を選択します。

コンテンツの種類を選択します

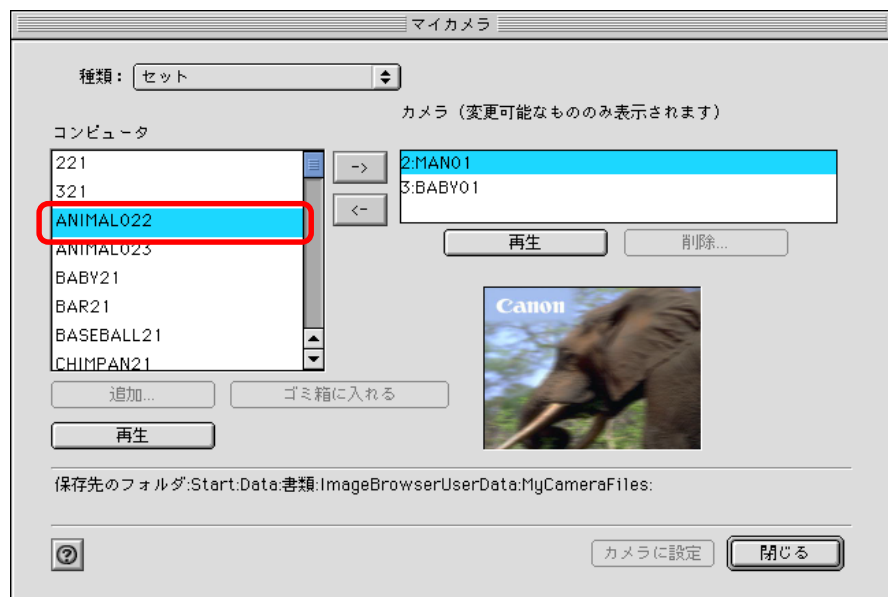



2 「コンピュータ」の一覧から、登録したいコンテンツを選択します。

起動画面の場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示されます。

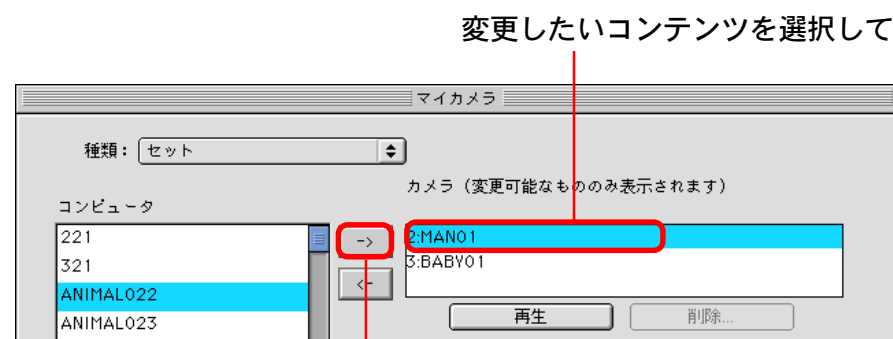
音の場合は、コンテンツを選択すると、自動的に再生が実行されます。

セットの場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示され、「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が連続して再生されます。



3 「カメラ」で変更したいコンテンツを選択し、 をクリックします。

確認の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。これで「カメラ」のコンテンツが、「コンピュータ」で指定したコンテンツに置き換わります。すでに同じ名前のコンテンツが登録されている場合は上書きされます。

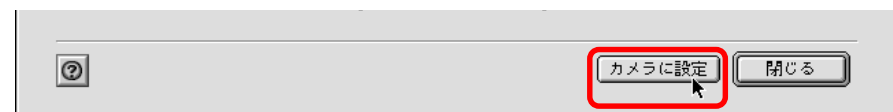


これをクリック

必要に応じて、手順1～3を繰り返して、登録したいコンテンツを置き換えます。

この段階では、ウィンドウ上での表示が変わるだけで、カメラ内のコンテンツは変更されていません。

4 [カメラに設定] をクリックします。「カメラ」のコンテンツが、カメラに登録されます。



5 [閉じる] をクリックして、ウィンドウを閉じます。
これで、カメラへの登録は完了です。

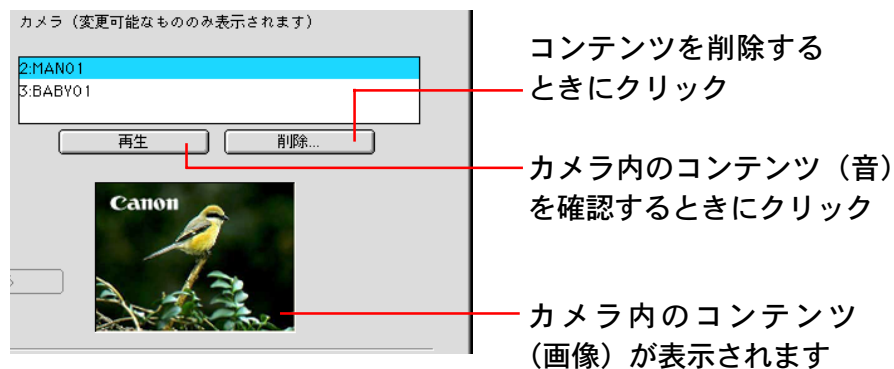
あとは、カメラ側で起動画面や起動音などの設定を変更してください。設定の変更については、カメラの説明書をご覧ください。

重要

- ・コンテンツをカメラに登録している最中は、USB ケーブルを抜いたり、カメラの電源を切るなど、通信を切断しないようにしてください。

参考

- ・「カメラ」に登録したコンテンツを削除するときは、削除したいコンテンツを選択し、[削除] をクリックします。
- ・[再生] をクリックすると、カメラ内のコンテンツ（音）を確認することができます。



新しいファイルをマイカメラウィンドウに追加する方法

マイカメラウィンドウに新しくコンテンツを追加するには、次の2つの方法があります。

- ・画像や音声ファイルを新しく作成してパソコンに保存し、そのファイルをマイカメラコンテンツとして追加する
- ・インターネット上のオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」からマイカメラコンテンツ用ファイルをダウンロードして追加する

詳しい操作については、次の項から説明していきます。

ファイルを作成してから追加する

■ ファイルを作成する

はじめに、起動画面となる画像ファイルや起動音などに使う音声ファイルを作成し、パソコンに保存します。

重要

- ・次のページに示す条件を満たしていないファイルは、カメラに登録できません。

●起動画面用の画像ファイルを作成する

Adobe Photoshop LE や ArcSoft PhotoStudio、ArcSoft PhotoImpressionのような画像処理ソフトを使って、画像ファイルを作成します。ファイルはJPEG形式で、横320×縦240ドット、ファイル容量は20KB以下のサイズにします。

参 考

- ・画像処理ソフトの操作方法の詳細については、各ソフトウェアのヘルプや説明書をご覧ください。

●音声ファイルを作成する

音声は「11.025kHzまたは8.000kHz、8bit、モノラル」で録音し、ファイルはWAV形式にします。

また、カメラに登録できる音声ファイルの長さは、次の表を目安にしてください。

音の種類	秒数	
	11.025kHzのとき	8.000kHzのとき
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

Mac OS に標準で添付されている SimpleSound を使って音声を録音する場合、WAV 形式ではファイルを保存できません。SimpleSound で録音、保存した後、ArcSoft VideoImpression などを使って、サウンドをWAV形式に変換します。詳しい作成方法については、右で説明しています。

■音声ファイルを作成する手順

ここでは、SimpleSoundを使って音声を録音、保存し、ArcSoft VideoImpressionを使って、保存した音声ファイルをWAV形式に変換する方法を説明します。

重 要

- ・ SimpleSound は、Mac OS 8.6 ~ 9.2 で動作するアプリケーションソフトです。
Mac OS X をお使いの場合には、[起動ディスク] コントロールパネルを使って、Mac OS 9.2 で再起動してから操作を行ってください。(Mac OS X の Classic 環境の場合、SimpleSound で録音できません)

- 1 SimpleSound を起動します。
- 2 [ファイル] メニューの [新規] を選択します。
録音パネルが表示されます。
- 3 [録音] をクリックします。



4 録音を終了するときは、[停止] をクリックします。

5 [保存] をクリックします。
保存のダイアログが表示されます。

6 ファイルを保存します。
ファイル名を指定し、[保存] をクリックしてください。
これで、録音した音声ファイルが保存されます。

参 考

- ・作成した音声ファイルは、システムが入っているディスクに保存してください。それ以外のディスクには保存することはできません。

7 [ファイル] メニューの [終了] を選択します。
SimpleSound が終了します。

8 ArcSoft VideoImpressionをインストールした先のディスク→ [VideoImpression] フォルダ→ [VideoImpression] アイコンをダブルクリックします。
ArcSoft VideoImpression が起動します。

9 [新規] をクリックします。

10 リストボックスから [オーディオ] を選択し、[追加] をクリックします。

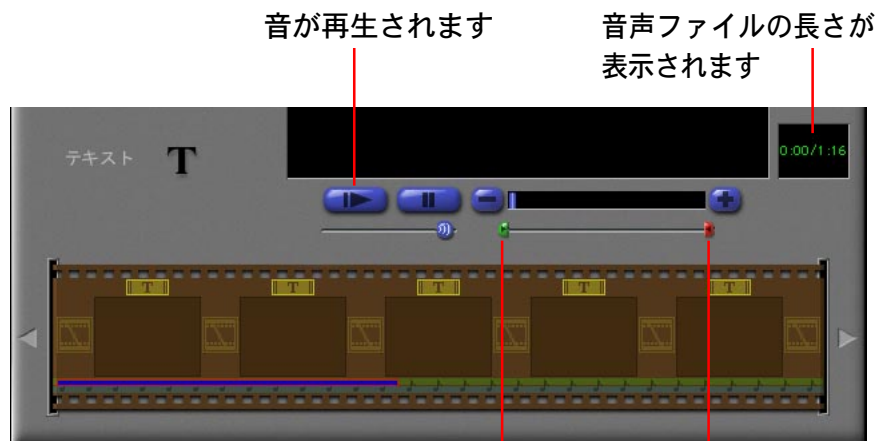


ファイルを開くダイアログが表示されたら、SimpleSoundで作成した音声ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
新しい音声アイコンが追加されます。

11 新しく追加された音声アイコンをダブルクリックします。
音声の編集画面に切り替わります。



- 12 音声ファイルの長さを編集します。
スタートマークとエンドマークの位置を変更し、音声ファイルの長さを変更します。



緑色のスタートマークと赤色のエンドマークを左右に動かして、音声ファイルの長さを調整します

参 考

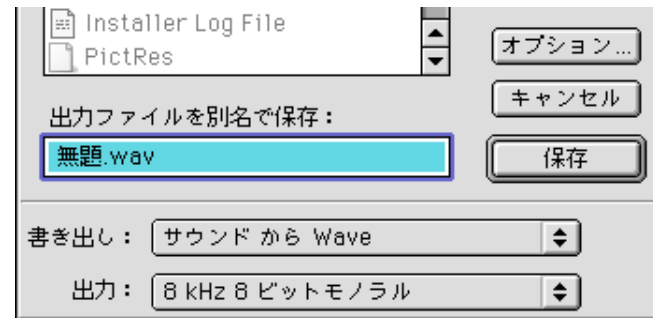
- ・マイカメラコンテンツ用の音声ファイルを作成する場合、音の種類によって長さの条件が変わります。詳しくは、前々ページの表をご覧ください。

- 13 [ムービーの再生] をクリックします。
最初の画面に戻ります。

- 14 [保存] をクリックします。

- 15 [QuickTime] をクリックします。

- 16 次のように設定し、[保存] をクリックします。
ファイル名を指定し、「書き出し」では[サウンドからWave]を選択し、「出力」では[8kHz 8ビット モノラル]または[11.025kHz 8ビット モノラル]を選択します。



17 [アルバムの追加] ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

これで、作成したファイルが保存されます。

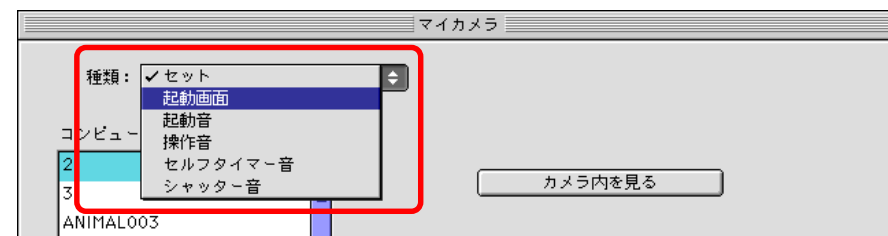
18 [ファイル] メニューの [終了] を選択します。
ArcSoft VideoImpression が終了します。

参 考

- ・ ArcSoft VideoImpression の操作方法の詳細については、ArcSoft VideoImpression のヘルプ（画面右上の「？」をクリックして開きます）をご覧ください。

- ファイルをマイカメラコンテンツとして追加する
ファイルを作成したら、マイカメラウィンドウに追加します。

1 マイカメラウィンドウを表示し、「種類」で追加したいコンテンツの種類を選択します。



2 [追加] をクリックします。



[追加] をクリック

参 考

- ・ 「種類」に [セット] が選択されている場合、[追加] はグレイアウトしていてクリックできません。

3 ファイルを選択するウィンドウが表示されたら、あらかじめ作成してあるファイルを選択し、[開く]をクリックします。

指定したファイルがコンテンツとして「コンピュータ」の中に表示されます。



これで、コンテンツが追加できました。

ここで追加したコンテンツは、「コンテンツをカメラに登録する」と同じ操作でカメラに登録できます。

参考

- ・コンテンツを削除するときは、削除したいコンテンツを選択し、[ゴミ箱に入れる]をクリックします。
- ・新しく作成したファイルだけでなく、すでに作成してある画像ファイルや音声ファイルも、同じような操作でマイカメラコンテンツとして追加することができます。この場合も、追加できる画像ファイルと音声ファイルの条件は、「ファイルを作成してから追加する」の「ファイルを作成する」に記載されている条件と同じです。

Canon Image Gateway からコンテンツをダウンロードする

インターネット上のオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」からマイカメラコンテンツ用ファイルをダウンロードすることができます(受信してパソコンのディスクに保存できます)。ダウンロードされたコンテンツは、自動的にマイカメラウィンドウに表示されます。

参考

- ・「Canon Image Gateway」からマイカメラコンテンツをダウンロードする方法については、第7章の「画像や音声ファイルをダウンロードする」をご覧ください。

コンテンツをパソコンに保存する

カメラに登録されているマイカメラコンテンツを、パソコンのディスクに保存することができます。

1 マイカメラコンテンツの「種類」を選択します。


2 「カメラ」の一覧から、保存したいコンテンツを選択します。

起動画面の場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示されます。

音の場合は、コンテンツを選択すると、自動的に再生が実行されます。

セットの場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示され、「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が連続して再生されます。



3  をクリックします。

4 保存するコンテンツに名前を付け、[OK] をクリックします。

コンテンツがパソコンのディスクに保存されます。すでに同じ名前のコンテンツが登録されている場合は上書きされます。

必要に応じて、手順1～4を繰り返して、登録したいコンテンツを保存します。


5 [閉じる] をクリックして、ウィンドウを閉じます。これで、パソコンへの保存は完了です。

重要



- ・コンテンツをパソコンに保存している最中は、USBケーブルを抜いたり、カメラの電源を切るなど、通信を切断しないようにしてください。

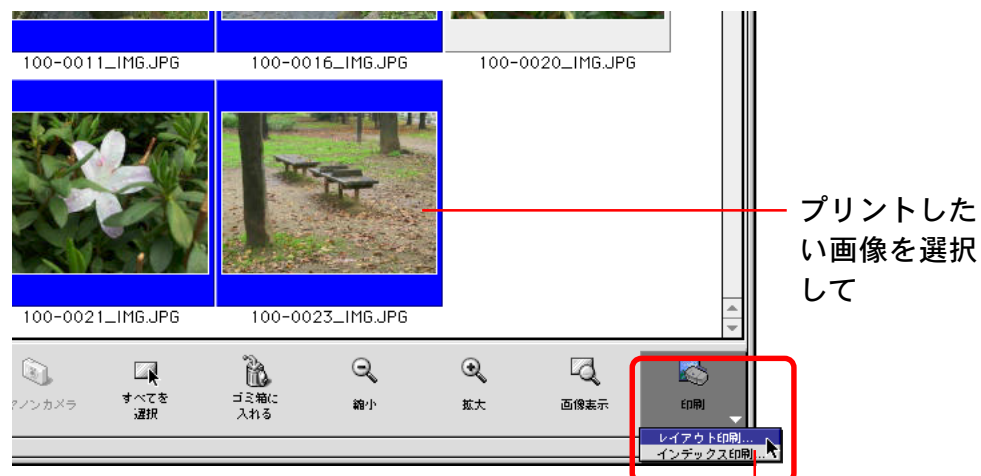
ここでは、プリントの操作を説明します。

プリントの設定ウィンドウを表示する

ブラウザエリアで画像を選択した後、 (印刷) をクリックし、表示されたメニューから [レイアウト印刷] を選択します。レイアウト選択ウィンドウと印刷ウィンドウが開きます。印刷ウィンドウでは、選択した画像が、自動的に並べられます。レイアウト選択ウィンドウでは、レイアウトを選択することができます。

参 考

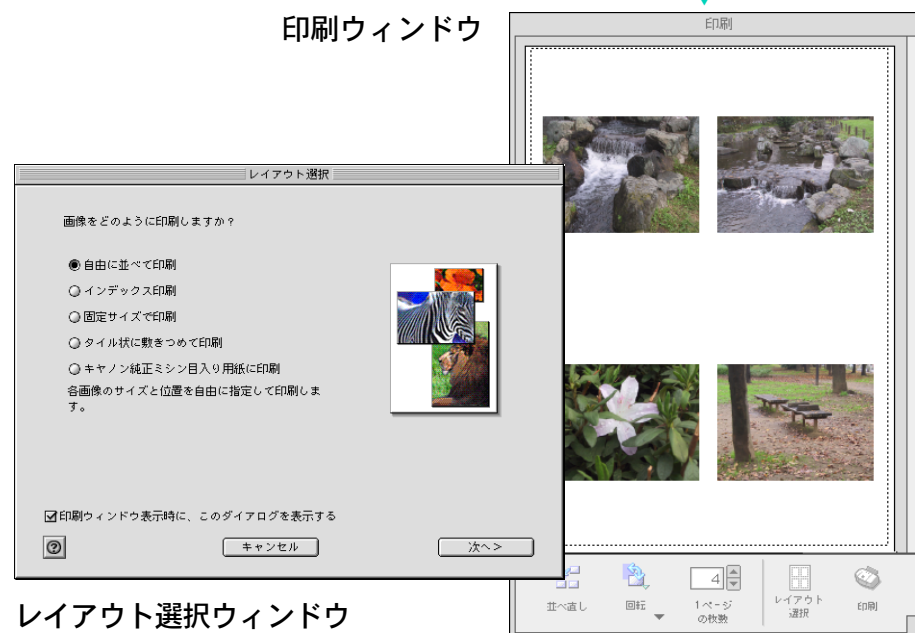
- ・複数の画像を選択するときは [shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら、画像をクリックします。また、フォルダ内の全画像を選択する場合には、 (すべてを選択) ボタンを使うと便利です。
- ・カメラウィンドウの  (印刷) をクリックすることでも、プリントをはじめることができます。
- ・[編集] メニューの [プレファレンス] (Mac OS X の場合は [ImageBrowser] メニューの [環境設定]) の [印刷] で、「撮影日」や「ファイル名」などにチェックマークが付けられている場合には、印刷ウィンドウが開いた時点で、画像の「見出し」としてそれらの情報が画像の下に表示されます。



プリントしたい画像を選択して

これをクリック

印刷ウィンドウ



レイアウト選択ウィンドウ

レイアウトを選択する

レイアウトには次の5種類があります。

■ 自由に並べて印刷

写真の大きさや位置を自由に指定してプリントします。

■ インデックス印刷

縮小画像 (サムネイル) の大きさを大、中、小のサイズから指定して、インデックスプリントをプリントします。

■ 固定サイズで印刷

すべての画像を指定したサイズ (L判や六つ切りなど) にそろえてプリントします。プリント後、カッターナイフなどで切り離すと、写真プリントのように仕上がります。

■ タイル状に敷きつめて印刷

1ページに何枚という指定に合わせて、紙全体にすきまなく画像をレイアウトしてプリントします。

■ キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷

キヤノン純正のミシン目入り用紙に対応したプリンターをお使いの場合は、キヤノン純正のミシン目入り用紙にプリントすることができます。キヤノン純正のミシン目入り用紙はミシン目の入った用紙です。プリント後、ミシン目にそって切り離すことで、簡単に写真プリントのような写真ができあがります。

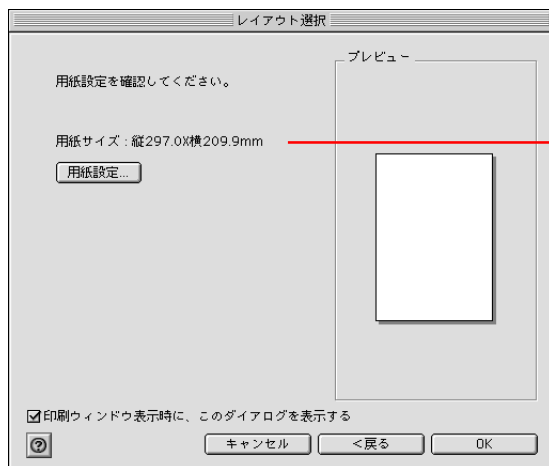
ただし、Mac OS Xの場合、この「キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷」は表示されません。

レイアウトを選択したら、[OK] をクリックします。



レイアウトを選択すると、右のエリアにプリントイメージが表示されます

次に表示されるウィンドウで、さらに細かい設定を行います。

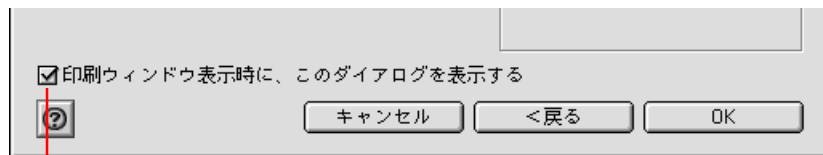


この部分でさらに細かい設定を行います (設定の内容は、選択したレイアウトによって異なります)

設定が終了したら、[OK] をクリックします。レイアウト選択ウィンドウが閉じられ、印刷ウィンドウで、レイアウトの変更やプリントの設定ができるようになります。


参考

- 印刷ウィンドウを表示するときに、レイアウト選択ウィンドウを表示したくないときは、レイアウト選択ウィンドウで「印刷ウィンドウ表示時に、このダイアログを表示する」のチェックマークを外します。



このチェックマークを外します

参考

- レイアウト選択のウィンドウを再度表示するときは、印刷ウィンドウで  (レイアウト選択) をクリックします。



これを
クリック

画像を追加／消去する

ブラウザエリアやカメラウィンドウの画像を、印刷ウィンドウにドラッグアンドドロップすると、プリントする画像を追加することができます。

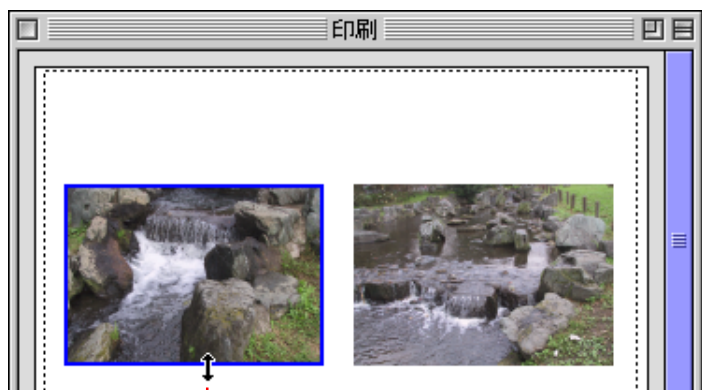
逆に印刷ウィンドウの画像を選択し、[編集]メニューから [クリア] を選択すると、印刷ウィンドウから画像を消去することができます。

画像の位置を動かす / 大きさを変える

「レイアウトの選択」で [自由に並べて印刷] を選択しているときには、次の操作で画像の位置や大きさを変更することができます。



画像をドラッグすることで、画像の位置を動かすことができます



画像の4辺の枠の部分ドラッグすることで、画像の大きさを変えることができます

並べ直す / 回転する / 1 ページの枚数を指定する

「レイアウトの選択」で [自由に並べて印刷] を選択しているときには、次の機能を使うことができます。



画像のサイズをそろえて、まっすぐに並べ直すときにクリックします

1ページに収まる画像の枚数を指定します
この数値を変更すると画像が並べ直されます

画像の向きを変えるときに使います
画像を選択した後、クリックし、メニューから回転方向を選択します

参 考

- ・ [編集] メニューの [画像の回転] サブメニューから回転方向を選択することもできます。

画像の見出しを入力する

画像の見出し（コメントなど）を入力することができます。画像を選択した後、[編集]メニューから[見出しの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。



選択されているレイアウトの種類によって、「見出し」の表示される位置は異なります。

[自由に並べて印刷] の場合



[固定サイズで印刷] の場合



文字を入力する

自由な位置に文字を入力します。

画像が何も選択されていない状態で、[編集]メニューから[テキストの挿入]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。



ページ中央に文字が表示されます。



文字の入った枠のことを「テキストボックス」と呼びます。このテキストボックスに対して、次のような操作ができます。

■ 移動する

テキストボックスをドラッグすることで、表示する位置を動かすことができます。

■ 大きさを変える

テキストボックスの左右の辺をドラッグすることで、テキストボックスの幅を変えることができます。幅に応じて自動的に行数が変わります。

■ 再編集する

テキストボックスを選択し、[編集]メニューから[テキストの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示され、文字を編集することができます。また、テキストボックスをダブルクリックすることでも文字入力のウィンドウが表示されます。

ヘッダを入力する

ページのヘッダ（ページ全体の題名）を入力します。
画像が何も選択されていない状態で、[編集]メニューから[ヘッダの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。





ページの上部にヘッダが表示されます。



画像を複製する


画像を選択した後、[編集]メニューから[画像の複製]を選択すると、[複製]ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、複製する数を指定し [OK] をクリックすると、選択した画像が指定した数だけ複製されます。

画像をトリミングする

「トリミング」は、画像の一部分を切り出す機能です。
画像を選択した後、[編集]メニューから[トリミング]を選択します。画像が表示されたら、ドラッグで切り出す部分の範囲を指定し、（クローズボックス：Mac OS 8.6～9.2の場合）、または （Mac OS Xの場合）をクリックします。



プリントを実行する

印刷ウィンドウの設定が完了したら、 (印刷) をクリックします。




印刷 (またはプリント) のダイアログが表示されたら、プリンタの各種設定を行い、プリントを開始してください。

重要

- ・ 画像の数や大きさによっては、かなりプリントに時間がかかる場合があります。

参考

- ・ ブラウザウインドウの  (印刷) をクリックし、表示されたメニューから [インデックス印刷] を選択すると、インデックス印刷の設定ウィンドウが表示されます。サムネイルの大きさや用紙サイズなどの設定をし [印刷開始] をクリックすると、すぐにインデックス印刷が実行されます。
- ・ [ファイル] メニューの [印刷] サブメニューから [レイアウト印刷] や [インデックス印刷] を選択することでもプリントを開始することができます。

よりきれいにプリントする

ImageBrowser は、Exif 2.2 (愛称「Exif Print」) に対応しています。この機能を利用すると、画像に対して自動で最適な補正がかけられるため、よりきれいなプリントが仕上がります。

この機能を使う場合は、[編集] メニューの [プレファレンス] (Mac OS X の場合は、[ImageBrowser] メニューの [環境設定]) を選択し、[印刷] の [画像補正の設定] で、Exif 2.2 の設定を行います。そして、「画像をプリントする (1 / 8)」からの手順で画像をプリントします。

Exif 2.2 の設定については、付録の「プレファレンス (3 / 3)」の「印刷」をご覧ください。

参考

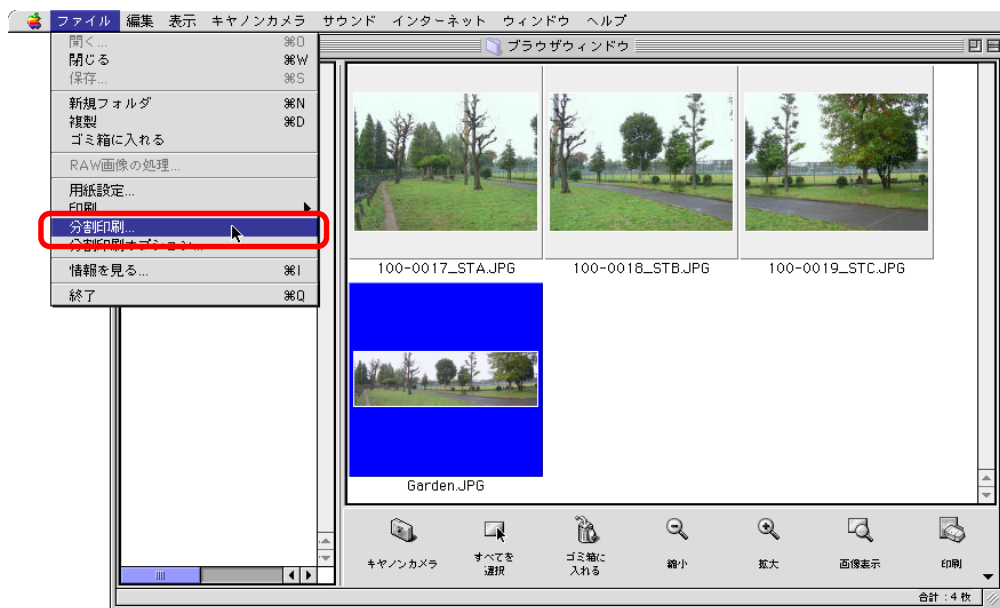
- ・ Exif 2.2 に対応したカメラで撮影した画像には、撮影状況、撮影シーンなど、撮影時の設定情報が埋め込まれています。Exif Print 補正では、これらの情報を使って、撮影時の状況により忠実な画像補正を行います。
- ・ 画像補正の設定は、ImageBrowser からプリントするすべての画像に適用されます。

画像を分割してプリントする

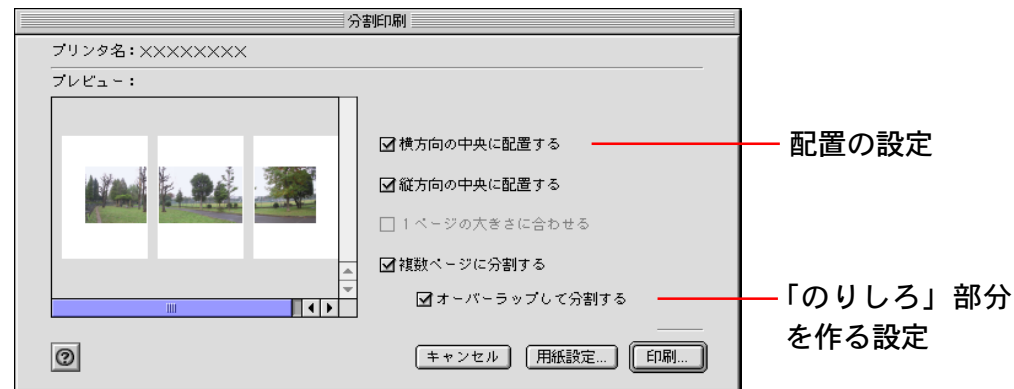
ここでは、「分割印刷」の操作を説明します。
分割印刷は、PhotoStitchなどで作成したパノラマ画像などを、複数のページに分けてプリントする機能です。プリントされた用紙をあとで貼り合わせれば、大きな写真が完成します。

分割印刷を行う

ブラウザエリアでプリントする画像を選択し、[ファイル]メニューから[分割印刷]を選択します。



表示されたウィンドウで設定を行った後、[印刷]をクリックして、プリントを実行します。



配置の設定

「のりしろ」部分を作る設定

プリントする大きさを設定する

[ファイル]メニューから[分割印刷オプション]を選択すると、「印刷解像度」を設定するウィンドウが表示されます。この数値を小さくするほど大きな画像がプリントされます。逆に、この数値を大きくするほど小さな画像がプリントされます。



ここでは、画像を日時順にタイムトンネルのように表示する「TimeTunnel」(タイムトンネル)について説明します。

TimeTunnelで表示する

[表示]メニューの[表示モード]サブメニューから[TimeTunnel]を選択します。ブラウザエリアがTimeTunnelの表示に変わります。TimeTunnelを終了し元の表示に戻すときは、[表示モード]サブメニューから[一覧]を選択します。

TimeTunnelの操作

このTimeTunnelの画面では、次のような操作ができます。

赤色のライン上にある画像の撮影日時が表示されます。ここをダブルクリックすると、下のようなウィンドウが表示され、日時を指定して画像を表示させることができます。

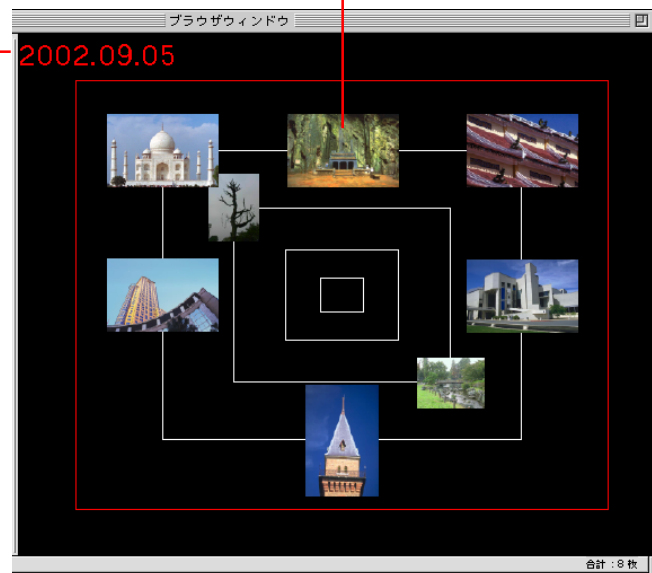


[アイテムを捜して表示する]にチェックマークを付けておくと、指定した日付に画像がなかった場合、一番近い日付の画像を表示します

画像にポインタを合わせて少し待つと、画像の情報が表示されます



画像をダブルクリックすると、その画像がウィンドウで表示されます



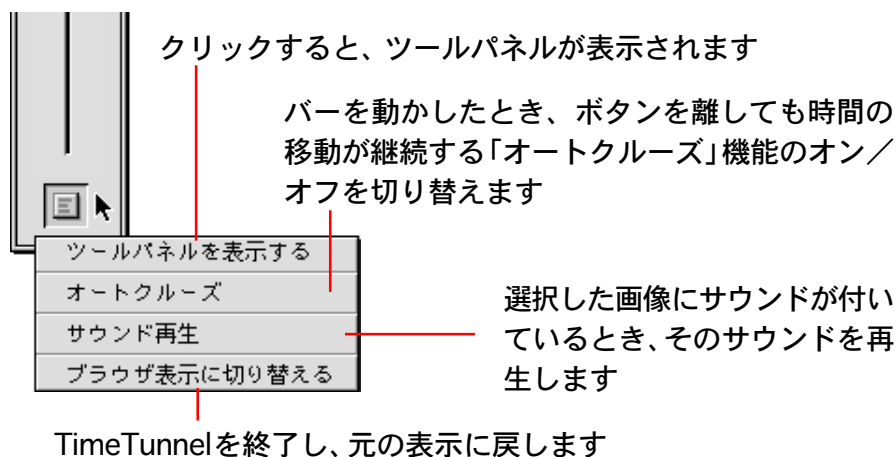
コントロールパネル

このバーを上ドラッグすると、トンネルが過去に進み、下ドラッグすると、現在に戻ります

クリックすると、メニューが表示されます(使い方については次ページで説明します)

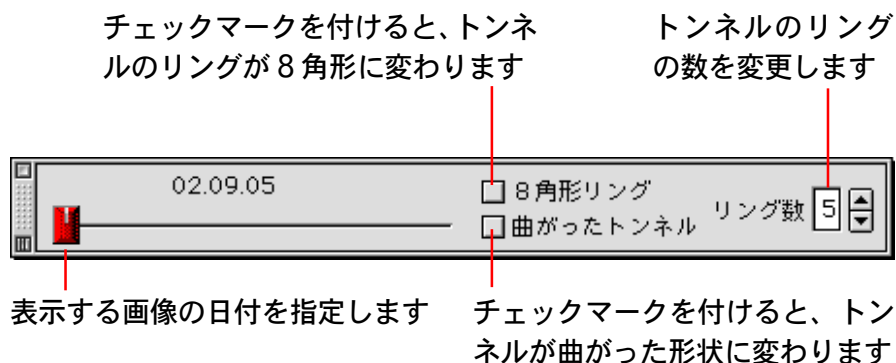
コントロールパネルのメニューの機能

TimeTunnelのコントロールパネルのメニューの機能です。



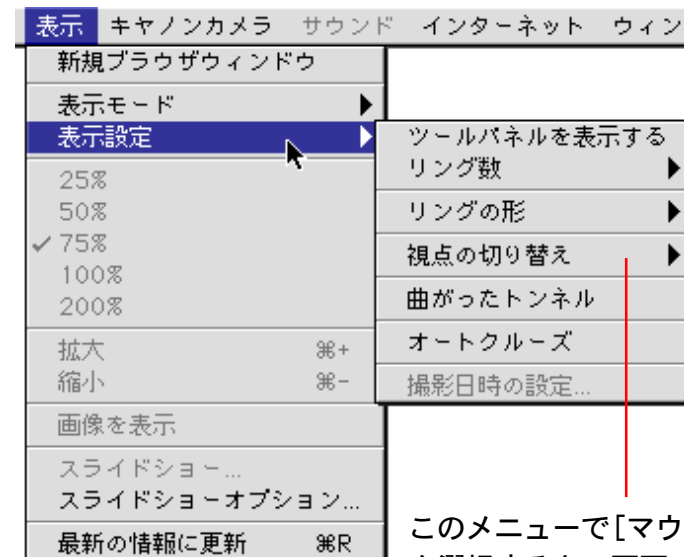
ツールパネルの機能

コントロールパネルのメニューから「ツールパネルを表示する」を選択すると、次のようなツールパネルが表示されます。



メニューから設定する

[表示] メニューの [表示設定] サブメニューから機能を設定することもできます。



このメニューで「マウスクリック位置」を選択すると、画面でクリックした位置が消失点（トンネルの向かう点）となります

パノラマ画像を合成する – PhotoStitch

ここからは、ImageBrowserから呼び出して利用するソフトウェアについて説明していきます。

ここでは、少しずつ方向をずらして撮影した複数枚の画像を合成し、ワイドなパノラマ画像を作成する「PhotoStitch」（フォトスティッチ）を紹介します。

参 考

- ・ PhotoStitchの操作方法の詳細については、PhotoStitchのヘルプ（[ヘルプ]メニューから開きます）をご覧ください。
- ・ 「スティッチアシストモード」の搭載されているカメラをお使いの場合には、より簡単にスティッチ合成用の画像を撮影することができます。

PhotoStitch を呼び出す

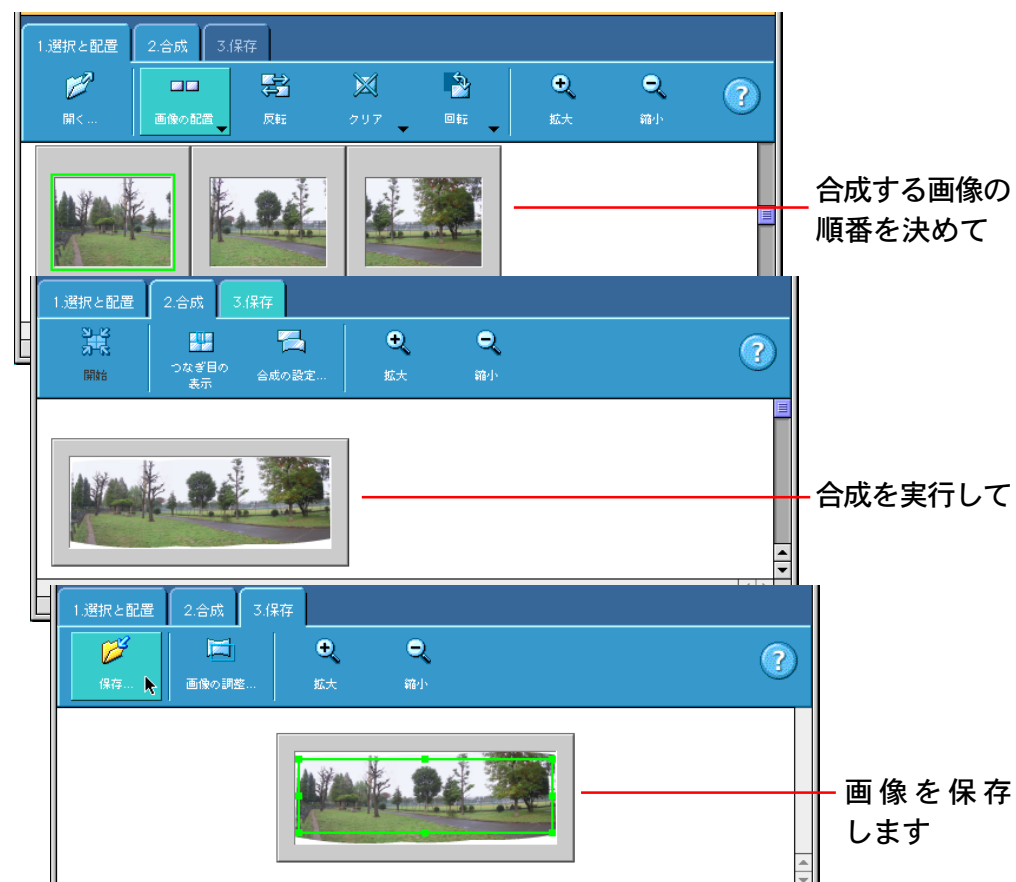
ブラウザエリアで、合成する一連の画像を選択した後、[編集]メニューから [PhotoStitch] を選択します。



参 考

- ・ カメラウィンドウ上で、スティッチアシストモードで撮影した画像を示すマーク（波線）をクリックすることでも、PhotoStitchを起動することができます。

あとは、PhotoStitchのウィンドウの上部に表示されるガイダンスにしたがって操作するだけで、簡単に画像の合成が行えます。



パソコン側から、接続されているカメラのシャッターを操作する「RemoteCapture」（リモートキャプチャー）を紹介します。

重要

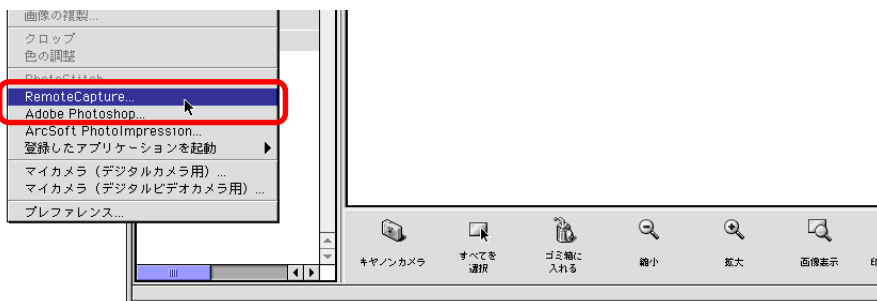
- RemoteCaptureは、カメラとパソコンがUSBケーブルで接続され、カメラが通信可能な状態になっていて、さらにカメラのレンズカバーなどが開かれているときのみご使用いただけます。（ただし、機種によっては対応していない場合があります）
- RemoteCaptureを呼び出すときは、カメラウィンドウを閉じてください。

参考

- RemoteCaptureの操作方法については、RemoteCaptureのヘルプ（[ヘルプ]メニューから開きます）をご覧ください。

RemoteCaptureを呼び出す

カメラとパソコンとの接続、およびカメラが通信可能な状態になっていることを確認した後、[編集]メニューから[RemoteCapture]を選択します。



カメラとの接続のメッセージが表示されたら、[接続]をクリックします。

RemoteCaptureの機能

保存-RemoteCaptureウィンドウ



撮影した画像の一覧が表示されます

画像を大きく表示します

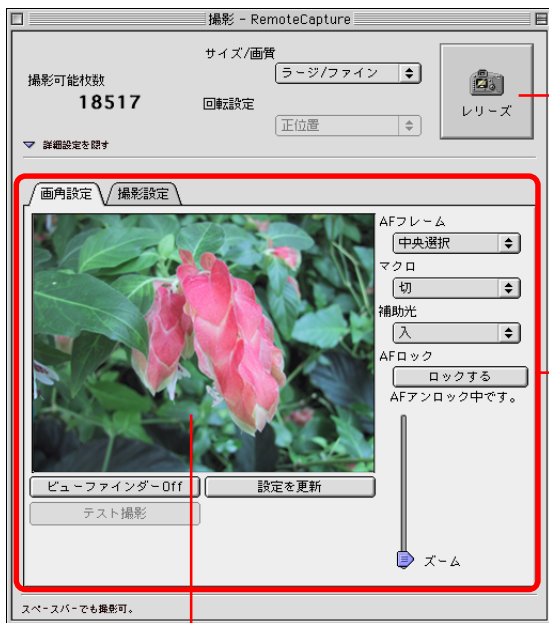
画像の情報が表示されます

画像の一覧で選択されている画像が表示されます

撮影-RemoteCapture ウィンドウ



「詳細設定」の左の三角印をクリックすると、詳細設定の画面が表示されます



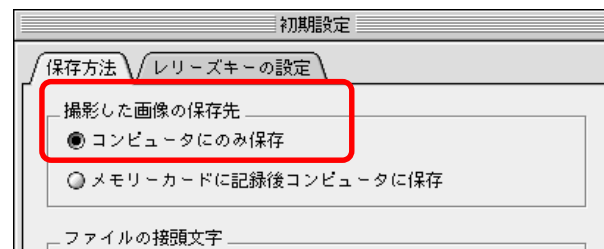
シャッターを切ります (撮影した画像は自動的にパソコン内に保存されます)

さらに細かくカメラのセッティングを変更することができます (一部の機種は除きます)

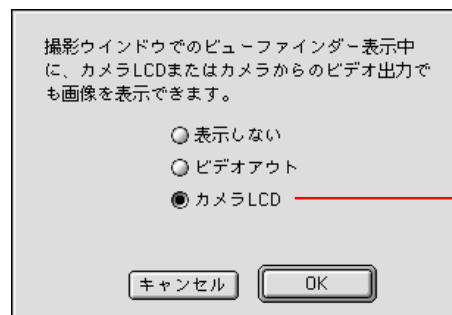
[ビューファインダー On] をクリックすると、カメラのファインダーに写る被写体が表示されます (一部の機種は除きます)

参考

・ [ファイル] メニューの [初期設定] (Mac OS X の場合は [RemoteCapture] メニューの [環境設定]) で、画像をカメラ内に残すかどうか選択できます。



・ [ファイル] メニューの [カメラ表示設定] で、カメラのファインダーに写る被写体をカメラの液晶モニターに表示するかどうか選択できます。(お使いのカメラによっては、この操作ができない場合があります)



[カメラLCD] を選択すると、[ビューファインダー On] のときに、カメラのファインダーに写る被写体が液晶モニターにも表示されます

お使いのカメラが、RAW形式に対応している場合には、より高画質な状態の画像を扱うことができます。

ただし、RAW形式のファイルは、そのままでは一般的なソフトウェアで開くことができないため、「現像」という処理が必要になります。

ここでは、現像の方法について説明します。

現像は、File Viewer Utility (ファイルビューアーユーティリティ) というソフトウェアを呼び出して行います。

重要

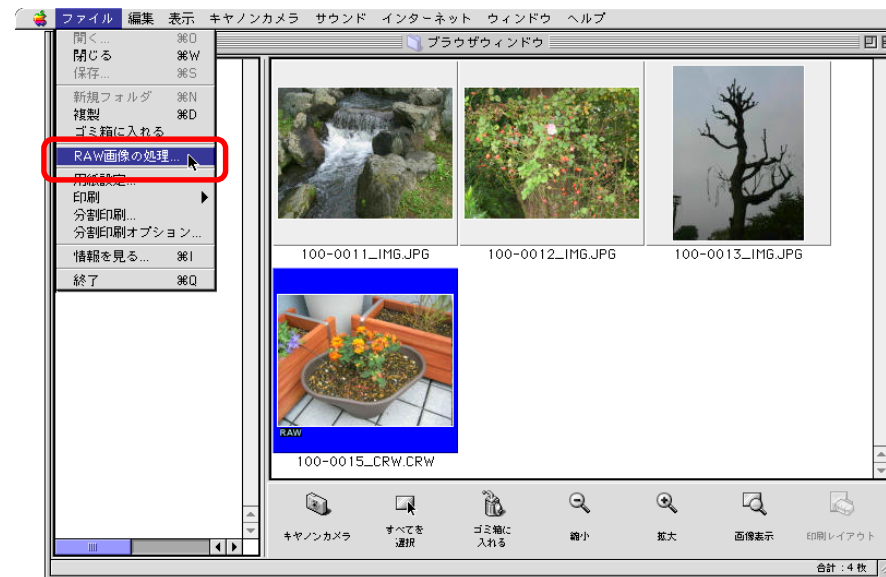
- File Viewer Utility は、Mac OS 8.6 ~ 9.2 対応のソフトウェアです。Mac OS X の Classic 環境でも使用できます。ただし、Mac OS X でインストールを実行した場合には、File Viewer Utility がインストールされません。あらかじめ [起動ディスク] コントロールパネルを使って、Mac OS 9 で再起動し、File Viewer Utility のインストールをしておいてください。

参考

- RAW形式のファイルは、圧縮処理による画像の劣化がまったくないため非常に高画質です。
- File Viewer Utility の操作方法については、ヘルプ ([ヘルプ] をクリックして開きます) をご覧ください。

File Viewer Utility を呼び出す

ブラウザエリアで、RAW 画像を選択した後、[ファイル] メニューから [RAW 画像の処理] を選択します。



File Viewer Utility の機能

【環境設定ボタン】

画像を転送するアプリケーションやRAW画像の処理方法などが設定できます

【ファイル保存ボタン】

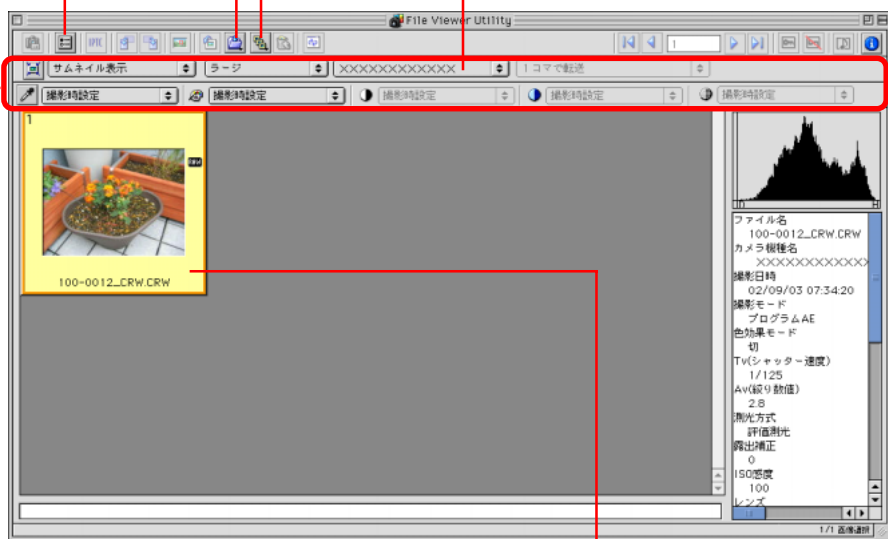
現像を実行し、画像を保存します

【選択ボタン】

画像選択方法を選択できます

【機種依存処理モードリストボックス】

撮影したカメラの機種を選択します



RAW 画像を現像するときの条件を設定します。
RAW 画像を選択し、「機種依存処理モードリストボックス」で機種を選択すると表示されます

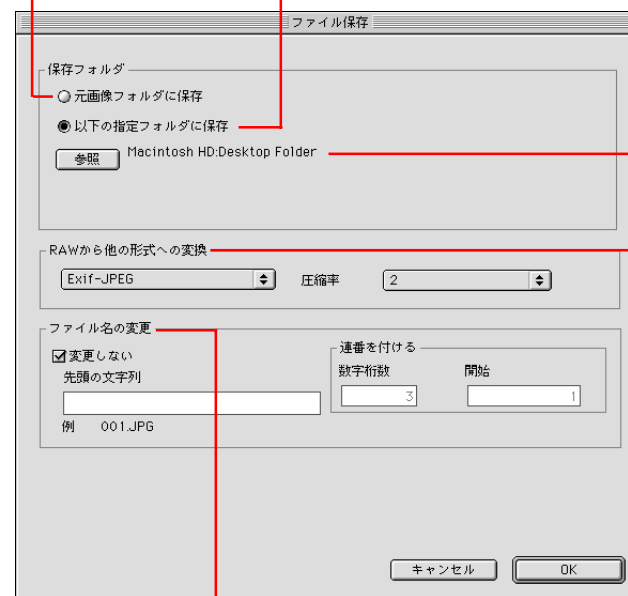
現像する RAW 画像の一覧

[ファイル] メニューの [ファイル保存] から [変換・ファイル保存] を選択すると、ファイル保存のウィンドウが表示されます。このウィンドウで各種設定をし [OK] をクリックすると、現像が実行されます。

元の画像があるフォルダに現像後の画像を保存する場合に選択します

[以下の指定フォルダに保存] を選択した場合は、[参照] をクリックして保存先を指定します

保存先を指定する場合に選択します



現像後のファイル形式や圧縮率を指定します

ファイル名を変更する場合は、[変更しない] のチェックマークを外し、先頭の文字列や連番の指定をします

この章では、インターネットに接続して、オンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」を活用する方法を説明します。

参 考

- ・「Canon Image Gateway」は、本製品を購入された方に提供するオンラインサービスです。
- ・はじめてサービスを利用するときには、会員登録が必要です。(製品に同梱されているキヤノン製CD-ROMのインストーラーパネル、または、ImageBrowserのメニューから会員登録を行います)
- ・各サービスの詳しい操作説明については、「Canon Image Gateway」のヘルプをご覧ください。

Canon Image Gateway に接続してできること

■ オンラインアルバムサービスの利用

- ・画像を「Canon Image Gateway」にアップロードして、インターネット上にオリジナルアルバムを作成することができます。
- ・ImageBrowser上で画像に付けたコメントや音声も同時にアップロードできるので、文字や音を使ったアイデアいっぱいのアルバムが作成できます。
- ・多彩なレイアウト機能を使って、アップロードした画像を編集し、自分だけのオリジナルアルバムを楽しめます。
- ・アルバムは、知人(お友達やご家族)にも公開することができます。公開の際には、アルバムを見てもらいたい方々に、お知らせのメールを出すことができます。

■ 携帯電話の利用

- ・携帯電話(カラー表示が可能な機種)からアルバムを見ることができます。
- ・パソコンのブラウザでアルバムを閲覧する場合も、携帯電話でアルバムを閲覧する場合も、URLは変わりません。携帯電話でアルバムを表示するときには、お使いの携帯電話に合わせて、自動的に画像の大きさや色数が調整されます。
- ・アルバム公開のお知らせメールは、携帯電話に送信することもできます。URLが共通ですので、お知らせメールの送信時に、相手のメールアドレスが、パソコンのメールアドレスなのか、携帯電話のメールアドレスなのか、一切気にする必要はありません。

■ オンラインプリントサービスの利用 (有料)

- ・ オンラインでアルバムの画像を指定して、オンラインプリントサービスに、高画質なプリントを注文することができます。
- ・ アルバムを見たお友達やご家族も、プリントを注文することができます。
- ・ プリントサイズは、L判、2L判、DP判から選択できます。

■ オリジナル写真集作成サービスの利用 (有料)

- ・ オンラインでアルバムの画像を指定して、オリジナル写真集を注文することができます。
- ・ アルバムを見たお友達やご家族も、オリジナル写真集を注文することができます。
- ・ サイズは、通常サイズ (188 x 188 mm) とミニサイズ (76 x 76 mm) の2種類から選択できます。

■ マイカメラコンテンツのダウンロード

※ マイカメラ機能に対応した機種をご使用の場合にのみ、ご利用いただけます。

- ・ 「Canon Image Gateway」には、カメラの起動画面や起動音、操作音、シャッター音、セルフタイマー音 (これらを「マイカメラコンテンツ」といいます) や、それらを組み合わせた「セット」が用意されています。
これらの中から好きなコンテンツをダウンロードして、ご使用のパソコンに保存することができます。(コンテンツは随時更新されますので、時々確認してみてください。新しいコンテンツを入手することができます)
- ・ ダウンロードしたコンテンツはカメラに登録することができ、自分だけのオリジナルカメラを楽しむことができます。(マイカメラ機能に対応した機種のみ)

■ Canon Image Gateway を利用するには

画像のアップロード、マイカメラコンテンツのダウンロード、「Canon Image Gateway」への会員登録にはImageBrowserを使います。(会員登録は、製品に同梱されているキヤノン製CD-ROMのインストーラーパネルからも行えます)

詳しい操作については、次のページから説明していきます。

会員登録をする (1 / 2)

インターネットに接続して「Canon Image Gateway」を使う上で、まず行わなければならないこと、それは「会員登録」です。

重要

- ・ここでは、プロバイダとの契約や各種回線接続が完了済みで、インターネットへ接続するためのソフトウェアやインターネット上のホームページを見るためのソフトウェア（Microsoft Internet ExplorerやNetscape Communicatorなど）があらかじめインストールされていることを前提に説明を進めていきます。
- ・会員登録は無料ですが、プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金が別途必要です。

ImageBrowserを使って登録する

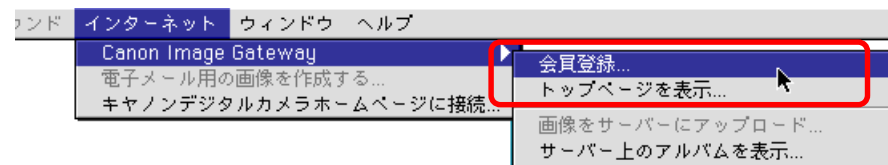
ImageBrowserのメニューから、会員登録をします。

- 1 カメラを用意し、本体の底面などにあるシリアル番号を確認します。

重要

- ・会員登録にはカメラのシリアル番号が必要です。

- 2 [インターネット] メニューの [Canon Image Gateway] のサブメニューから [会員登録] を選択します。



インターネットへの接続が開始されます。
お使いのインターネット接続環境によっては、接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いのWebブラウザが起動し、Canon Image Gatewayのトップページが表示されます。

3 [会員登録] ボタンをクリックします。



会員登録のページが表示されます。

参 考

- ・ Canon Image Gatewayの画面は随時更新されます。そのため、この画面例とは異なる場合があります。

4 表示されるメッセージにしたがって、必要事項を入力します。

入力の前には、必ず利用規約を確認してください。

重 要

- ・ 氏名やメールアドレスは間違えないように、正しく入力してください。特に、メールアドレスを間違えると、登録完了の電子メールを受け取ることができません。必ず、受け取ることができるメールアドレスを、半角で正しく入力してください。
- ・ ここで入力したメールアドレスが、ログイン名になります。
- ・ シリアル番号の項目には、カメラの底面などにあるシリアル番号を入力します。

会員登録が終了したら、必要に応じて、Webブラウザを終了したり、インターネットの接続を切断してください。

重 要

- ・ 会員登録の手続きが完了すると、電子メールで、パスワードが送られてきます。ログイン名は、手順4で入力したメールアドレスになります。
- ・ パスワードは「Canon Image Gateway」を利用するときに使いますので、なくさないようにしてください。また、パスワードは大切なものです。他人の目にふれないようにしっかり管理してください。
- ・ パスワードは、「Canon Image Gateway」のトップページで変更できます。安全のため、受け取ったパスワードを早めに変更することをおすすめします。

参 考

- ・ この操作で起動するWebブラウザは、Mac OS 8.6～9.2の場合、[編集]メニューの[プレファレンス]の[WWWブラウザ]で変更できます。Mac OS Xの場合は、システム環境設定の[インターネット]の[Web]タブで変更できます。
- ・ 製品に同梱されているキヤノン製CD-ROMを使って、会員登録をすることもできます。この場合は、インストーラーパネルの[Canon Image Gatewayへの会員登録]をクリックします。

ImageBrowserで保管している画像を、「Canon Image Gateway」へアップロードする方法を説明します。

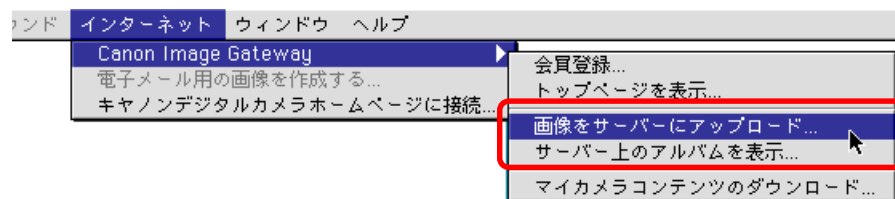
重要

- ・画像をアップロードするには、あらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。
- ・アップロードできるのは、JPEG形式の画像だけです。JPEG形式以外の画像や、動画などはアップロードできません。

画像をアップロードする

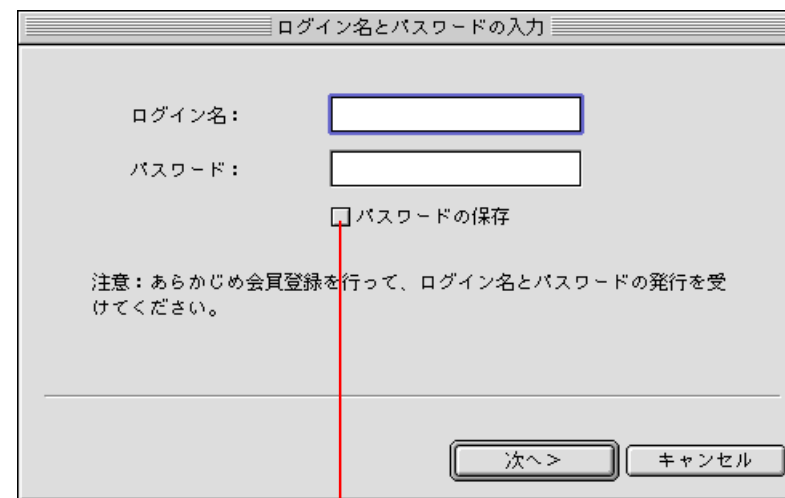
1 ブラウザエリアで送信したい画像を選択します。
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを使って複数の画像を選択することもできます。

2 [インターネット] メニューの [Canon Image Gateway] のサブメニューから [画像をサーバーにアップロード] を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

3 ログイン名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



入力したパスワードをパソコンに覚えさせておきたいときにチェックマークを入れます（毎回パスワードを入れなくて済むので便利です）

参考

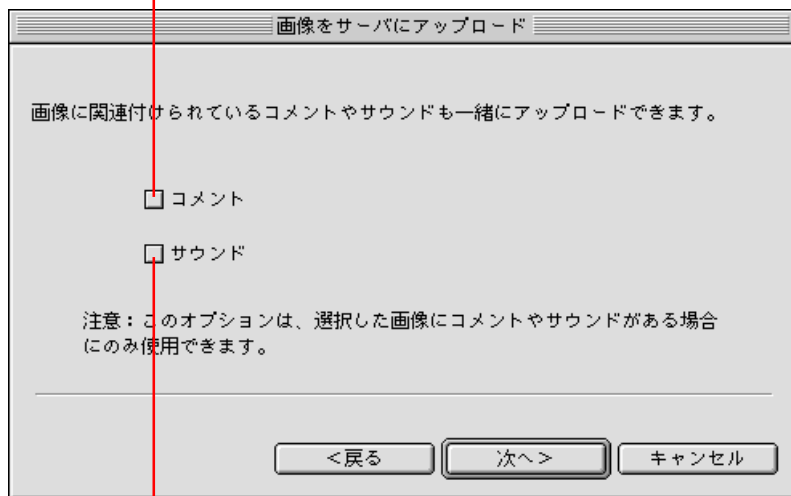
- ・ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ログイン名やパスワードを入力するときは、大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

4 画像に加えられているコメントや音を、画像と一緒に送信する場合は、チェックマークを付けます。

コメントを送信するときに
チェックマークを付けます



音を送信するときにチェック
マークを付けます

参 考

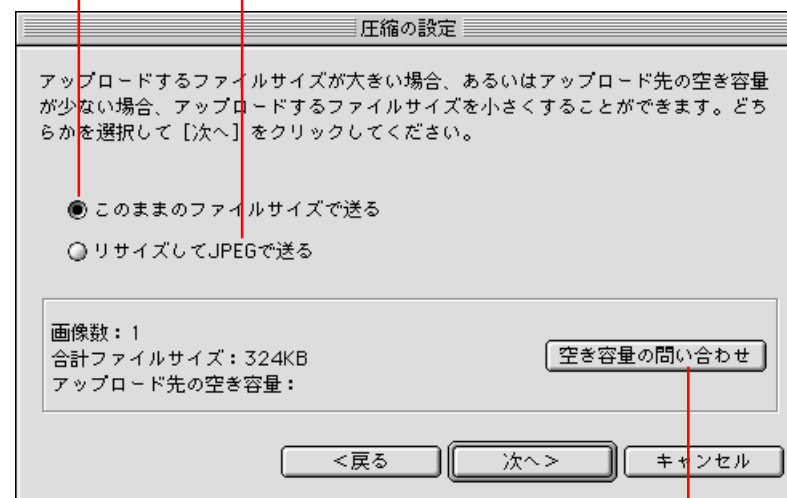
- ・ 画像にコメントや音が付いていないときは、選択できません。

5 [次へ] をクリックします。 [圧縮の設定] ウィンドウが表示されます。

6 送信の方法を選びます。

プリントするために、画質を保持したい
場合などにはこちらを選びます

アップロード時間を短くしたり、大量の画像を
保存する場合などは、こちらを選びます



アップロード先の空き容量を確認
するときにクリックします

参 考

- ・ アップロードできる容量には制限があります。[空き容量の問い合わせ] をクリックすると、インターネットへの接続が開始され、空き容量を確認することができます。

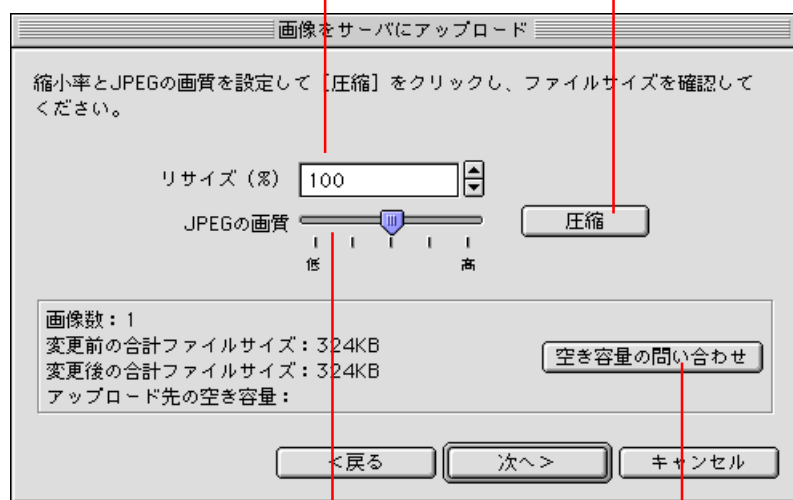
画像をアップロードする (3 / 4)

7 [次へ] をクリックします。
画質を指定するウィンドウが表示されます。ただし、手順6で
[このままのファイルサイズで送る] を選択した場合は、手順9
に進んでください。

8 縮小率と画質を設定します。

実際に圧縮したときのファイルサイズを確認するときに使います
(ファイルサイズは「変更後の合計ファイルサイズ」に表示されます)

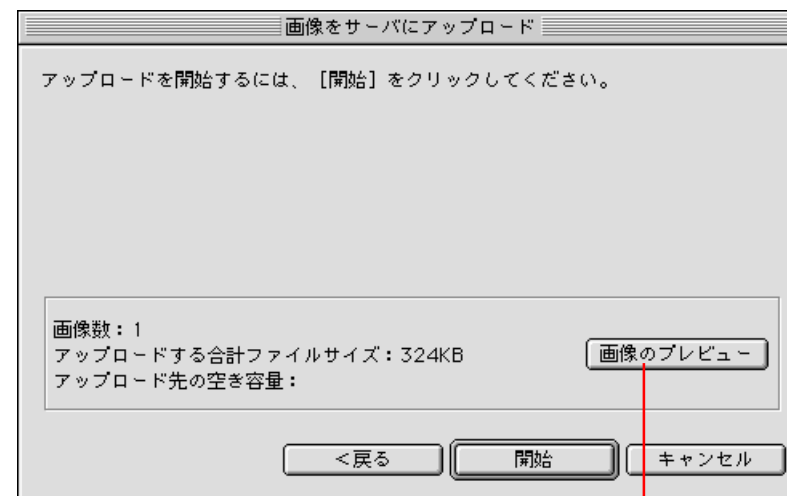
元の画像に対する縮小率を設定します
(50%で縦横とも半分の大きさとなります)



画質を設定します
(低くするほど画像は荒れますが、
ファイルサイズは小さくなります)

アップロード先の空き容
量を確認するときにク
リックします

9 [次へ] をクリックします。



実際に圧縮したときの画質を確認するときに使います
(プレビュー画像が表示されます)

10 [開始] をクリックします。
インターネットへの接続が開始されます。
お使いのインターネット接続環境によっては、接続のためのダイ
アログが表示されることがあります。その場合は、メッセージに
したがって、接続を行います。

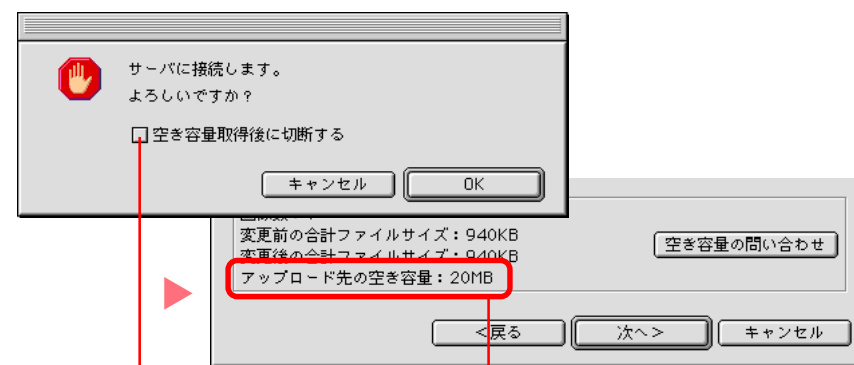
接続が完了すると、画像が「Canon Image Gateway」へ送信さ
れます。

送信が終了すると、お使いのWebブラウザが起動し、画像の保存先のアルバムを選択する画面が表示されます。メッセージにしたがって、あなたのアルバムを作成してください。

操作を終了するときは、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参 考

- ・カメラ側で送信設定された画像を、自動で ImageBrowser に取り込み、すぐに「Canon Image Gateway」へアップロードすることもできます。詳しい操作については、付録の「ImageBrowser 起動時の自動実行機能」で説明しています。
- ・手順6または手順8の[空き容量の問い合わせ]をクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。[OK]をクリックすると、インターネットへの接続が開始されます。アップロード先の空き容量は、元のウィンドウに表示されます。
- ・空き容量の確認後、すぐにインターネットの接続を切断する場合は、[空き容量取得後に切断する]にチェックマークを付けます。



空き容量の確認後、すぐにインターネットの接続を切断するときにチェックマークを付けます

空き容量が表示されます

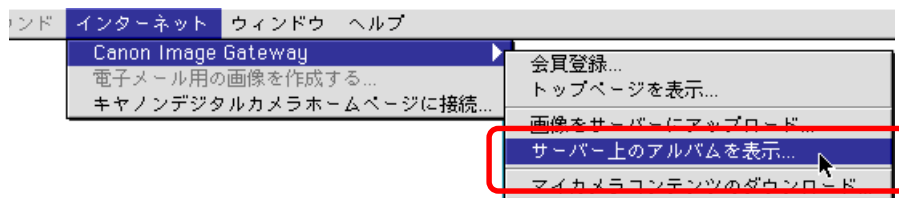
「Canon Image Gateway」に画像をアップロードしたら、あなたのアルバムを表示して編集してみましょう。

重要

- ・アルバムを表示するには、あらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。

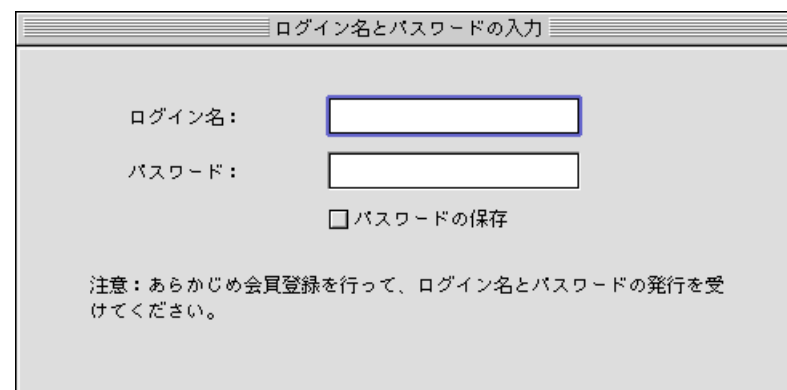
アルバムを表示する

- 1 [インターネット]メニューの[Canon Image Gateway]のサブメニューから[サーバー上のアルバムを表示]を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 ログイン名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



参考

- ・ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ログイン名やパスワードを入力するときは、大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

インターネットへの接続が開始されます。

お使いのインターネット接続環境によっては、接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いのWebブラウザが起動し、あなたのアルバムが表示されます。

操作を終了するときは、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参 考

- ・アルバムを表示するのと同じような操作で、「Canon Image Gateway」の会員のトップページを表示することもできます。表示するときは、[インターネット] メニューの [Canon Image Gateway] のサブメニューから [トップページを表示] を選択します。

アルバムについて

アップロードした画像は、次のように活用することができます。詳しい操作については、「Canon Image Gateway」のヘルプをご覧ください。

- ・アップロードした画像を編集して、オリジナルアルバムを作成することができます。
- ・自分だけでなく、お友達やご家族にも公開することができます。
- ・アルバムの画像を指定して、オンラインプリントサービスに注文することができます。(有料)
- ・オンラインでアルバムの画像を指定して、オリジナル写真集を注文することができます。(有料)

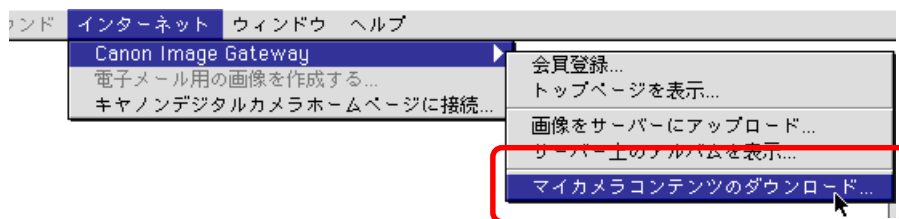
「Canon Image Gateway」には、マイカメラコンテンツに利用する起動画面や起動音、シャッター音や、それらを組み合わせたセットのファイルが用意されています。ここでは、そのファイルをImageBrowserにダウンロードする方法を説明します。

重要

- ・ 画像や音声ファイルをダウンロードするには、あらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。

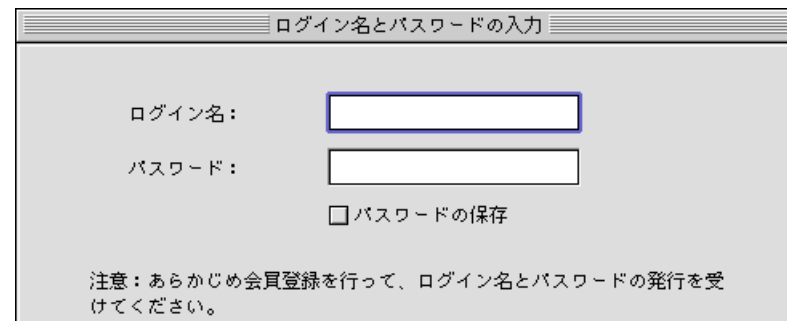
ファイルをダウンロードする

- 1 [インターネット]メニューの[Canon Image Gateway]のサブメニューから[マイカメラコンテンツのダウンロード]を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 ログイン名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



参考

- ・ ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・ パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ ログイン名やパスワードを入力するときは、大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

インターネットへの接続が開始されます。

お使いのインターネット接続環境によっては、接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いのWebブラウザが起動し、マイカメラコンテンツのダウンロードページが表示されます。

3 表示されるメッセージにしたがって、ダウンロードしたい画像や音声ファイル、セットを選択します。

4 ページ上にある[ダウンロード]というボタンをクリックします。
ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了すると、自動的にマイカメラウィンドウが表示されます。ダウンロードされたファイルはコンテンツとして、「コンピュータ」の一覧に表示されます。



ダウンロードしたファイルが
ここに表示されます

操作を終了するときは、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参考

- ・ダウンロードしたファイルはコンテンツとして、カメラに登録することができます。(マイカメラ機能に対応した機種のみ)カメラへの登録については、第6章の「カメラにマイカメラコンテンツを登録する」で説明しています。

対応しているファイル形式

ImageBrowserの対応しているファイル形式です。

読み込み可能なファイル形式

ImageBrowserでは、次の形式のファイルを読み込むことができます。

■ JPEG 形式

ほとんどのカメラで利用されているファイル形式です。人間の眼の特性を利用して高い圧縮率を実現しています。ただし、圧縮は「不可逆圧縮」（圧縮時にデータの一部を失う圧縮方法）ですので、何回も加工と保存をくり返すと、少し画像が荒れる場合があります。

なお、「Exif JPEG 形式」は、この JPEG 形式の画像ファイルに、撮影データなどの情報を付加したものです。

■ RAW 形式

デジタルカメラの撮像素子の出力を、劣化させることなく記録したキヤノン独自のファイル形式です。カメラによって、この形式で記録できるものと、できないものがあります。

■ PICT 形式

Macintosh標準のファイル形式です。Macintosh上で動作するほとんどのソフトウェアが対応しています。

■ TIFF 形式

比較的汎用性の高いファイル形式です。Macintosh以外のパソコン（Windowsなど）用ソフトウェアでも多くが対応しています。

■ BMP 形式（Windows ビットマップ形式）

Windows標準のファイル形式です。Windows上で動作するほとんどのソフトウェアが対応しています。

■ QuickTime 形式

動画のファイル形式です。ブラウザエリアでは、ビデオカメラのマークが表示されます。アイコンまたは縮小画像（サムネイル）をダブルクリックすると、QuickTime Player が起動し、動画の再生が行われます。


ImageBrowserの自動起動を解除する

カメラをパソコンに接続したとき、自動的にImageBrowserが起動しないようにする方法です。

重要

- ・ Mac OS Xをお使いの場合、この機能は使用できません。

自動起動を解除する

 (アップルメニュー)の[コントロールパネル]サブメニューから、[Canon ImageBrowser Auto Launch]を選択します。表示されたウィンドウで、[カメラ接続時に以下のアプリケーションを起動する]のチェックマークを外します。

このチェック
マークを外し
ます



設定が終わったら、クローズボックスをクリックしてウィンドウを閉じます。

参考

- ・ カメラをパソコンに接続し、通信可能な状態にしたとき、ImageBrowserのかわりに、他のソフトウェアを自動起動するように設定することができます。「アプリケーション」の右側のポップアップメニューから、自動起動したいソフトウェアを選択してください。ただし、カメラに対応するソフトウェアがインストールされていない場合には、ImageBrowser以外に何もソフトウェアが表示されない場合もあります。

ImageBrowser 起動時の自動実行機能 (1 / 4)

ImageBrowserが自動起動したときに、続けて行いたい自動処理を設定することができます。

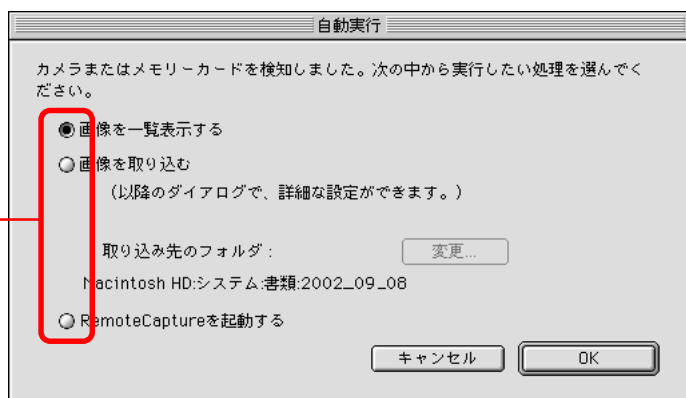
重要

- ・ 自動処理を設定する前に、カメラがパソコンと通信できる状態になっているか確認してください。
- ・ Mac OS Xをお使いの場合、この機能は使用できません。

ImageBrowser 起動時の動作を使いやすいように設定する

起動時の動作は、次のようなウィンドウで設定します。

設定したい処理を選びます



参考

- ・ メモリーカードリーダーをお使いの場合には、上記のウィンドウが表示されません。自動処理を設定する場合は、カメラをパソコンに接続して、上記のウィンドウを表示してください。

■ 画像を一覧表示する

ImageBrowserが起動した後、カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像がウィンドウに表示されます。

■ 画像を取り込む

ImageBrowserが起動した後、カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像が自動でImageBrowserに取り込まれます。
(この処理を選択した場合は、さらに詳細な設定を行います。詳しい操作については、次ページで説明します。)

■ RemoteCapture を起動する

ImageBrowserが起動した後、RemoteCaptureが起動します。

設定ウィンドウを表示する方法

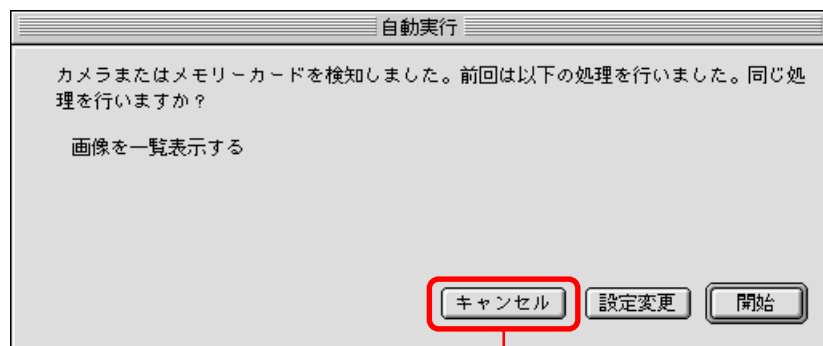
自動処理を設定するウィンドウは、次の操作で表示することができます。

■ はじめて ImageBrowser を起動したとき

自動的に設定ウィンドウが表示されます。

■ 2 回目以降に ImageBrowser を起動したとき

表示された次のようなウィンドウで、[設定変更] をクリックします。

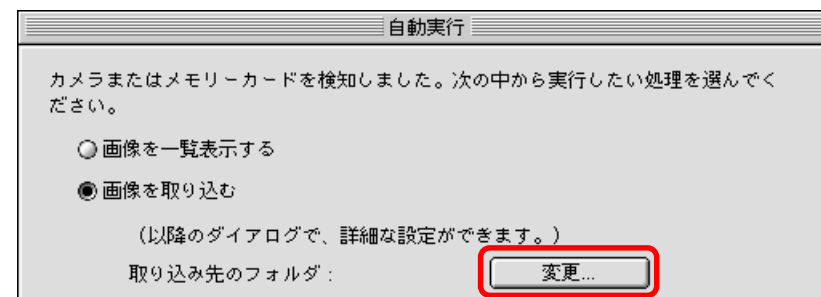


ここをクリック

[画像を取り込む] を選択したとき

画像の取り込み先となるフォルダや取り込む画像の種類、取り込んだ画像をどのように処理するかなどを設定します。

1 [変更] をクリックします。

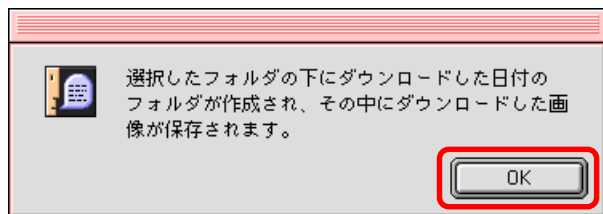


次のようなウィンドウが表示されます。

2 画像を取り込むフォルダを選択します。
ドライブやフォルダはダブルクリックすることで開きます。

ImageBrowser 起動時の自動実行機能 (3 / 4)

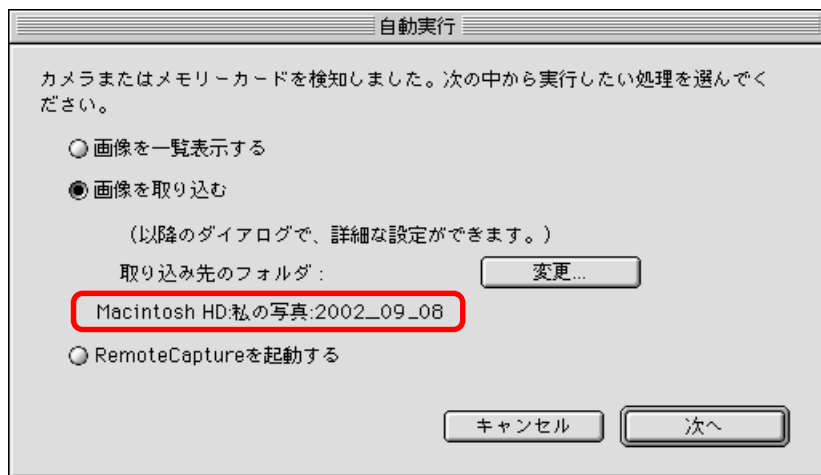
3 次のようなウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックします。



参考

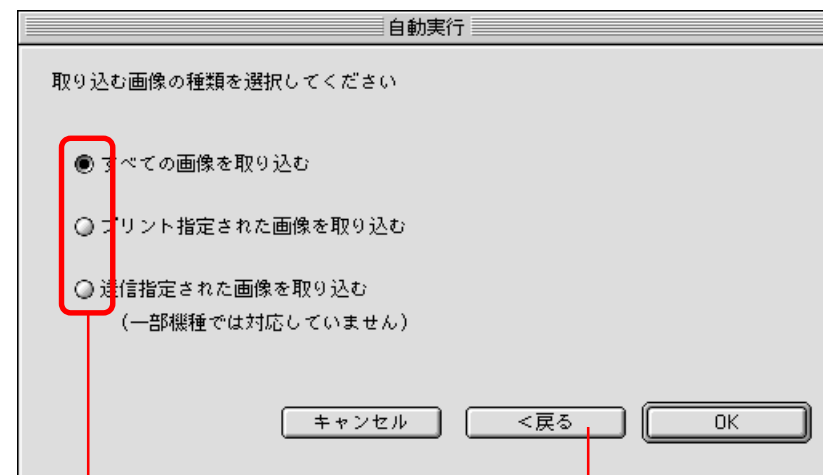
- ・手順2で選択したフォルダの下に今日の日付のフォルダが自動的に作成されます。このフォルダの中に画像が取り込まれます。

選択したフォルダがもとのウィンドウに表示されます。



4 [次へ] をクリックします。

5 取り込みたい画像の種類を選択します。



取り込む画像の種類をクリック

前のウィンドウに戻るときをクリック

■ すべての画像を取り込む

カメラ内の画像をすべて取り込みます。

■ プリント指定された画像を取り込む

プリント指定がされている画像だけを取り込みます。

■ 送信指定された画像を取り込む

送信指定がされている画像だけを取り込みます。

参 考

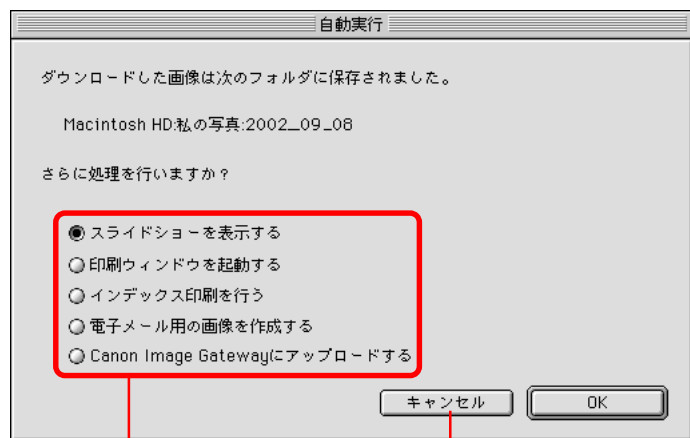
- ・プリント指定は、メモリーカードにプリントする画像やプリント枚数などのプリント情報を記録する操作です。
- ・送信指定の操作は、カメラ側で行います。(一部の機種では対応していません)
- ・プリント指定や送信指定についての詳細は、カメラの説明書をご覧ください。

6 [OK] をクリックします。

カメラウィンドウが表示され、カメラ内の画像がImageBrowserに取り込まれます。

取り込みが完了すると、取り込んだ画像の処理方法を選択するウィンドウが表示されます。

7 処理を選択します。



取り込んだ画像の処理をクリック

何も処理をしないときにクリック

■ スライドショーを表示する

取り込んだ画像を使って、スライドショーが始まります。

■ 印刷ウィンドウを起動する

レイアウト印刷を行うウィンドウが表示されます。

■ インデックス印刷を行う

インデックス印刷を行うウィンドウが表示されます。

■ 電子メール用の画像を作成する

電子メール用の画像を作成するウィンドウが表示されます。

■ Canon Image Gatewayにアップロードする

オンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」に画像をアップロードするためのウィンドウが表示されます。

8 [OK] をクリックします。

選択した処理が実行されます。

重 要

- ・「Canon Image Gateway」はインターネット上にあるオンラインフォトサービスです。「Canon Image Gatewayにアップロードする」を選択する前に、あらかじめパソコンがインターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- ・「Canon Image Gateway」については、第7章で詳しく説明しています。

プレファレンスの設定 (1 / 3)

「プレファレンス」(Mac OS Xでは「環境設定」)を変更することで、ImageBrowserのさまざまな動作を「あなたが使いやすい」ように設定することができます。ここでは、プレファレンスの設定方法を説明します。

プレファレンスの画面を開く

次の操作で、プレファレンス(環境設定)の画面を表示します。

■ Mac OS 8.6 ~ 9.2 の場合

[編集]メニューから[プレファレンス]を選択すると、プレファレンスの画面が表示されます。この画面で、任意のウィンドウを切り替えて設定項目を変更します。

■ Mac OS X の場合

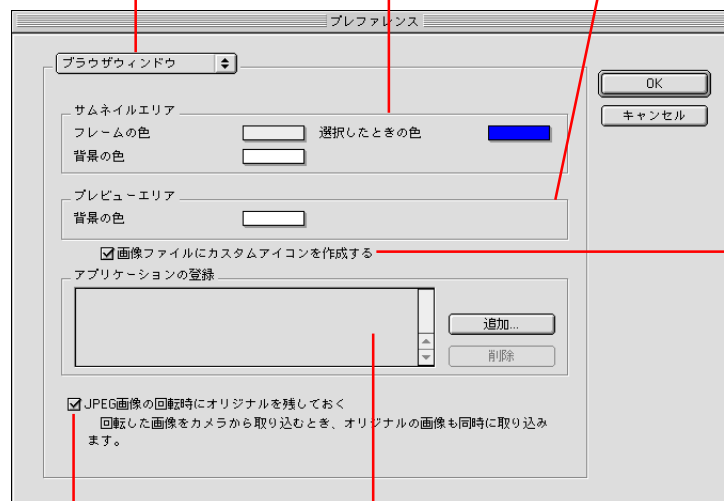
[ImageBrowser]メニューから[環境設定]を選択すると、プレファレンスの画面が表示されます。この画面で、任意のウィンドウを切り替えて設定項目を変更します。

【ブラウザウィンドウ】

ここでウィンドウを切り替えます

ブラウザエリアの各部分の色を設定します

プレビュー表示の背景の色を設定します



チェックマークが付いている場合、ImageBrowserで画像を表示すると、自動的に画像ファイルに、画像を縮小したアイコンが付けられます

[編集]メニューの[登録したアプリケーションを起動]のサブメニューに表示されるソフトウェアを指定します
右の[追加]ボタンでソフトウェアを追加します

ブラウザウィンドウでJPEG画像を回転したとき、オリジナルの画像を残しておきたい場合にチェックマークを付けます
また、カメラウィンドウで回転した画像をブラウザウィンドウに取り込んだときは、オリジナルの画像と回転した画像の両方を取り込みます

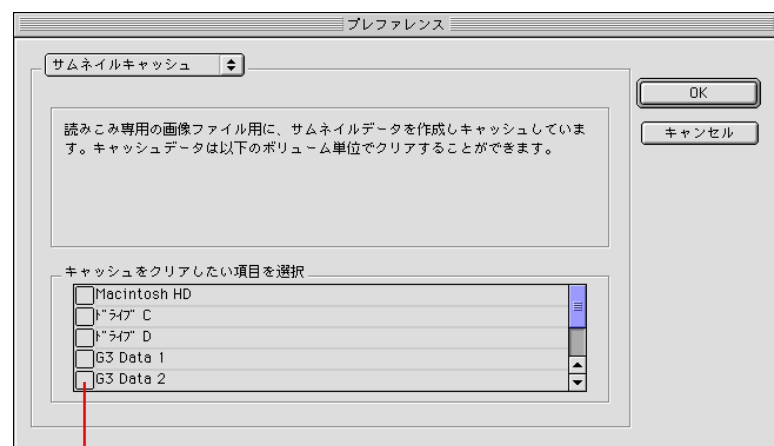
プレファレンスの設定 (2 / 3)

[サムネイルキャッシュ]

エクスプローラビューで、CD-ROMやCD-Rなど読み込み専用のメディアに入っているフォルダを選択した場合、ImageBrowserは、ブラウザエリアに表示する縮小画像（サムネイル）のデータをImageBrowserのフォルダ内に作成します。

しかし、大量のCD-ROMやCD-Rを閲覧していくと、この縮小画像が膨大になり、ディスクを大きく消費することになります。このような場合に、無駄な縮小画像（一度見ただけで、多分二度と見ないCD-ROMやCD-Rの縮小画像）を削除するのが、この機能です。

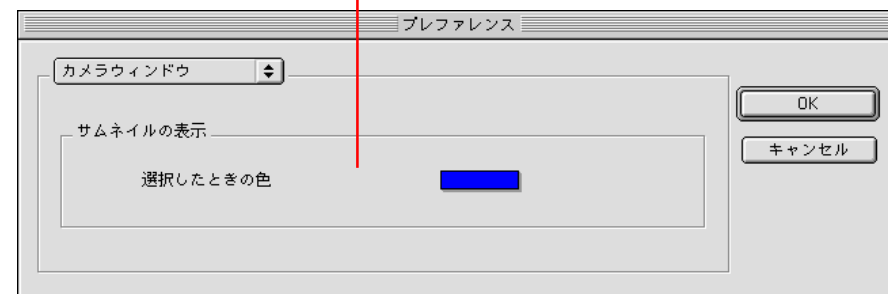
この画面で「読み込み専用」のメディア（ディスク）を選択すると、そのメディアの画像ファイルに対応する「縮小画像」が消去されます。（実際の消去は、次回の起動時に行われます）



ディスクを選択します

[カメラウィンドウ]

カメラウィンドウで画像を選択したときの枠の色を設定します

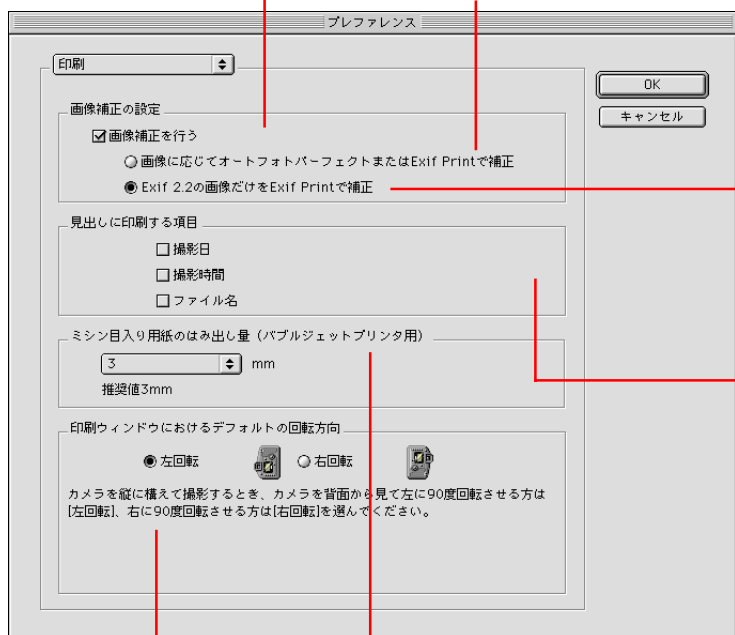


プレファレンスの設定 (3 / 3)

[印刷]

より美しいプリント仕上がりを得るための「画像補正」機能の有無を選択します (Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像は、さらに高品位な画像補正が可能です)

Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像や、その他の画像に対して自動補正をかけるときに選択します



Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像だけに自動補正をかけるときに選択します

印刷ウィンドウを開いたとき、各画像の「見出し」として表示させる情報を選択します

ミシン目入り用紙を使ってプリントするとき、紙の端からどのくらいの量をはみ出してプリントするかを選択します (Mac OS X の場合、この項目は表示されません)

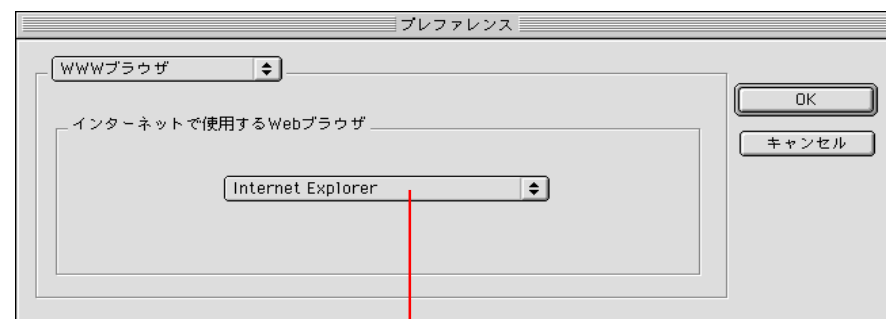
プリントモードによっては、横長の画像を選んだとき、画像が自動的に 90° 回転して印刷ウィンドウに表示されます
このときの回転方向をここで指定します

[単位]



印刷ウィンドウなどで表示される用紙サイズの単位を設定します

[WWW ブラウザ]



インターネットに接続するとき、ご使用になるWebブラウザ (Microsoft Internet Explorer または Netscape Communicator) を選択します

重要

- Mac OS X をお使いの場合、[WWW ブラウザ] は選択できません。Web ブラウザを変更するときは、システム環境設定の [インターネット] の [Web] タブで行います。

動画の再生

お使いのカメラが、動画撮影に対応している場合には、ImageBrowserで動画を扱うことができます。

動画の記録されているカメラをパソコンに接続し、カメラウィンドウを開くと、カメラウィンドウには、動画ファイルの先頭のフレームの縮小画像(サムネイル)とビデオカメラのマークが表示されます。

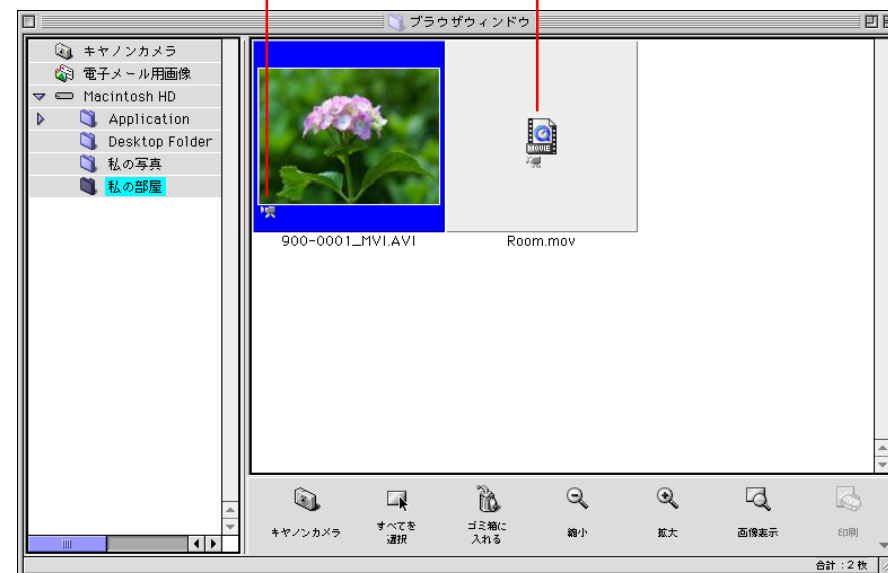
この動画ファイルは、通常の画像のようにブラウザエリアに取り込むことができます。この場合、ブラウザエリアにはサムネイルとビデオカメラのマークが表示されます。

サムネイルをダブルクリックすると、QuickTime Playerが起動し、動画ファイルが再生されます。

参 考

- ・カメラウィンドウ以外のウィンドウからドラッグ アンド ドロップでブラウザエリアに動画ファイルを取り込んだ場合など、状況や動画のファイル形式によっては、サムネイルが表示されない場合があります。この場合でも、アイコンをダブルクリックすると、QuickTime Playerが起動し、動画ファイルが再生されます。

サムネイルと動画を示すマーク アイコンと動画を示すマーク



QuickTime Playerの
ウィンドウ

このボタンで再生します

カメラ上でのスライドショーの設定

お使いのカメラが、スライドショー機能を搭載している場合には、ImageBrowserを使って、そのスライドショーを編集することができます。

参 考

- ・スライドショーの利用方法や再生方法などについては、カメラの説明書をご覧ください。

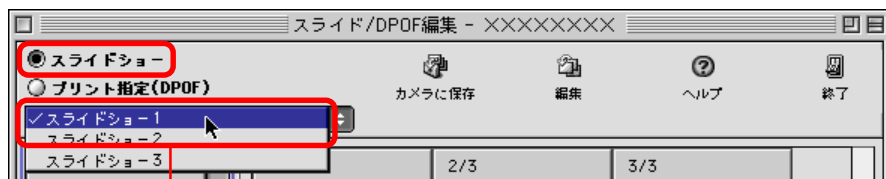
スライドショーを設定する

カメラウィンドウで、 (スライド/DPOF) をクリックします。



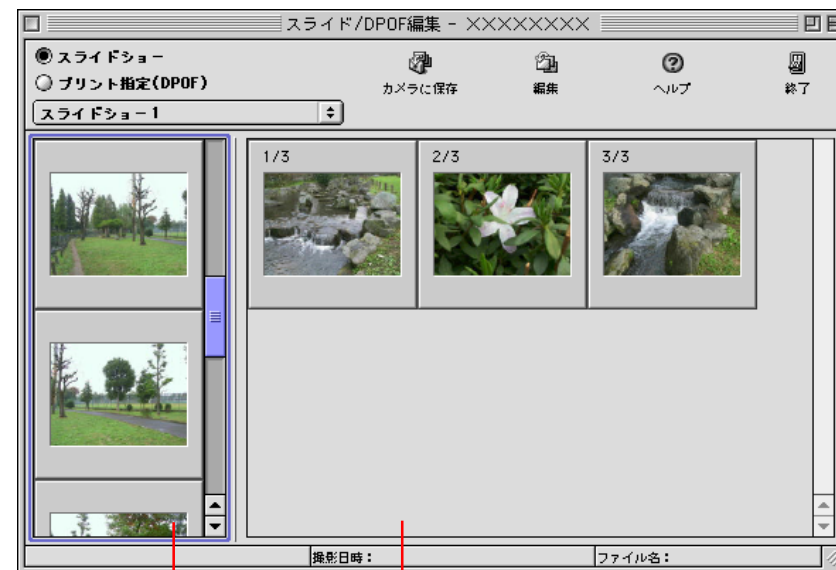
これをクリック

表示されたウィンドウの左上端の「スライドショー」のボタンをクリックし、その下の部分で、編集するスライドショーの番号を選択します。



スライドショーの番号を選択

左側の画像一覧から、右側の部分に画像をドラッグ アンド ドロップして、画像を並べていきます。



左側の一覧から、右側の部分に画像をドラッグ アンド ドロップして、スライドショーに使う画像を並べていきます

並べ終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これでスライドショーの設定が完了します。

参 考

- ・画像の順番を入れ替えるときは、右側の部分で画像をドラッグ アンド ドロップします。
- ・スライドショーから画像を外したいときは、その画像を選択し、[編集] から [クリア] を選択します。

プリント指定 (1 / 2)

お使いのカメラが、DPOF 機能を搭載している場合には、ImageBrowser を使って、プリントする画像や枚数をメモリーカードに記録することができます(機種によってはお使いになれません)。


重要

- ・ RAW 画像は、プリント指定できません。RAW 画像をプリントしたい場合には、一旦現像してから、カメラに追加し、プリント指定してください。

参考

- ・ DPOF は、メモリーカードに、プリントする画像やプリント枚数などのプリント情報を記録する規格です。この DPOF の指定を行った後、カメラ店や DPE 店に CF カードや PC カードを持ち込めば、指定した通りにプリントされます。
- ・ DPOF の詳細については、カメラの説明書をご覧ください。

DPOF を設定する

カメラウィンドウで、 (スライド/DPOF) をクリックします。



これをクリック

表示されたウィンドウの左上端の「プリント指定 (DPOF)」のボタンをクリックし、その下の部分で、プリントタイプを選択します。



プリントタイプを選択

■ スタンダード印刷

指定した画像を、指定した枚数だけプリントします。

■ インデックス印刷

指定した画像を縮小画像の一覧の状態、インデックスプリントします。

■ 両方 (スタンダード/インデックス)

指定した画像を、指定した枚数だけプリントします。さらにプリントした全画像を縮小画像の一覧の状態、インデックスプリントします。

参考

- ・ [編集] ボタンから [属性印刷] を選択すると、撮影した日付やファイル番号をプリントすることができます。

プリント指定 (2 / 2)

スタンダード印刷の指定

画像の下の数字がプリント枚数です。[▲][▼]をクリックして、プリントしたい枚数を指定します。



プリント枚数を指定すると、
[スタンダード印刷] を示す
アイコンが表示されます

プリント枚数を指定

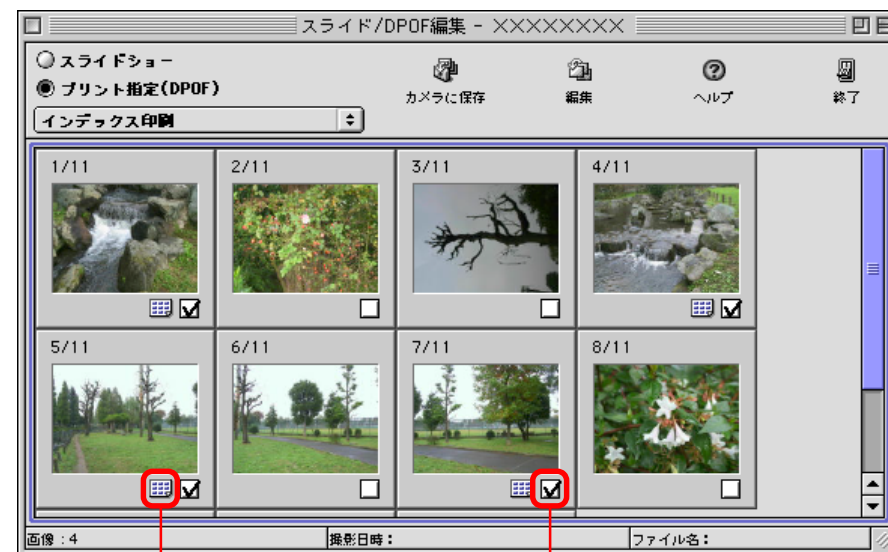
指定が終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これでプリントの指定が完了します。

参 考

- ・プリントタイプで [両方 (スタンダード/インデックス)] を選択した場合も、同様の方法で設定します。

インデックス印刷の指定

画像の下のボタンにチェックマークを付けると、その画像がインデックスプリントされます。



画像にチェックを付けると、
[インデックス印刷] を示す
アイコンが表示されます

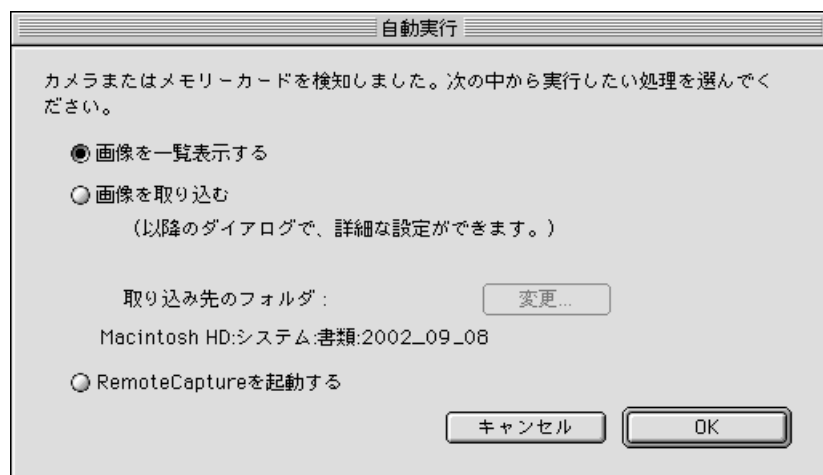
インデックスプリントに含める
画像にチェックを付けます

指定が終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これでプリントの指定が完了します。

ここでは、トラブルに対する対処法を説明します。

カメラが検出されない・認識されない

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続して、通信できる状態にしたのに、下のような画面が表示されない…。



あるいは、通信できる状態にしたのに ImageBrowser が起動しない…。カメラから画像を取り込もうとしたときなどに「カメラが検出されません」などとメッセージが表示された…。こんな場合は、次の順番に状況を確認し、対処してください。

■ パソコンの確認

ImageBrowser は、「USB ポートを標準で搭載した Macintosh」のみをサポートの対象としています。「USB ポートを標準で搭載した Macintosh」以外の Macintosh でのご使用はサポート外となります。

■ カメラとパソコンの接続の確認

カメラとパソコンが、USB ケーブルで正しく接続されているかどうか確認してください。接続方法については、製品に同梱されている説明書をご覧ください。

■ カメラの状態の確認

カメラがパソコンと通信できる状態になっているか確認してください。また、PTP 接続ができるカメラの場合は、「通信設定」が [標準] に設定されているか確認してください。この操作の方法はカメラによって異なりますので、製品に同梱されている説明書をご覧ください。

■ バッテリー残量の確認

バッテリーでカメラをお使いの場合には、バッテリー残量が十分あるか確認してください。カメラをパソコンに接続して使用する場合は、ACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。

索引 (1 / 2)

英数字

AIFF 形式	55
ArcSoft VideoImpression	61
BMP 形式	94
Canon Image Gateway	82
DPOF	105
Exif 2.2 (Exif Print)	73
File Viewer Utility	80
ImageBrowser の終了	13
JPEG 形式	94
PhotoStitch	77
PICT 形式	94
QuickTime Player	103
QuickTime 形式	94
RAW 画像の現像	80
RAW 形式	80, 94
RAW モード	42
RemoteCapture	78
SimpleSound	60
TIFF 形式	94
TimeTunnel	75
Windows ビットマップ形式	94
WWW ブラウザ	102

ア行

アルバムの表示	90
移動	21
色の調整	37
印刷	11, 66, 102
印刷ウィンドウ	11, 66, 73
印刷解像度	74
インデックス印刷 (DPOF)	106
インデックス印刷 (画像)	67, 73
エクスプローラビュー	8, 17
音声ファイルの秒数の目安	60
音声メモ	42

カ行

会員登録	84
回転 (画像)	25
回転 (カメラの画像)	44
拡大	34
画像のアップロード	86
画像の追加	45
画像の取り込み	9, 41
画像のファイル名	17
画像の編集	35
画像の保存場所	16
画像を開く	33
カメラウィンドウ	8, 40, 101

カメラの設定	47
起動	4
キヤノンカメラ	40
キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷	67
行揃え	70
クリア	68
クロップ	36
現像	80
効果	51
固定サイズで印刷	67
コピー	21
ゴミ箱に入れる	24, 31
コンテクトメニュー	20
コントロールパネル	17, 19

サ行

最新の情報に更新	21
再生	54
彩度	37
サウンド	54
サウンドパネル	19, 55
削除	24, 31
削除 (カメラの画像)	43
撮影情報	28
サムネイル	18
サムネイルキャッシュ	101

索引 (2 / 2)

色相	37
自動起動	95
自動再生	51
自動実行機能	96
自由に並べて印刷	67
終了	13
縮小	34
情報を見る	28
初期化	47
所有者名	47
新規フォルダ	29
スタンダード印刷	106
スティッチアシストモード	42, 77
すべてを選択	23
スライドショー	51
スライドショーオプション	51
スライドショー (カメラ側)	104
設定	47
セット	56
接続の確認画面	13
属性印刷	105

タ行

タイムトンネル	75
タイル状に敷きつめて印刷	67
単位	102

ツールパネル	76
通信設定	48
テキストの挿入	71
テキストの編集	71
電子メール	49
動画	42, 103
取り込み	9, 41
トリミング	72

ハ行

表示倍率	34
表示モード	19
ファイルビューアーユーティリティ	80
ファイル名の変更	27
フォーマット	47
フォトスティッチ	77
フォルダの開閉	32
フォルダの作成	29
フォルダの選択	32
フォルダ名の変更	30
フォント	70
複製	26
ブラウザウィンドウ	8, 17, 100
ブラウザエリア	8, 17
プリント	11, 66
プリント指定	105

プレビュー	19
プレファレンス	100
分割印刷	74
分割印刷オプション	74
ヘッダ	72
ヘルプ	13
編集	35
保存	38

マ行

マイカメラウィンドウ	56
マイカメラコンテンツ	56
マイカメラコンテンツのダウンロード	64, 92
マイカメラコンテンツ用ファイルの作成	59
見出し	70
明度	37
文字間隔	70
文字サイズ	70
文字修飾	70
文字色	70
文字入力	71

ラ行

リモートキャプチャー	78
レイアウト印刷 (画像)	66
レイアウト選択ウィンドウ	11, 66

ImageBrowser ソフトウェアガイド

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期していますが、万一、不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
4. このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- ・ Canon および PowerShot はキヤノン株式会社の商標です。
- ・ Canon Image Gateway および Image Gateway は、日本国内において商標登録出願中です。
- ・ Adobe および Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ・ ArcSoft、ArcSoft ロゴ、ArcSoft PhotoStudio、ArcSoft PhotoImpression および ArcSoft VideoImpression は ArcSoft,Inc. の商標または登録商標です。
- ・ CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は SanDisk Corporation の商標です。
- ・ Macintosh および QuickTime は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- ・ Netscape、Netscape Navigator は、Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Netscape Communicator は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。